

福島県郷土資料情報

No.56 2016.3

編集・発行：福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>



企画展示『浜通りの記録をたどる資料展』

(平成27年9月4日～9月30日)

当館撮影写真

目 次

貴重郷土資料探照 18	1
福島の子童文学者 39	2
地元新聞に見る原発周辺町村の動き (H27.1.1～27.12.31)	5
福島県関係書誌の紹介 2015	36

「浜通りの郡村誌・郡誌・郷土誌」

平成27年9月に「浜通りの記録をたどる資料展」を行い、そこで『磐城郡村誌』、『宇多郡村誌』、『石城郡誌』、相馬地方の『郷土誌』の一部を展示した。いずれも明治期の社会・経済の発展をうかがうことのできる貴重な史料となっている。

『磐城郡村誌』『宇多郡村誌』は、それぞれ明治政府の命によって福島県が編纂した皇国地誌の一つで、磐城郡は、現在のいわき市の一部で、四倉と小川および平の北部にあたり、宇多郡は、現在の相馬市・相馬郡新地町一带にあたる。

廃藩置県以後の約10年間、中央集権的な国家形成ために行われた数々の試みの中の一つに「皇国地誌」の編纂があった。

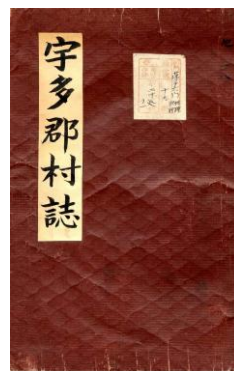
その目的は、新政府が各府県の現況を掌握することであったとされている。明治5年(1872)9月の太政官達(第290号)をもって各府県に編纂を指令し、明治8年(1875)6月5日の太政官達(第97号)において詳細な「皇国地誌編輯例則」が示された。町村名、疆域、幅員、管轄沿革等47項目にわたって調査し、絵図を添付して報告するように命じている。

編纂にあたっては数名の編纂掛が置かれ、明治12年(1869)改正6月改正の『福島県職員録』には、編纂担当者の名前が確認できる。『磐城郡村誌』『宇多郡村誌』は、大須賀次郎・川瀬教文らが御用編纂掛として編纂にあたった。

当館で所蔵している『磐城郡村誌』『宇多郡村誌』は、県側の控本で、正本は、大正12年(1923)の関東大震災により東京帝国大学図書館で焼失してしまった。柳田国男は「地名の研究」(『定本柳田国男集』第20巻所収)において「皇国地誌」の運命について触れ、その消失を嘆いている。



磐城郡村誌



宇多郡村誌



石城郡誌

時は流れ、明治44年(1911)。内務省の指示を受けて、福島県においては、大規模な郡誌・郡郷土誌の編纂が行われた。その背景には、社会主義思想への防壁として国民道徳教育の普及させるため、国史教育に郷土教育を持ち込もうとしたことがあるとされる。

福島県知事による訓令第34号をもって、郡誌・郡郷土誌の編纂要綱を提示、郡役所や郡教育界の編により多くの郡誌が刊行された。郡制が廃止されることも重なって、記念事業の意を兼ねていたようである。また、各小学校の校区ごとに、教員が中心になってその郷土の歴史や地理、信仰、習俗などを記録した郷土誌も作成された。

『石城郡誌』『郷土誌』がこの時期に作成された史料とされ、石城郡は現在のいわき市の大部分にあたる地域を指している。『郷土誌』は、現在の相馬地方で作成されたものの原本を所蔵している。

『磐城郡村誌』『宇多郡村誌』『石城郡誌』はすでにデジタル化が完了しており、『郷土誌』も現在デジタル化を進めている最中である。

<参考文献>

- ・『福島県史 第21巻』(1967年)
- ・『日本歴史地名大系 第7巻』(1993年)
〈地域資料チーム：神谷祥平〉

こいで やすこ (小出 保子) (1938-2010)

絵本作家。1938(昭和13年)7月14日、福島県須賀川市に生まれる。4人兄妹の2番目¹。幼少期は戦時中であったが、兄が幼稚園に通っていたときの「キンダーブック」などが家にあり、絵本を見る機会に恵まれて育つ²。小学2年生から中学1年生までを父親の故郷、須賀川市で過ごす。当時のことを保子は次のように語っている。「それまですごく体が弱くて、年中寝ていたりという状態だったのが、田舎に行き病気をしなくなったんです。年がら年中遊びまわり、阿武隈川の支流で泳いだり、山に行きいろいろなものを採ったり、そういうことが体によかったんでしょうね」³。福島での体験が、絵本づくりの源流となっていることを保子は明らかにしている。「子供の頃、遊びまわった福島の川や池、野や山が登場人物達の住処です。川や山では、それぞれの住む家、まわりの草木、食べ物の採取が違うので綿密に緻密に世界をつくります。室内や台所の調度品は、それぞれの性格を表しますので、お皿や茶碗やおなべもしっかり描きます。絵本をとじても登場人物が、それぞれの場所で生活していると思えるように描きたいのです。夕暮まで遊びほうけた野山や川。木や花。日向や雪や草いきれのドキドキするにおい。友達のおしゃべりや鼻水をすすする音。子供心に感じたさまざまな記憶はわたしが絵本をつくる時の重要なポイントです。」⁴

また、作品に登場するねずみなどの動物に兄弟や親子が多いという指摘に対し、「子どものころにいつもだれかと一緒だったし、一緒になにか経験したほうがより一層おもしろかったという記憶があるのかもしれないです」⁵と話す。実際、「まわりに父の親類がたくさんいて、いとこなど、子どもが多かったので、子ども同士で、あちこち、山や川や野原を駆け回っていました」⁶という。

東京での高校生活では美術部に入り、芸大への進学を志すが両親に反対され、卒業後は須賀川の両親の下で家事や雑事にあたった。数年後、両親を説得し、再び上京。デザイン会社に勤務しながら、デザインの総合的な基礎・専門教育機関である桑沢デザイン研究所で学ぶ。その後入社した出版社で後に夫婦となる小出淡と出会う。出会った頃の淡について保子はこう語っている。「私はその会社で車の雑誌のデザインをして、彼は書道の本の編集を。小さな会社だったので、みんなで遊ぶことが多かったんです。百メートル何秒で走れるか、とか、泳いだり卓球に熱狂したり。中でもこいでは率先して遊ぶ人でした。」⁷

ふたりは出版社を前後して辞め、淡が文章を書き、やすこが絵を描く、子どもの本の創作活動

¹ 「絵本作家訪問記 こいでやすこさん」『母の友』(535号)では読者記者からのインタビューに対して兄妹は「四人です。兄がいて、下に弟と妹がいて。」(51頁)と答えている。

² 「絵本作家訪問記 こいでやすこさん」『母の友』535号 53-54頁

³ 「絵本のたのしみ」『こどものとも年少版』345号 2005年12月号 折り込みふろく

⁴ 「わたしが絵本をつくる時」(「こいでやすこの絵本原画とこどものとも歩み展」ちらいわき市立草野心平記念文学館 2006)

⁵ 2に同じ 51頁

⁶ 「絵本作家のアトリエ10 こいでやすこさん」『母の友』645号 12頁

⁷ 6に同じ 16頁

をはじめ。ふたりの共作には『とんとんとめてくださいな』（1981 年刊）をはじめとする三匹のねずみのシリーズ、『ちびねこのちよび』（1984 年刊）、『なぞなぞかけた』（1985 年刊）、『とてもとてもあついひ』（1990 年刊）などがある。

「須賀川の家にはいた黒いネコのことを思い出して。古い家なのでネズミが多くて、大運動会をするんです。それでちっちゃい黒ネコをもらってきたら、その日のうちに、自分くらい大きなネズミをとってきた。それから毎晩とってきて、かならず私たちの布団の上のにのせるんです。その話をこいでにすると、『もう一回、もう一回』って何度でも聞きたがるんですね。そのお話が『ちびねこのちよび』という絵本になりました。」⁸

1986（昭和 61）年 2 月に 47 歳の若さで淡が亡くなり、同年 6 月に『とんとんとめてくださいな』が、優れた児童書に贈られるオランダの銀の石筆賞を受賞する。後に保子はこの絵本について、「須賀川のころに、そういう歌遊びがあったんですね。それをもとに、動物たちがいっぱいベッドにいる、というシーンが描きたくなかったです。そうして作っていったのですが『とんとん』のシリーズが三作できたところで、こいでが病気になって……」⁹と語っている。同書は日本だけでなく、フランス語、英語、オランダ語、スウェーデン語、韓国語に翻訳され、各国で親しまれる絵本となった。

淡亡き後、保子は絵本の文章・絵ともに一人で創作するようになる。

生家の天井裏にいたねずみ達から着想を得た¹⁰『もりのひなまつり』（1992 年刊）、須賀川の西川で遊んだ日々が土台となった¹¹『たろうめいじんのたからもの』（2003 年刊）、初めて福島で冬を過ごしたときの雪の日の思い出がもとになった¹²『なっちゃんのゆきうさぎ』（2007 年刊）など、福島で過ごした子ども時代の体験から多くの絵本が生まれた。

『おいちにのだーるまさん』（2011 年刊）は絶筆となった作品である。2 年半近くの闘病生活の中、病床で描かれた下書きを小渕ももが完成させ、こばやしえみこが文章を添えた。子どもたちの遊ぶ姿が生き生きと描かれたこの作品から、死の影は微塵も感じられない。むしろ、力強く明るい生命力に満ちた作品となっている。

そしてもう一冊、保子が最後に手がけた絵本がある。没後 20 年以上経て見つかった淡の手書き原稿を絵本にしたものである。この原稿を見て、保子は驚きとともに「淡の字だわ」と喜んだという¹³。保子が「おそらく自分のようなやわらかいタッチの絵ではなく、もっと力強い、線のくっきりとした絵をイメージしてお話を書いたのだと思う」と話したことから、絵を版画家早川純子が担当することになった¹⁴。保子は亡くなる直前までこの絵本の打ち合わせを重ねたという。この『うさぎさんのあたらしいいえ』¹⁵のラストシーンは、うさぎの家のバラ咲く垣根の内側から見た

⁸ 7 に同じ

⁹ 7 に同じ

¹⁰ 「絵本のたのしみ」『こどものとも』432 号 1992 折り込みふろく

¹¹ 「絵本のたのしみ」『こどものとも』569 号 2003 年 8 月号 折り込みふろく

¹² 「絵本のたのしみ」『こどものとも年少版』358 号 2007 年 1 月号 折り込みふろく

¹³ 「絵本のたのしみ」『こどものとも年中向き』324 号 2013 年 3 月号 折り込みふろく
「編集部だより」より

¹⁴ 13 に同じ

¹⁵ 小出淡 作 早川純子 絵『うさぎさんのあたらしいいえ』こどものとも年中向き 324 号 2013. 3

きつねが描かれている。これと似たシーンで終わる淡と保子の絵本に『はるですはるのおおそうじ』（1989年刊）がある。家の前のバラのアーチに三匹のねずみが立っている。そのまん中のネズミはメッセージカードを添えたバラの花かごを抱えており、カードには「MY. T. K」と書かれている。この“T. K”は小出淡のイニシャルだと考えるのは深読みのしすぎだろうか。淡亡き後、長くひとりで創作活動を続けてきた保子は、淡の遺稿を世に出すために道筋をつけ、いわば再び淡とともに作品をつくり、人生を終えた。小出保子 2010年2月18日、71歳で逝去。

こいでやすこ作品所蔵一覧

出版年	年齢	書名(漢字)	共著者	出版社	シリーズ名・誌名	請求記号
1973.4	34	ぼくもとびたい	たかはしひろゆき文	金の星社		P コヤ
1976.3	37	くさずきんのおひめさま	上地ちづ子 脚本	童心社	かみしばい世界むかしばなし	K クサ
1977.3	38	ほおずきまつり	千江 豊夫 作	アリス館		913 沖
★1981.9	43	とんとんとめてくださいな	こいでたん ぶん	福音館書店	福音館のペーパーバック絵本	P コヤ
1983.1	44	ムウちゃんのおみやげ	ひろせひさこ 作	佑学社		913 ヒビ
1983.4	44	おおかみこわい	こいでたん 作	佑学社		913 コタ
1984.3	45	ちびねこのちよび	こいでたん ぶん	福音館書店	福音館のペーパーバック絵本	P コヤ
1985.3	46	ジャンジャカかせとちびきょうりゅう	小出淡 作	小峰書店	こみね幼年どうわ	913 コタ
1985.12	47	なぞなぞかいた	こいでたん ぶん	小峰書店	こみねのえほん	P コヤ
★1987.11	49	ゆきのひのゆうびんやさん	こいでたん ぶん	福音館書店	福音館のペーパーバック	P コヤ
★1989.4	50	はるですはるのおおそうじ	こいでたん ぶん	福音館書店	福音館のペーパーバック絵本	P コヤ
★1990.6	51	とてもとてもあついひ	こいでたん ぶん	福音館書店	福音館のペーパーバック絵本	P コヤ
★1992.3	53	もりのひなまつり		福音館書店	こどものとも 432号	P コヤ
1992.7	54	かくれんぼおに ほっぶとすてっぶ	ぎょうせい		そうさくえほん 藤 なかまていいな	P コヤ
★1992.9	54	やまこえのこえかわこえて		福音館書店	こどものとも傑作集	P コヤ
1992.10	54	はなづりのまる ほっぶとすてっぶ	ぎょうせい		そうさくえほん 藤 聖徳の世界で遊ぼう	P コヤ
1993.1	52	どろんこーん ほっぶとすてっぶ	ぎょうせい		そうさくえほん 藤 やさしさをもって	P コヤ
1993.11	55	こもものおうち		福音館書店	もぐらのこもも	P コヤ
1993.11	55	こもものともだち		福音館書店	もぐらのこもも	P コヤ
1993.11	55	こもものふゆじたく		福音館書店	もぐらのこもも	P コヤ
★1995.3	56	おなべおなべにえたかな		福音館書店	こどものとも 468号	P コヤ
1996.6	57	かさかしてあげる		福音館書店	年少版こどものとも	P コヤ
1997.7	58	きょうはちょうどよいひより		福音館書店	こどものとも 年中向き	P コヤ
1998.1	59	おおきないけ		教育画劇		K オオ
★1999.8	61	むんむんあついひ		福音館書店	こどものとも 年少版 269号	P コヤ
★2001.1	62	おおさむこさむ		福音館書店	こどものとも 538号	P コヤ
★2003.8	65	たろうめいじんのたからもの		福音館書店	こどものとも 569号	P コヤ
2003.11	65	なっちゃんもついてこーい		福音館書店	こどものとも 年少版 320号	P コヤ
2005.9	67	あけびみつけた	小林 輝子 ぶん	福音館書店	ちいさながかくのとも 42号	P コヤ
2007.1	68	なっちゃんのゆきうさぎ		福音館書店	こどものとも 年少版 358号	P コヤ
2007.4	68	おべんともっておはなみに		福音館書店	こどものとも 613号	P コヤ
★2011.1		おいちにのだーるまん	こばやしえみこ文 小淵もも絵	福音館書店	こどものとも0.12. 190号	P コヤ

★は単行本もあります。 ※『やまこえのこえかわこえて』は単行本のみ所蔵しています。

(児童資料チーム 鈴木史穂)

地元新聞に見る原発周辺町村の動き

H27 発行分

当館では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所事故とそれに伴う県内の被災・復興に関わる新聞記事を、「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」としてホームページ上に公開しております。

本稿は、特に震災直後全域が避難区域として指定された、浜通り地区の 9 町村(浪江町, 双葉町, 大熊町, 富岡町, 楢葉町, 広野町, 飯館村, 葛尾村, 川内村)における平成 27 年1年間の動きを、地元紙である福島民友・福島民報の記事とともに振り返るものです。記事データに加え月ごとのトピックス、記事に関連している町村が一目で把握できるようになっています。震災当時の記事をもとめた「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」と合わせ、刻一刻と変化する震災後の町村の姿をご覧いただければ幸いです。

凡例

- ・収録期間:平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日
- ・収録紙 : 県内紙 2 紙(福島民友、福島民報)
- ・収録記事:浜通り地区 9 町村における東日本大震災および福島第一原子力発電所事故に伴う復興に関連する主要記事
- ・掲載情報:発行日順に紙名、日、面、記事名、記事に関連する町村を掲載
記事名のみでは情報が不十分と思われる場合、【】で補記した
関連町村は、記事見出し・本文中に町村名が登場しているもののみ○印により明示した
同一日に 2 紙の記事がある場合、①福島民友②福島民報の順で掲載した
- ・記事に関係する町村名は、以下の通り漢字 1 文字で簡略化した
浪＝浪江町 双＝双葉町 大＝大熊町 富＝富岡町 楢＝楢葉町 広＝広野町
飯＝飯館村 葛＝葛尾村 川＝川内村

【寄贈のお願い】

当館では東日本大震災とそれに伴う福島県内の被災・復興に関する資料を重要資料ととらえ、重点的に収集に取り組んでおります。

- ・東日本大震災関連の写真集・記録集等
- ・被災に関する調査報告書、復興に関する計画書・報告書、自治体発行広報誌の震災特別号等
- ・被災地及び県内外の避難先で発行されたミニコミ誌・フリーペーパー等
- ・自費出版を含む個人が発行した手記、詩集等

これらの資料を所有されている方は、可能であれば2部ご寄贈をお願いします。

※寄贈の方法は持参いただくか、下記宛てにお送りください。

【お問い合わせ】 〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム

2015年1月

《主な出来事》

- ・ 福島第一原発の廃炉作業に向け、県と大熊、双葉両町と東電との間で新たに「廃炉の実施に係る周辺地域の安全確保協定」締結(7日)
- ・ 双葉町、大熊町と共に除染廃棄物の中間貯蔵施設建設受け入れへ(13日～17日)
- ・ 平成32年東京五輪の合宿誘致に向け、Jヴィレッジ(楡葉町)の営業再開9ヶ月前倒しへ(27日)

【記事数:120件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楡	広	飯	葛	川
民友	1	5	社説＝新年を迎えて 本格復興へ扉を開ける年に						○			
民報	1	1	新春特別座談会 新しい福島をつくる 古里への誇り共有を						○	○		
民報	1	2	新春座談会 未来をつくるふくしまの力で 郷土元気に魅力を発掘「食」づくり 農産物の風評観光通し払拭							○		○
民報	1	30	各地で特例宿泊 だんらん久しぶり わが家の年越し					○		○	○	○
民報	1	202	工業 電子回路基板製造 広野・メイコー福島工場「太陽光発電」計画進む					○	○			
民友	3	2	新春座談会 福島の未来像とは 復興担う若者描く 泉さん 個人の視点を大切に			○						○
民友	3	4	初詣、初日の出に願ひ 楡葉・北田天満宮「古里復興を」福島稲荷神社 縁起物次々と					○	○			
民友	3	5	社説＝復興への人づくり 夢の実現へ確かな後押しを						○			
民友	3	24	会津の仮設除雪苦慮 入居者減と高齢化進行 人手足りず			○						
民友	3	26	三春で葛尾村成人式 古里復興思い新た								○	
民報	3	5	葛尾 福島県内トップ切り成人式 古里再生20歳の誓い	○								○
民報	3	5	初日の出 希望託す 楡葉の天神岬 消防団が手作り甘酒 避難者らに振る舞う					○				
民友	4	28	いわきで85人が成人式 双葉の復興貢献誓う		○							
民報	4	1	溶融燃料取り出し ロボット共同研究 福島大 会津大 福島高専 廃炉加速へ 30年度までの開発目標						○		○	
民報	4	3	いわき 新成人 復興誓う 双葉町民の誇りを胸に		○							
民友	5	1	子どもたちは今 ふくしまの現場 学校再開、人数戻らず 集団生活学ぶ機会減少 長距離のバス通学懸念	○				○		○		
民友	5	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 避難生活と順応(1)＝厳しい現状にも慣れ					○				
民友	5	26	広野で80人が成人式 震災乗り越え「夢かなえる」						○			
民報	5	2	論説＝浜通りの発掘調査 記憶をつなぐ意味	○								
民報	5	2	全国30キロ圏自治体調査 原発再稼働地元手続き 立地自治体限定の「川内方式」「妥当」2割のみ					○			○	
民報	5	3	新成人 再生の力に 広野で式典貢献誓う						○			
民友	6	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 避難生活と順応(2)＝運動したい意欲そぐ					○				
民友	6	2	避難区域などの首長が年頭訓示 復興へ意気込み 広野町長「気持ち一つ実りの1年」					○	○			
民友	6	3	広瀬東電社長が訓示「使命感を持って」4町出張所を訪問 営業賠償、対応考慮 汚染水対策にめど			○						
民報	6	3	葛尾村 役場機能一部村内に 4月から 一時帰宅の村民支援								○	
民報	6	3	仕事始め 避難区域設定など12市町村 古里再生へ誓い新た	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	7	1	福島復興特措法改正案判明 拠点用地 全面買収可能に 財源に新「交付金」避難市町村の帰還支援【大熊町で初適用】			○						
民友	7	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 避難生活と順応(3)＝「ライン」に頼る交流					○				
民友	7	3	県外避難の子ども1万2436人 福島県内を初めて下回る 前回は872人減	○	○	○	○	○				
民友	7	24	双葉地方消防本部 震災後初の初め式					○				
民報	7	1	福島をつくる 未来への挑戦(5)＝第1部 企業の覚悟 楡葉・浜通り交通「安心管理」を徹底						○	○		
民報	7	1	日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門の事務機能 いわきに4月移転 大熊には研究施設整備へ				○		○			
民報	7	1	タラノメ収穫 川内で始まる 春の香りひと足早く									○
民友	8	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 避難生活と順応(4)＝進学先 揺れる母心	○								
民友	8	3	富岡 帰還困難区域の並木 夜の森の桜 国が除染へ 本年度中完了目指す			○	○					
民報	8	1	環境省 帰還困難の一部本格除染 富岡・夜の森桜並木 年度内に完了 大熊・大川原周辺も着手			○	○					
民報	8	1	福島をつくる 未来への挑戦(6)＝第1部 企業の覚悟 楡葉・浜通り交通 復興支える使命感						○			
民報	8	2	第一原発 福島県、大熊、双葉町と東電 廃炉へ新安全協定締結		○	○						
民報	8	3	浪江町 農業復活へ「再生プログラム」策定 農地保全など推進 帰還目標29年3月まで	○								
民報	8	31	帰還困難区域本格除染へ 夜の森で花見再び 富岡町民「春待ち遠しい」帰還の気持ち高まる					○				
民友	9	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 避難生活と順応(5)＝「もっと勉強したい」	○								
民友	9	2	中間貯蔵で伊沢双葉町長 町議会全員協議会後に最終判断			○	○					
民友	9	5	社説＝廃炉の安全協定 復興と帰還へ実効性確保を			○						
民報	9	2	東京 アジア会議 除染、教育の現状紹介 福島県の教訓 放射線防護に									○
民報	9	2	放射線 広野町検証委が中間答申「健康影響心配ない」						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	10	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 避難生活と順応(6)=仮住まい次はどこへ					○				
民報	10	1	再生エネ中断問題 東京電力 避難区域 全量買い取り1年半後から段階的に 東北電力は優先接続へ				○					
民報	10	1	福島をつくる 未来への挑戦(7)=第1部 企業の覚悟 楢葉・浜通り交通 緊急時 望む人運ぶ					○				
民報	10	5	ふくしま復興大使 全国訪問 沖縄班 古民家を観光資源に 伊是名島の取り組み見学								○	
民報	10	27	飯館生まれの雑種「じゃがいも」 災害救助犬を目指して6浪中・・・被災地の希望にー 特訓の日々							○		
民報	11	1	福島をつくる 未来への挑戦(8)=第1部 企業の覚悟 楢葉・浜通り交通 地域の笑顔のため					○	○			
民報	11	3	大熊町 町民交流拠点設置へ 若松、郡山、いわきの3カ所 生活支援機能も いわきは26日開所			○	○		○			
民報	11	26	きょうまでいわき ダルマ市にぎわう 双葉町の伝統守り続ける		○							
民友	12	1	38市町村で成人式 古里へ思い新た	○		○	○	○		○		
民友	12	23	福島県内38市町村で成人式 古里へ恩返し誓う 消防士目指し人の力に 再会広がる笑顔	○		○	○	○		○		
民報	12	1	帰還環境整備交付金 10事業追加、復興加速 被災住民の定住支援				○					
民報	12	3	楢葉 25日から町政懇談会					○				
民報	12	27	避難区域成人式 古里復興 20歳の誓い 南相馬の大学生・佐藤藍さん 伝統民謡後世に				○	○				
民報	13	5	福島県の元気や魅力発信 東京でフェア、知事らトーク 物産品も販売	○								○
民報	13	29	飯館 除染後の農地に石 営農準備に懸念 土砂に混入 耕運できず 農家「やる気失われる」							○	○	
民友	14	1	中間貯蔵 双葉 建設受け入れ 関係自治体全て合意 搬入判断が焦点に		○	○						
民友	14	3	中間貯蔵双葉町長受け入れ 5条件具体化急務 交付金の自由度不透明		○	○						
民報	14	1	中間貯蔵 双葉町も建設受け入れ 予定地2町足並みそろろう		○							
民報	14	2	論説=夢かなえる教育 環境整え「応援団」活用						○			
民報	14	2	双葉町 中間貯蔵受け入れ 用地交渉加速へ 搬入ルートは課題残る		○	○						
民報	14	2	広野町と町議会 中間貯蔵 安全な輸送体制確立を 国、福島県に要望						○			
民報	14	3	東電福島復興本社 石崎代表に聞く 営業損害賠償打ち切り 慎重に検討「関係者の意見聞く」				○					
民報	14	19	放射性物質検査 穀類は基準値以下									○
民友	15	1	東京五輪サッカー強化拠点 Jヴィレッジ活用へ 23年女子W杯も				○					
民友	15	1	未来にエール ふたば未来学園高 ふたば未来学園高 本校舎設計に着手へ 整備に倍増6億円						○			
民友	15	5	社説=中間貯蔵受け入れ 地元判断尊重し交渉進めよ		○	○						
民友	15	6	政府 月内策定、予算と一体 農業、雇用で工程表 地方創生の課題 縦割り排除 道半ば					○				
民報	15	3	新年度政府予算案 避難者支援 充実 最重点項目 福島県の要望反映 環境回復を加速			○						
民報	15	5	ふたば未来学園高 原子力防災や再生エネ 5分野で研究テーマ 人材育成事業で概要案			○			○			
民友	16	5	社説=新年度政府予算案 本格復興へ最大限活用せよ						○			
民友	16	22	東日本大震災 富岡町 パトカー保存作業開始 3月上旬にも展示				○					
民報	16	2	論説=常磐線 都心直結 全線復旧で効果広げよ						○			
民友	17	2	中間貯蔵 今月搬入断念 大熊、双葉町長が注文 国は丁寧な説明を除染急ぐ自治体「開始いつ」		○	○						
民報	17	1	小高工高と小高商高 29年4月めどに統合 復興担う人材育成 再生エネ ロボット技術						○			
民報	17	2	中間貯蔵搬入今月中断断念 用地交渉見通せず 福島県の提示条件も壁に 復興相 素直におわび		○	○						
民報	18	1	3・11大震災 断面 森林・ため池 汚染廃棄物 搬入先決まらず 中間貯蔵の対象外 現場保管 長期化も									○
民友	19	2	防災集団移転の説明会 富岡町 災害危険区域設定案示す 3地区90世帯、浸水恐れ				○					
民報	19	1	大熊の福島給食センター 従業員応募2倍近く 原発作業員向け 町、復興推進に期待			○						
民報	19	2	富岡町の津波被災者 防災集団移転事業 候補地に曲田地区 郡山 住民説明会で町が示す				○					
民報	19	30	全国都道府県男子駅伝 広野町から避難、半沢黎斗選手 区間17位 健闘						○			
民報	20	29	原発賠償 営業損害賠償打ち切り反対 死活問題・・・素案撤回を「実態理解せず」	○								
民友	21	1	原発で連日 死亡事故 第1、第2 作業員2人 東電「手順確認不十分」福島県が再発防止求める						○			
民友	22	2	シャープ 富岡のメガソーラー着工 出力2.2メガワット級 6月発電開始				○					○
民報	22	2	シャープ富岡太陽光発電所 町長ら工事安全祈願 6月運転開始予定				○					○
民友	23	3	福島大「未来学」シンポ 本県教育復興考える 双葉の将来「県民一人一人考えて」		○	○	○					
民友	23	23	原発事故で東京地検 元東京電力会長ら再び不起訴「巨大津波予測できず」 検審、3人を再審査へ		○	○		○				
民報	23	28	今春開校 ふたば未来学園高 22日現在 出願者、定員上回る						○			
民友	24	1	福島県立高入試 ふたば未来学園152人出願 1期・連携型 受け入れへ定員増員						○			
民友	24	4	福島県立高1期選抜 ふたば未来にサテライト 環境整い次第、広野移転へ「定員増」異例の措置				○		○			
民報	24	2	第一原発 東京電力 見通し3月半ばまでに 汚染水の年度内処理断念		○							
民報	24	5	福島・県建築文化賞表彰式 景観美、工夫たたる 正賞など10点に栄誉【「浪江in福島ライブラリー きぼう」が復興賞受賞】	○								
民友	26	2	中間貯蔵の近隣地先行 試験輸送で環境省が方針									○
民友	26	2	楢葉町が町政懇談会「住宅再建、防犯充実を」帰還時期の質疑少なく						○			
民報	26	3	いわき 楢葉の町政懇談会始まる 帰町へ復興状況説明						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	27	2	試験輸送の福島県内43市町村 積み込み場確保7割 既存の仮置き場活用	○								
民友	27	3	吉永小百合さん朗読 福島への思いCDに 震災4年の3・11リリース 和合亮一さんらの詩など23編				○					
民報	27	1	中間貯蔵 試験輸送 環境省 周辺9市町村を先行 他34市町村 4月末以降	○								
民報	27	5	吉永小百合さん 福島県思い朗読CD発売へ 福島市 和合さんらの23編				○					
民友	28	21	待望 いわきに復興住宅 鍵引き渡し、1日から入居 富岡町民「安らぐ場に」				○					
民報	28	1	Jヴィレッジ再開前倒し 東京五輪の2年前 合宿誘致優位に				○	○				
民報	28	3	福島県の災害公営住宅 いわき 富岡町民向け2棟完成 鍵引き渡し 県、いわきに1768戸整備計画				○					
民友	29	1	Jヴィレッジ 再開18年7月に前倒し 宿泊棟は16年度着工へ				○	○	○			
民友	29	1	田村・都路の感謝料 原賠審会長が見解 3月末 打ち切り見通し					○				○
民報	29	2	今秋着手2年後操業 出力10メガワット、福島県内最大級 楢葉町が太陽光発電					○				
民報	29	3	本社協力 福島県内ニュース毎日配信 タブレットあすから配布 アプリなみえ新聞開発	○								
民友	30	3	Jヴィレッジ 再整備計画案 サッカー以外も可能に ラグビー、スケートボードも対応					○	○			
民報	30	1	原発避難者 災害公営住宅 1000戸超 28年度完成できず 29年度にずれ込む 仮設暮らし長期化へ						○			
民報	30	1	環境省 中間貯蔵3日着工 双葉、大熊の2万平方メートル		○	○						
民報	30	3	Jヴィレッジ再開へ計画決定 全天候型の練習場整備 国内初一面カバー 合宿誘致 宿泊施設を増設					○	○			
民報	30	9	福島県内の避難区域 太陽光受け入れ 国、東電と協議				○	○				
民報	30	9	あいおいニッセイ同和損害保険 飯館村商工会に軽トラック寄贈							○		
民報	30	29	会津若松ザベリオ学園高 復興への決意 創作劇に込め 大熊からの部員出演 あす若松で上演			○						
民友	31	35	震災・原発事故 4年目の起点 楢葉のコンビニ再開 待ってた24時間営業 避難区域初、帰還に期待					○				
民報	31	4	福島第一原発事故 政府事故調・検証委の調査詳報(上)		○	○	○	○		○		
民報	31	30	原発賠償 ADR 小高の一部申立者と東京電力 1億4000万円で和解	○	○	○	○	○		○		

2015年2月

《主な出来事》

- ・ 災害廃棄物の仮設焼却施設、楢葉町波倉地区で受け入れへ(7日)
- ・ 楢葉町、川内村栽培の野菜が全て出荷可能に(18日)
- ・ 英国のウィリアム王子が被災地視察のため、安倍首相とともに来県(28日)

【記事数:124件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	1	政府 帰還者支援へ特措法改正 住宅再建に低利融資					○				○
民友	1	6	福島第一原発事故 政府事故調・検証委の調査詳報		○	○	○	○	○	○		
民報	1	2	避難指示解除地域 帰還支援へ特措法改正 住宅再建に低利融資					○				○
民報	1	3	放射性セシウム 浪江酒田の実証栽培コメ 全て基準値下回る	○								
民報	1	3	読む知る学ぶE! 新聞 二本松 体験授業 小学生記者が新聞作り 浪江町民を取材	○								
民報	1	19	福島第一原発事故 政府事故調・検証委の調査詳報(中)					○	○			
民報	2	27	福島県警特別警ら隊相双分駐隊 浪江拠点に活動開始 双葉署分庁舎で出動式	○								
民友	3	3	ふるさとよ 原発避難区域の祭り人(1) = 夏の夜に響く氣勢				○					
民報	3	1	三春 仮設住宅 福島県内初の集約へ 原発事故避難者向け 富岡町民18世帯転居				○					
民報	3	2	三春の富岡町民仮設住宅集約 背景に災害公営住宅遅れ				○					
民報	3	19	富岡・夜の森 桜並木の除染開始 花見へ年度内に1.5キロ				○					
民友	4	3	福島県の当初予算案 “ロボット革命”始動 研究開発や人材育成			○		○	○			
民友	4	4	国連科学委員会ポーランド代表 ドブジンスキ氏に聞く 原子放射線「福島県民への健康影響ない」									○
民友	4	4	富岡町民18世帯は転居へ 三春の仮設15年度に集約				○					
民報	4	2	13プロジェクト内容 復旧加速へ優先配分 災害ロボット開発支援 医療関連拠点を設置			○			○			
民報	4	3	福島県当初予算 解説 継続的財源が不可欠 借金で不足のぐ 集中復興期間 終了なら一層厳しく					○				
民報	4	5	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ 二本松三中「ふくしまは負けない」出前スクール	○								○
民報	5	2	中間貯蔵 安全協定書案示す 双葉町議会に環境政務官		○	○						
民報	5	3	内堀知事、新潟知事と会談 避難者支援 予算確保で連携		○							
民報	5	27	福島大が「ふるさと講座」開設 飯館の絆応援 裁縫や歴史・・・5科目 村民教え教わる							○		
民友	6	27	震災・原発事故 4年目の起点 古里の文化・食で心つなぐ「浪江の記憶」継承	○								
民報	6	2	論説＝災害公営住宅整備 期限切って取り組み						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	6	3	避難者の高速無料延長 関係市町 歓迎の声	○		○	○		○			
民友	7	2	広野火発 東電、海面3.2ヘクタール埋め立て 石炭貯蔵11万トンに増設						○			
民友	7	3	広野の「イオン」完成8月にずれ込み 補助申請など遅れる						○			
民友	8	2	仮設焼却施設で楢葉町長 波倉地区設置を要請					○		○		○
民友	8	3	きのうきょうあした 白河市 佐々木敏子さん 浪江町から避難 絵の贈り物 夫婦の宝	○								
民報	8	3	楢葉町、受け入れの方針 焼却施設整備で説明会					○				
民報	8	3	中間貯蔵施設 双葉、大熊 地権者らシンポ 土地買い取り 町の仲介提案		○	○						
民友	10	1	中間貯蔵搬入 国、5条件に回答 知事「精査確認し判断」 学校、ため池の汚染土壌 環境相、搬入方針				○					
民友	10	2	夢追い人は・・・原発よ(1)＝推進に転じた元町長 事故に怒りそして沈黙		○							
民友	10	3	飯館村民、笑顔の再会							○		
民報	10	3	本田選手、ザッケローニ元監督らならばPAに手形、足形 サッカーでまちづくり 住民の願い形に					○	○			
民報	10	4	中間貯蔵搬入条件政府回答 安全確保協定締結へ調整継続 福島県などの対応焦点		○	○						
民報	10	26	葛尾 交通死ゼロ5000日達成								○	
民友	11	2	特集 東日本大震災3年11カ月 復興導く「ロボット」製品化の動き広がる					○		○		
民報	11	1	常磐道全線開通式典出席 首相、来月1日福島来県で調整	○								
民報	11	27	「3・11」から3年11カ月 2015再起 富岡から群馬・高崎に避難 社会福祉法人「友愛会」				○		○			
民友	12	2	夢追い人は・・・原発よ(3)＝反対運動は苦境に 用地買収振興策と一体				○					
民友	12	2	ベルリン 双葉町民の避難生活上映 活発な質疑応答		○							
民友	12	5	社説＝復興庁発足3年 政策実現へ調整機能強めよ					○				○
民報	12	23	震災から3年11カ月 福島県警など 沿岸部で一斉捜索	○								
民友	13	4	拓く15年度県当初予算案(7)＝再生エネ「先駆け」全国に発信					○				
民友	14	3	未来にエール ふたば未来学園高 公立校初の副校長制 外部との連携強化						○			
民友	14	25	神戸の臼井教諭と飯館の子ども 復興の思い歌に重ねる 特別授業でハーモニー「村に早く戻れたら」							○		
民報	14	1	福島県立高入試 2期定員1万人割り込む 現行制度で最少 ふたば未来学園 152人合格内定						○			
民報	14	2	論説＝常磐道全線開通 直通効果を高めよう					○				
民報	14	2	都路・川内の減容化施設 当初推計の5分の1に 処理量は5万トン									○
民友	15	3	小野町総合病院が完成 来月1日開院 田村・浜通り 復興貢献に期待									○
民友	15	3	きのうきょうあした 福島市 赤石沢栄さん 飯館村から避難 仮設住宅に憩いの場 変わらない味届ける							○		
民友	15	21	常磐道全線開通 イベント続々 21、22日 いわきでフェスタ 来月1日からキャンペーン			○						
民報	15	1	3・11大震災 断面 福島県内 仮設入居依然1万2171戸 長期化、不安への対応急務				○					
民友	16	1	未来にエール ふくしま教育応援団 クリエイティブディレクター 佐々木宏氏 才能開花 手助けしたい						○			
民友	16	2	浜街道を桜並木に 広野で植樹祭 復興の願い込め1200本						○			
民友	16	4	ふくしま未来展望 葛尾村 葛力創造舎代表 下枝浩徳さん 県外と福島をつなぐ 村民一丸で新しい村に									○
民友	17	1	「ふたば未来学園高」副校長 文科省職員・南郷氏就任へ						○			
民友	17	2	中間貯蔵 大熊町 第2次復興計画最終案 予定地の住民に代替地			○						
民友	17	23	所得税・確定申告スタート 事故後「5年分」の避難者 膨大な手続き不安 延長 来月で終了	○								
民報	17	23	山形に避難 鈴木酒造店 浪江産米の酒香る 農業再生願い醸造 常磐道開通祝賀会で披露へ	○								
民友	18	3	「ふたば未来学園高」副校長 南郷氏の就任発表 内堀知事を訪問し抱負						○			
民友	18	7	スペイン企業計画 広野に14メガワット級太陽光発電 年内にも造成工事						○			
民友	18	25	常磐富岡－浪江間ルポ 高線量区域安全に配慮 表示板、対面通行に工夫 合同で事故対応確認		○							
民報	18	1	常磐道 復興加速へ高まる期待 来月1日全線開通 富岡－浪江間を公開		○							
民友	19	3	町内農家9人 合同会社 大熊 農業再生の力に 菜の花栽培 汚染低減調査			○						
民友	19	3	国道288号自由通行へ 大熊の一部、国と地元調整			○						
民友	19	7	楢葉で東邦銀行が4月に業務再開 移動車両店舗など					○				
民報	19	1	楢葉、川内の野菜 全て出荷可能に 4種類制限解除					○				○
民報	19	2	福島第一原発報道陣に公開 作業員ケアにも力 大型休憩施設など整備			○						
民報	19	3	復興庁・再生加速化交付金 福島県と広野、川内に6898万円 早期帰還を支援						○			○
民報	19	3	いわき 高木経産副大臣 円卓会議で示す「楢葉復興に全力」					○				
民報	19	5	ふくしま復興大使 全国訪問 26年度の訪問活動終了 先進事例 古里再興に					○				
民報	19	7	信田沢工場用地で操業 浪江の会津鉄建工業 南相馬に来月進出	○								
民報	20	2	論説＝福島第二原発 廃炉へ政治決断を				○	○				
民報	20	2	富岡町議会 民間管理型処分場計画 他地域、国有化再検討を 環境省に求める 町、地域振興策要望へ				○					
民友	21	2	復興庁意向調査 川内の避難者帰還希望45%「戻りたい」前回より10ポイント増									○
民報	21	1	中間貯蔵予定地の大熊、双葉 営農再開に法の壁「耕作証明書」発行されず 円滑な農地取得困難		○	○						

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	21	1	「3・11」から4年 内堀知事インタビュー 復興財源確保に全力 誇れる福島取り戻す						○			
民報	21	2	中間貯蔵周辺地域 大熊町議会 安全確保協定案ほぼ了承 議長「内容問題ない」			○						
民報	21	3	復興庁調査 川俣町山木屋地区住民 戻りたい45.5%【川内村住民の「現在の居住場所」調査も掲載】									○
民報	21	25	福島県内実務者 放射線相談員 円滑運用へ合合						○			○
民友	22	1	常磐道全線開通まで1週間「ザックJ」選手足大きいかな？ ならばPAでお披露目					○				
民友	22	2	未配達の新報、止まった時計 避難区域で収集し保存「震災遺産」後世に 南相馬できょう公開	○								
民友	22	3	太陽光パネル設置 飯館電力が発電開始 村民出資で産業創出							○		
民友	22	22	ならばPA 相双の祭り 壁画除幕 震災前からの思い形に						○			
民報	22	1	本田選手と足形比べ 常磐道ならばPA サッカー日本代表 レリーフ除幕						○	○		
民報	22	2	レリーフ除幕のならばPA 全線開通へ着々 震災当時の中高生制作「夢」の壁画披露	○			○	○	○			
民友	23	2	よみがえる震災の記憶 南相馬で「遺産」一般公開 次世代へ残す50点	○			○					
民報	23	1	3・1常磐自動車道全線開通 復興へ続く道(1)＝2本の軸 未来を担う大動脈 渋滞解消し再生加速	○		○						
民報	23	5	南相馬で初展示「震災遺産」次世代へ 震災翌日の本紙など50点	○								
民友	24	1	富岡町 富岡駅改札「震災遺構」に 駅名標と移設保存					○				
民友	24	23	「震災遺構」保存進む富岡駅 生活の記憶 語り継ぐ「町の傷痕忘れない」					○				
民報	24	2	論説＝ロボット工場 世界が目にする地域に							○		
民報	24	20	富岡地区防犯協会連合会 安全確保へ活動再開 4年9カ月ぶり理事会		○	○	○	○				○
民報	24	22	3・1常磐自動車道全線開通 復興へ続く道(2)＝医療 患者搬送を迅速に 住民帰還へ体制が充実	○	○			○				
民友	25	1	知事表明 中間貯蔵搬入を容認 きょう政府に伝達 環境省 安全協定案を修正へ		○	○						
民友	25	3	中間貯蔵搬入容認 政府の取り組み評価 大熊、双葉「来月11日目標」は抵抗感		○	○		○				○
民友	25	3	つながる未来 常磐道全線開通(1)＝数十年来の悲願 古里再生 後押し期待						○			
民友	25	23	中間貯蔵搬入受け入れ容認 住民「十分な説明を」 国の進捗に疑問や不信感		○	○						
民報	25	1	中間貯蔵 福島県、搬入容認を表明 大熊、双葉の両町長了承 輸送の安全性未知数		○	○						
民報	25	2	中間貯蔵搬入容認 知事「苦渋の決断」 地元町民らの心境気遣う	○	○	○	○	○	○			○
民報	25	2	民間施設での最終処分 富岡町長「受け入れ判断時期にない」					○				
民報	25	3	JR富岡駅 改札口や駅名標 津波被災…あの日のままに 町が地元保存へ 駅舎は解体					○				
民報	25	3	富岡町 3・11郡山で慰霊祭 震災4年一冥福を					○				
民報	25	28	3・1常磐自動車道全線開通 復興へ続く道(3)＝物流 時間短縮で活性化 企業進出加速に期待	○								
民報	25	29	中間貯蔵搬入容認 安全輸送徹底させて 事故多発を懸念 除染実施の市町村住民 搬出時期明示求める		○	○			○			○
民報	25	29	原発賠償 浪江町民の賠償増額和解案 東京電力4回目拒否	○								
民友	26	1	中間貯蔵 知事と大熊・双葉町長 国に搬入容認伝達 安全協定も締結		○	○						
民友	26	2	中間貯蔵 搬入初日「30年」の起点 安全協定 福島県外最終処分を明記		○	○						
民友	26	2	汚染雨水流出非公表 東電 根深い病巣 求められる抜本改革					○				
民報	26	1	中間貯蔵 福島県、大熊、双葉町 政府に5項目要請 搬入へ国と協定 環境相 輸送開始近く判断		○							
民報	26	1	震災4年原発事故 1日全線開通 常磐道未来へ続く 新地－いわき 勿来IC空撮				○					
民報	26	2	中間貯蔵搬入へ協定締結 要請5項目への対応約束 環境相、復興相「地元の意向くみ実行」				○					
民報	26	3	東京電力 財物賠償 避難解除見込み期間が過ぎた区域 経過分支払いへ						○			○
民報	26	5	コシノジュンコさんプロデュース 被災地やブラジルから友情の証し 郡山 11日からアート展				○				○	
民報	27	28	3・1常磐自動車道全線開通 復興へ続く道(5)＝願い 新IC、復興の要 4車線化求める声も		○	○						
民友	28	2	中間貯蔵施設13日搬入開始 地権者へ説明継続を 知事 輸送安全も求める		○	○						
民友	28	3	15年産コメ作付け 南相馬 4200ヘクタール制限解除 葛尾、川内の一部も緩和								○	○
民友	28	3	富岡一浪江IC間、午後3時 常磐道 あす全線開通	○		○						
民友	28	6	福島第1原発事故 政府事故調・検証委の調査詳報(上)＝環境省福島除染推進チーム	○								
民友	28	33	福島民友新聞創刊120周年記念事業 ノクターン夜想曲 被災地見つめ続けた4年	○			○					
民報	28	1	常磐道あす全線開通	○			○					
民報	28	4	双葉地方市町村圏組合 4課、診療所設置室体制に 広域行政推進へ拡充						○			
民報	28	4	288号国道、いわき浪江線の一部 通行規制きょう解除	○		○						
民報	28	30	富岡・夜の森 町、桜まつり見送り 環境省の除染不十分				○					

2015年3月

《主な出来事》

- ・ 常磐自動車道 常磐富岡～浪江間が開通し、常磐道全線開通(1日)
- ・ 震災・原発事故から4年。県主催の復興祈念式が県文化センターで開催(11日)
- ・ 富岡町で津波被災した県警パトカー、震災記憶を伝える貴重資料として町内展示(16日)

【記事数:203件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楯	広	飯	葛	川
民友	1	3	特集 東日本大震災4年 避難区域は今 進む復興拠点づくり 現状に即して青写真		○	○	○	○				○
民友	1	5	大熊の国道288号、福島県道いわき浪江線 一部自由通行が開始 常磐富岡ICに接続			○	○					
民友	1	5	郡山 首相 復興住宅を訪問 大熊町民と意見交換			○						
民報	1	2	郡山の災害公営住宅視察 首相「心のケア全力」大熊町民と意見交換		○	○						
民報	1	3	常磐道きょう全線開通 一般通行は午後3時 ならばPAも供用開始 避難区域 線量、24時間表示	○				○				
民報	1	3	常磐道きょう全線開通 いわきの愛好会 きょう「そば振る舞い」上り線の四倉PAで		○							
民報	1	8	福島第一原発事故 政府事故調・検証委の調査詳報(2)＝福島県生活環境部原子力安全対策課主幹 片寄久巳			○						
民報	1	8	来月に住民案内ツアー 大熊の現状知って 居住制限区域や避難先巡る			○						
民友	2	1	常磐道 全線開通「復興の起爆剤に」首都圏～福島県～仙台圏結ぶ	○								
民友	2	2	特集 東日本大震災4年 ふたばの未来 避難市町村長に聞く 福島県外の町民交流確保 復興の可視化拍車を				○	○		○		○
民友	2	3	特集 東日本大震災 4年 つながる「浜街道」交通網の復興進む				○	○		○		
民友	2	5	首相「復興へ除染加速」双葉 中間貯蔵の予定地視察		○							
民友	2	5	未来にエール ふくしま教育応援団 福島大 小泉政務官と学生、意見交換 被災市町村の将来像テーマ						○	○		
民友	2	23	福島民友新聞創刊120周年記念事業 ノクターン夜想曲 若松公演 鳴りやまない拍手 会津で心動かす熱演			○						
民友	2	25	常磐道全線開通 震災越え夢実現 延伸要望の元町議万感 セメント対策などで利用者の被ばく抑制	○	○		○					
民報	2	1	常磐道全線開通 常磐富岡～浪江IC間供用開始 福島県の復興加速	○			○	○				
民報	2	1	常磐線 再開検討を指示 原ノ町一竜田駅間 首相が国交相に				○					
民報	2	2	首相 地権者の思い胸に刻む 中間貯蔵予定地を視察									
民報	2	4	福島県立学校長人事 ふたば未来学園 丹野氏有力 橋 青山氏、会津 丹藤氏							○		
民報	2	28	常磐自動車道全線開通 浪江で式典 復興 期待寄せ 住民ら感慨深く 再生願う記念碑除幕	○	○			○		○		
民報	2	29	常磐道 全線開通 浜の未来開く「古里近くなった」避難者 早期4車線化望む	○		○	○					
民友	3	4	子どもたちは今 ふくしまの現場 甲状腺検査(4)＝独自検査で町民納得	○								
民友	3	4	福が満開、福のしま。ふくしまDC 常磐道全線開通でツアー 浜通りの名所紹介							○		
民報	3	1	中間貯蔵予定の農地 貸し付け納税猶予 国が贈与税特例 売却は対象外 売却でも猶予求める声			○						
民報	3	1	会計検査院調査 25年度 原子力災害予算半額残す 除染の遅れ影響				○					
民報	3	2	東京電力が東北電力に52億円 営業損害賠償 初の支払い	○			○					
民報	3	3	「3・11」から4年 下村文科相に聞く 人と財政支援強調 広野のふたば未来学園高 開校式に出席へ							○		
民報	3	25	福島県内震災関連死 5人増え1867人に 富岡町が認定				○					
民報	3	25	宇都宮大など 原発事故避難者の証言集 記憶を後世に	○								
民報	3	29	火災で焼失 山津見神社 オオカミ絵復元へ 東京芸術大生ら作業						○			
民友	4	3	特集 東日本大震災4年 復興公営住宅 遅れる用地造成 工期に影響 状況に応じて優先工事検討		○		○					
民友	4	4	避難指示解除時期で飯館村長「9月ごろまで判断」ずれ込む可能性						○			
民友	4	23	福島民友新聞創刊120周年記念事業 ノクターン夜想曲 郡山公演 富岡町民ら感動 震災の姿重ね合わせ				○					
民友	4	25	営業賠償の延長検討 福島県内商工業者ら安堵 いつ打ち切り？不安残る 経済団体 あらためて継続求める		○							
民報	4	29	原発賠償 営業賠償延長検討「早急に成案示せ」商工業者 風評で経営厳しく 長期継続求める声	○								
民友	5	2	特集 東日本大震災4年 地震・津波からの再生 地域の拠点 再出発 三重橋 待望の再公開									○
民友	5	4	第2原発の燃料移動 20日にも作業終了へ「作業の安全確保」第2原発ルポ 絶対的な安定性重要				○					
民友	5	9	飯館イチゴで「福恋」紅茶 専門店協力、香り豊か 農業復興PRへ活用						○			
民報	5	2	論説＝「関連死」不認定 国は新たな対策を						○			
民報	5	23	特攻訓練場だった第一原発 汚染水タンク群に石碑		○							
民報	5	27	2015再起 富岡で工場再開 平山美弘さん 車整備 復興後押し 父の遺志継ぎ				○			○		
民友	6	1	国道6号に浪江交流拠点 町が物産館など整備へ	○								
民友	6	3	特集 東日本大震災4年 産業再生 進むロボット革命 いつか「人型」も 廃炉作業、介護 広がる活躍の場				○					
民友	6	9	来月、常磐開発 広野に営業所							○		

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	6	3	避難指示解除後の支援 経産相「できる限り対応」楢葉町長が要望					○				
民報	6	3	浪江町議会開会 馬場町長明らかに 観光交流、復興状況を発信 新たに拠点施設整備	○								
民報	6	27	福島県内福祉避難所 避難区域、山間部進まず 年度内指定困難に 事務作業遅れ施設足りず	○								
民友	7	2	特集 東日本大震災4年 風評と闘う 避難市町村長に聞く 松本幸英 楢葉町長 桜井勝延 南相馬市長					○				
民友	7	5	「帰還したい」3割 飯館村民調査 前回より8.1ポイント増						○			
民報	7	1	福島県内59市町村長アンケート 復興過半数が「実感」浜通り 市町村間で認識に差		○							
民報	7	2	論説＝避難者ケア 一人一人きめ細かく	○			○					
民報	7	3	26年度復興庁帰還意向調査 飯館「戻りたい」8.1ポイント増 5町村で割合増加						○			
民友	8	2	避難、放射線でストレス 子どもと親の両面ケア 福島県内小中高校 独自の道徳資料 命大切、人思いやる	○								
民友	8	3	東日本大震災4年 教育復興 ふたば未来学園 復興担う人材育成 1期生152人 夢実現へ一歩	○	○	○	○	○		○		○
民友	8	5	富岡の被災海岸復旧で福島県 毛萱・仏浜地区に防潮堤 月内に一部着工 18年完成目指す				○					
民友	9	1	共同通信自治体アンケート 福島県内 災害公営高齢者37% 1人暮らし、全世帯の21%						○	○		
民友	9	26	震災・原発事故4年 踏み出す 3市町追悼式、遺族が紡ぐ言葉「復興見守っていて」		○			○				
民報	9	3	鎮魂の祈り 各地で追悼式 いわき市 震災の教訓胸に「前へ」いわき勿来 海に向かい追善供養		○			○				
民友	10	1	道路復旧2年前倒し 居住制限区域、15年度完了						○		○	
民友	10	3	特集 東日本大震災4年 除染・中間貯蔵施設 難航する中間貯蔵 進む除染 潜む課題		○	○			○			
民友	10	4	特集 東日本大震災4年 賠償 国と東京電力再検討 どうなる営業賠償 地元反発で素案撤回						○			
民友	10	5	特集 東日本大震災4年 地方創生と復興 新たな福島県の創造 復興は地方創生モデル		○							
民友	10	30	サッカーU15日本代表 飯館中・坂井君が柏ユースへ 飯館村民に勇気を						○			
民報	10	1	県道2路線27年度復旧 南相馬一葛尾間 福島県、帰還目標に対応 114号国道は28年度内	○								○
民報	10	2	中間貯蔵試験輸送 環境省 保管場への搬入路示す 大熊町、HPで周知へ				○					
民報	10	26	東日本大震災から4年 被災地 保育士足りず 沿岸、原発避難先で深刻				○					
民友	11	1	国土交通省発表 常磐線 小高一原ノ町16年春再開 浪江ー小高は2年後	○								
民友	11	3	特集 東日本大震災4年 風化防止・語り継ぐ 浪江まち物語つたえ隊 震災の記憶後世に	○			○					
民友	11	4	特集 東日本大震災4年 20歳の復興 私が描く「未来」							○		
民友	11	5	特集 東日本大震災4年 東京五輪と復興 福島県復興アピール 五輪合宿誘致目指す 再開Jヴィレッジ活用					○		○		
民友	11	38	常磐線再開通見通し 地元住民期待の声					○				
民友	11	38	吉永小百合さん東京で朗読 被災者の思い読み上げる 和合さんらの詩に心込めて				○					
民友	11	39	3・11から4年 鎮魂の祈り 大熊・娘が行方不明の木村さん 自宅跡は家族を弔う場				○					
民報	11	1	きょう震災から4年「3・11」を迎えて 手を携え、前に進もう	○		○				○		○
民報	11	2	論説＝次代担う人材育成「福島生まれ」を誇りに							○		
民報	11	2	中間貯蔵地初 初売契約 今月上旬、環境省と地権者 大熊町 中間貯蔵への搬入ルートHPに掲載				○					
民報	11	3	東日本大震災4年 知事がメッセージ発表 福島県民一丸で未来創造							○		
民報	11	5	福島空港 大堀相馬焼9窯元 13日から新作品展	○								
民報	11	5	震災から4年 片付け 富岡高校 教員ら備品運び出す				○					
民友	12	1	東日本大震災4年 福島県追悼式 知事「困難に挑戦」「新しい福島」創造				○	○				
民友	12	1	政府追悼式 天皇陛下、哀悼の意 福島県遺族「力合わせて」	○								
民友	12	2	福島県内各校で防災授業 川俣 道徳で山木屋小児童 命の大切さ考える						○			
民友	12	2	東日本大震災 政府追悼式 浪江出身・鈴木さん願ひ「骨ひとかけらでも」不明の父母へ「見つかって」	○								
民友	12	3	東日本大震災4年 福島県追悼式 富岡・村井さん決意「一歩ずつ前に進む」				○	○				
民友	12	4	東日本大震災4年 祈る2時46分		○		○	○		○	○	
民友	12	5	社説＝常磐線全線再開へ 復旧見据え活用策考えよ				○	○				
民友	12	5	東日本大震災 埼玉・加須 最後の避難所でも祈り「4年も仮の住まい落ち着かない・・・」		○							
民友	12	8	福島県固定資産評価審議会 県内宅地21年ぶり上昇 前年度比で4.4%	○				○				○
民友	12	25	東日本大震災4年 沿岸部で県警 鎮魂の祈りささげ 捜索 不明者の手掛かり探る									
民友	12	27	震災・原発事故 4年 踏み出す 震災体験手記に いわきの新妻さん 亡き父の代わり	○			○		○			
民報	12	1	東日本大震災4年 福島で県追悼復興祈念式 記憶風化させない 高校生が「詩」創作				○	○				
民報	12	1	東京で政府追悼式 天皇陛下ご臨席 遺族ら黙とう	○								
民報	12	2	福魂祭 郡山 祈りの中希望の歌声 子どもたち高らか	○					○			
民報	12	3	震災4年原発事故 福島県追悼復興祈念式 復興目指す決意固く 知事「未来を切り開く」					○				
民報	12	3	政府追悼式 福島県遺族ら参列 天皇陛下お言葉 国民皆が心を一つにして寄り添っていくことが大切	○								
民報	12	4	震災4年 原発事故 福島県追悼復興祈念式 再生あらためて決意 出席の副大臣ら				○					
民報	12	4	政府追悼式 家族や故郷思い尽きず 被災地から参列	○								
民報	12	5	震災4年 原発事故 面影を胸に未来へ生きる 各市町村が追悼式 教訓語り継ぐ誓い新たに	○	○	○	○	○	○	○	○	○

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	12	6	福島県内宅地21年ぶりプラス 27年度の提示平均価額 前年度比4.4%増 震災減価率 今回から通常に	○				○				
民報	12	29	震災4年 原発事故 福島県警一斉捜索 手掛かり見つけたい ウルトラ警察隊懸命に	○								
民報	12	30	東日本大震災 前へ踏み出す日に 福島県追悼復興祈念式 富岡の村井良一さん 天国から「頑張れ」				○					
民友	13	1	中間貯蔵 大熊きょう開始 双葉への搬入は25日		○	○						
民友	13	2	田村 ごみ焼却施設で環境省 市議会に調査結果報告 市民グループが抗議									○
民友	13	2	原発事故の被災自治体 竹下氏に双葉町村会要望 復興事業「国負担継続を」				○					
民友	13	5	社説＝中間貯蔵搬入開始 安全確保と管理に万全期せ				○					
民報	13	1	中間貯蔵 きょう大熊へ搬入開始 双葉へは25日に延期		○	○						
民友	14	1	福島県外最終処分 45年3月12日 中間貯蔵に初搬入 大熊から12トン「見切り発車」厳しい視線		○	○						
民友	14	2	中間貯蔵 国道6号極力回避 現場に緊張感漂う 初搬入、細心の注意		○	○						
民友	14	35	福島県内中学校卒業式 復興誓い 思い出刻む 双葉 高野君「自覚胸に」山木屋 初めて母校訪問		○	○				○		
民報	14	1	中間貯蔵 大熊で搬入開始 廃棄物、一時保管場へ 双葉は25日から 安全策求める声相次ぐ		○	○						
民報	14	1	動きだした中間貯蔵施設(上)＝地権者交渉進まず課題も				○					
民報	14	3	中間貯蔵搬入開始 福島県民、期待と懸念 仮置き場解消を 避難者、最終処分場化拒む		○			○				
民報	14	29	福島県内震災関連死 1人増え1885人に 葛尾村が認定									○
民報	14	31	福島県内公立中卒業式 震災、原発事故で避難 苦難越え夢追う 広野中・鯨岡洋星君	○	○	○				○		
民友	15	23	常磐線都心乗り入れ 期待乗せ新ライン 浜通り復興大きな力 いわき行き特急ルポ 乗り換えなく便利					○				
民報	15	3	国連防災世界会議 福島の思い伝わった 知事講演 取り組み評価 来場者、政府に注文も	○								
民報	15	3	動きだした中間貯蔵施設(中)＝安全、透明性求められる				○					
民報	15	27	常磐線 上野東京ライン開業 浜通り復興けん引「時間短くなった」乗客、鉄道ファンら笑顔					○				
民友	16	1	国連防災会議「福島県産食品は安全」世界へ情報発信強化 政府、追加対策を示唆									○
民友	16	4	若松で資料展示や講演会 震災見つめ直す				○					
民報	16	2	論説＝震災の記憶・記録「風化」への対応急ごう	○	○		○					
民報	16	2	国連防災世界会議 総合フォーラム 元気な児童の姿見て 双葉の教育現状紹介		○	○				○		○
民報	16	3	福島国際専門家会議 活発に意見									○
民報	16	23	若松で実行委 震災遺産の重要性紹介 50点、資料展示も				○					
民友	17	1	未来にエール ふたば未来学園高 福島県立高合格発表 番号あった一笑顔満開							○		
民友	17	5	社説＝避難区域の道路 地域の再生へ着実に復旧を									○
民友	17	26	富岡 津波被災のパトカー展示 署員の志伝える象徴				○					
民友	17	27	福島県立高 合格発表「ふたば未来」広がる夢 渡辺君 根本君「サッカーで歴史刻む」					○		○		
民報	17	1	福島県立高合格発表 8754人笑顔咲く ふたば未来学園高 1期生が誕生							○		
民報	17	2	中間貯蔵 新たな一時保管場確保 環境省 大熊、双葉の民有地5ヘクタール		○	○						
民報	17	30	津波被災のパトカー 富岡で設置式				○					
民報	17	31	福島県立高合格発表 古里復興誓う春 ふたば未来学園高 木村知宙さん 浪江に元気を	○						○		
民友	18	1	中間貯蔵搬入 双葉のルート案提示 環境省25日から開始へ		○	○						
民友	18	2	国連防災会議 災害の経験 生かす 福島・ワークショップ 行動宣言「車座会議」を明記					○				
民友	18	3	福島高専が廃止措置人材育成高専等連携協議会設立 廃炉に向け人材育成					○				
民報	18	3	仙台で国連防災会議フォーラム 楢葉の介護施設長 高木氏ら講演 過酷な避難状況語る					○				
民友	19	3	飯館 道の駅17年3月完成へ いいたてまでいな復興計画推進委員会が答申						○			
民友	19	7	福島県内公示地価 都市部上昇傾向強まる 住宅地 いわき3年連続プラス							○		
民友	19	25	地裁いわき支部 東京電力に1770万円支払い命令 原発事故で投石船回収不能				○					
民報	19	3	飯館の深谷行政区 道の駅までい館 29年3月完成見通し						○			
民報	19	25	地価高騰のいわき市 避難者ら悲鳴「対策を」 固定資産税増額 市民も懸念「家建てられない」					○				
民報	19	25	避難の双葉町民 先祖の墓参り 春の彼岸の入り		○							
民友	20	2	東電賠償 避難区域外1ヘクタール当たり シイタケ原木5～30万円							○		○
民報	20	2	論説＝5年目の被災地 区切りなどつかない	○								
民報	20	2	福島県内3カ所 森林の放射性物質流出防止へ 環境省、来月から調査						○	○		○
民報	20	3	福島県道小野富岡線川内の2760メートル 五枚沢一工区の安全祈願				○					○
民友	21	2	双葉の保管場 搬入ルート公表 来月下旬までに輸送		○							
民友	21	2	中間貯蔵で1500億円交付 地域影響緩和「幅広いニーズに対応」		○	○						
民報	21	1	3・11大震災 断面 国際研究産業都市 福島県と市町村 再生エネで独自構想 10項目、国の対応注視					○				
民報	21	2	論説＝被災地視察 相談窓口の整備を				○					
民報	21	2	第一原発1号機 熔融燃料調査 建屋周辺の工事が障壁 日本原子力学会が講演会				○					
民報	21	4	中間貯蔵 環境省1500億円交付 福島県、地元2町要求の一部 地域影響緩和向け		○	○						

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	21	5	福島・復興牧場が教材本に 小学5年生が学習へ JAバンク、全国で寄贈						○			
民友	22	1	バルーンに古里への思い 楢葉町復興祈願祭で交流					○				
民友	22	2	エネルギー総合工学研究所 圧力容器配管の損傷実験 模型で事故状況を再現 漏れた燃料量推定へ		○	○			○			
民友	22	3	きのうきょう あした 福島市 鎌田豊美さん 浪江町から避難 仮設生活に一筋の光	○								
民友	22	26	楢葉ならではの祭 広がる笑顔、笑い声 町民ら“絆”再確認					○				
民報	22	1	楢葉復興の願い空へ 震災後初 町、古里で催し					○				
民報	22	3	避難区域再編2年 葛尾 帰還へ準備着々 稲作 5年ぶり出荷期待								○	
民報	22	3	復興祈願「楢葉ならではの祭」懐かしい味笑顔					○				
民友	24	1	福島県内公立小、一斉に卒業式 川内小唯一の卒業生 秋元千果さん 涙浮かべ「1人だけ1人じゃない」									○
民友	24	1	原子力安全研究協会 放射性物質の検査体制強化 川内に新拠点開設へ									○
民友	24	2	楢葉で来月から長期宿泊 3カ月間、政府が意向示す					○				○
民友	24	3	福島県のクリエイティブディレクター 箭内道彦氏就任へ「復興」発信プロデュース							○		
民友	24	5	社説＝ふるさと納税 拡充を地域再生につなげよ							○		
民友	24	6	福島県人事異動 異動件数は1523件 震災後最多、部局を新設		○							
民友	24	27	小学校卒業式 仲間と笑顔、涙 津島、浪江 合同の式、6人 未来へ抱負	○	○							
民報	24	1	福島県内公立小で卒業式 誓いの一歩 双葉北は震災後初	○	○							
民報	24	3	ふたば未来学園高 月内に後援会組織 個人、企業 部活動費など応援							○		
民報	24	5	広野の絆アルバムに 子どもの写真 コメント掲載 関係者に郵送開始							○		
民友	25	1	福島県教職員異動 防災教育充実へ							○		
民友	25	4	福島県教委人事異動 双葉の教育復興注力 ふたば未来学園の体制万全							○		
民報	25	1	富岡 避難区域再編2年 帰還諦めさせない 復興拠点整備急ぐ 除染推進、実効性が鍵に					○				
民報	25	1	ふたば未来学園 校長に丹野氏 福島県教職員異動4213件発表							○		
民報	25	3	いわき 吉間田工区が開通 利便性向上し復興加速 中・浜通りつなぐ福島県道小野富岡線									○
民報	25	4	福島県教職員人事異動評 ふたば未来学園高、体制強化 サテライトの相双方厚く							○		
民友	26	2	中間貯蔵 双葉も搬入 試験輸送 本格化へ 郡山市、3小学校から搬出へ		○	○						
民友	26	3	ユーラスエナジーホールディングス計画 いわき2カ所に風力発電 19年3月稼働目指す									○
民報	26	2	中間貯蔵 双葉でも搬入開始 一時保管場へ12トン		○	○						
民報	26	2	川内のメガソーラー発電所 復興と工事安全願う									○
民友	27	3	双葉郡8町村 郡外で看護学校再開へ「帰還へ核となる病院を」	○	○	○	○	○		○	○	○
民友	27	3	未来にエール ふたば未来学園高 ふたば未来学園高初代校長 丹野純一氏に聞く 社会を変える人材育てる							○		
民報	27	3	双葉地方町村会 国、福島県に要望へ 双葉郡に二次救急医療機関を									○
民友	28	2	広野町長ら 青木国交政務官に意見「復興へ交通網整備を」							○		
民友	28	3	浪江町と東京大が協定 地域防災計画の策定 震災直後 職員の行動分析	○								
民友	28	5	社説＝双葉郡の医療 再生へ地域の提案を生かせ	○	○	○	○	○		○	○	○
民報	28	2	論説＝原子力政策 この道でいいのか				○					
民報	28	2	第一、第二原発 楢葉町原子力施設監視委員会が報告書「新たな避難可能性低い」					○				
民報	28	2	JR常磐線 再開通時期明示区間 空間線量平均毎時0.46マイクロシーベルト				○					
民報	28	9	あぶくま信用金庫 29年3月に浪江支店再開	○								
民報	28	27	富岡町 福島県内震災関連死 新たに2人認定				○					
民友	29	3	友情がつなぐ二つの被災地 福島県と広島交流 喜多方で「贈り物」交換					○				
民友	29	3	きのうきょう あした 白河市 館林孝男さん 双葉町から避難 避難先から古里思う		○							
民友	29	25	避難中学生ら広野で会議 双葉郡の未来に若い力「震災前よりいい町に」					○		○		
民報	29	1	都路 避難指示 解除1年 帰還世帯5割超 雇用確保が鍵 6次化商品拠点 整備へ				○					
民報	29	3	帰還判断保留者も支援 富岡町、復興計画に反映へ				○					
民友	30	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 地域へのまなざし(1)＝周囲を幸せにしたい							○		
民報	30	1	文科省 スーパーグローバル高校 ふたば未来学園指定へ 海外研修や就業体験充実							○		
民報	30	3	大熊、双葉常磐道IC 通常ICで検討か 復興相と懇談 大熊町長 感触示す		○	○						
民友	31	1	全町避難で初 楢葉6日から長期宿泊 3カ月後、解除時期検討							○		○
民報	31	2	楢葉 政府発表 長期宿泊6日開始 3カ月間、全町避難で初							○		○
民報	31	2	知事 住民帰還に向け環境整備加速へ							○		
民報	31	3	浪江 避難区域再編2年 農業再生本格化 コメに続きムギ収穫へ「帰町の鍵」除染は遅れる	○								

2015年4月

《主な出来事》

- ・ 全町避難が続く檜葉町の避難解除に向け、3ヶ月間の「準備宿泊」がはじまる(6日)
- ・ 広野町に「ふたば未来学園」が開校(8日)
各界の著名人をつくる「ふたばの教育復興応援団」による授業はじまる(15日)
- ・ 震災犠牲者を追悼し、原発事故の教訓を伝える復興祈念公園、双葉・浪江沿岸部が整備候補地に(27日)

【記事数:138件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	1	未来にエール ふたば未来学園高 スーパーグローバルハイスクール 国際的視野養う ふたば未来学園指定						○			
民友	1	2	試験調理開始 東京電力給食センター完成 原発作業員に3000食提供			○						
民報	1	1	文科省のスーパーグローバル高 福島県内初 ふたば未来学園指定						○			
民報	1	8	24年度 福島県内全域プラス成長 復興需要影響、相双は38%						○			
民報	1	8	楢葉、いわきに移動店舗車 東邦銀行7日から営業開始	○								
民報	1	25	浪江の帰還困難区域 道路脇の除草作業完了 防火、一時帰宅に配慮			○		○	○	○		
民報	1	26	大熊 福島給食センター開所 原発作業員に温かい食事 県産食材ボリュームたっぷり				○	○				
民友	2	1	富岡町長、目標示す 17年4月帰還開始				○					
民友	2	3	避難市町村が新年度 住民のため全力 双葉 浦田さん2度目派遣 葛尾村役場 地元で一部再開		○			○			○	
民報	2	5	避難区域の市町村辞令交付式 地域再興貢献誓う 広野町・横田侑哉さん 早期帰還へ全力	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	3	1	ふたば未来学園 道をひらく(1) =若い力芽吹く場に 夢実現「ここから」					○	○			
民友	3	1	中間貯蔵 田村・都路8日搬入開始 生活道路初の輸送			○						
民友	3	23	立ち入りルポ 時止まる富岡町災対 原発事故 緊迫物語る 震災遺産、3D映像化				○					
民友	4	3	未来にエール ふたば未来学園高 新入生オリエンテーション 学校生活心待ち							○		
民友	4	3	ふたば未来学園 道をひらく(2) =視野上げ古里に貢献				○		○			
民友	4	4	社説=震災遺産 記憶と教訓をどう伝えるか						○			
民友	4	29	地元高校生、福島大生ら始動「相双の現状知って」被災地でツアー企画		○		○					
民報	4	3	ふたば未来学園高 新入生夢膨らませる 事前説明会に120人臨む 大熊出身の田熊君 古里復興の役に									○
民報	4	29	放射性物質検査 キノコと山菜基準値以下			○			○			
民報	5	5	楢葉 住鉱エネルギー材料 工事の安全祈る						○			
民友	6	1	楢葉 生活基盤再生が鍵 きょうから長期宿泊						○			
民報	6	1	3・11大震災 断面 再除染 基準なく住民困惑 楢葉 判断に時間 完了遅れ						○			○
民報	6	23	三春 仮設住宅で男性孤独死 葛尾から避難の50代								○	
民友	7	1	楢葉で長期宿泊開始 帰還への第一歩 夫婦水入らず「待ちに待った日」						○			○
民友	7	1	未来にエール ふたば未来学園高 ふたば未来学園高あす開校 校歌きょう披露						○			
民友	7	3	飯館コンビニ再開へ 仮店舗来月にも 帰村へ足掛かり期待						○		○	
民友	7	3	未来にエール ふたば未来学園高 タブレットで「反転授業」予習と復習役割逆転						○			
民友	7	4	社説=楢葉町で長期宿泊 生活取り戻す課題洗い出せ							○		
民友	7	22	福島県内公立小中校で入学式 古里胸に新生活 葛尾小、2年ぶり新入生 楢葉中・立花さん「地元で農家に」						○			
民友	7	23	楢葉長期宿泊開始 夫婦万感 わが家 買い物、医療「不安は残る」						○			○
民報	7	1	常磐道 大熊、双葉 通常ICで最終調整 避難証明書類確認のため		○	○						
民報	7	1	県内小中学校で入学式 新しい友達つくろぞ 浪江の津島小、再開後初	○								
民報	7	3	全住民避難 自治体で初 楢葉で長期宿泊開始 帰還に向け第一歩 生活環境回復が鍵							○		
民報	7	3	川内復興尽力誓う 温泉運営会社で入社式						○			○
民報	7	5	ふたば未来学園高あす開校 進学、スポーツ、職業人 復興担う人材育成 広野で式典校歌初披露									○
民報	7	5	ふたば未来学園高開設地 遠藤広野町長に聞く 町挙げ教育環境整備						○			
民報	7	27	飯館の復興後押し 小売店初の再開 6月にも 村が運営全面支援 生活再建へ一歩 利便性向上で企業歓迎						○			
民友	8	1	富岡・夜の森 花盛り バリケードの先				○					
民友	8	1	未来にエール ふたば未来学園高 人は違うからこそ面白い ふたば未来学園高 校歌が完成						○			
民友	8	2	不具合か数値大幅上昇 一部の放射線監視装置 葛尾で363マイクロシーベルト							○	○	
民友	8	3	未来にエール ふたば未来学園高 谷川、筋内さん曲に思い「浜通り」に寄り添う 校歌初披露						○			
民友	8	4	社説=ふたば未来学園高 復興へ若い感性と行動力を						○			
民友	8	7	東邦銀行 楢葉で移動店舗始動 再開事業者「便利に」						○			
民友	8	7	東京都内JR高架下にご当地グルメ食堂「なみえ焼そば」など検討	○								

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	8	1	常磐道 大熊、双葉「通常IC」明言 国交相、整備に各40億円 大熊の北部 設置候補地		○	○						
民報	8	1	ふたば未来学園高 きょう開校 谷川俊太郎さん作詞 校歌お披露目						○			
民報	8	2	環境省 浪江町の間貯蔵試験輸送 今月下旬にも開始方針 議会側はルートに反発	○								
民報	8	3	ふたば未来学園高 きょう入学式 教育復興へ船出 1期生152人						○			
民報	8	3	国際研究産業都市構想 拠点施設整備へ 富岡、大熊、双葉、浪江に					○				
民報	8	27	モニタリングポスト 南相馬などの30台 機器不具合か、異常値 福島県は公表せず	○	○	○	○		○			
民友	9	1	未来にエール ふたば未来学園高開校 1期生152人新たな一歩 復興支える人材に						○			
民友	9	3	未来学園開校 誇れる伝統へ 意気込む1期生 全国が注目 保存版を配布					○	○			
民友	9	23	未来学園開校 未来の主役「ここから」「福島力になりたい」小泉政務官エール						○			
民報	9	1	華やぐ春 広野 ふたば未来学園高 希望の門出包む薄紅の花【縮小】						○			
民報	9	1	ふたば未来学園高 開校 1期生152人入学 歴史刻む第一歩 中学校開設が焦点						○			
民報	9	20	福島県警察学校入校式 県民守る思い強く 葛尾出身 松本さん「被災者の力に」								○	
民友	10	1	国道399号 十文字工区 トンネル化国整備 いわきと川内結ぶ 帰還、復興後押し									○
民友	10	2	政府が工程改定へ骨子案 廃炉、数年単位で目標「迅速作業」から「リスク最小化」へ						○			
民報	10	2	論説＝福島県の情報発信 広告のプロ起用に注目						○			
民報	10	2	復興祈念公園 双葉、浪江に設置を 両町長が知事に要望	○	○							
民報	10	3	世界へ羽ばたけ ふたば未来学園高開校(1)＝進路見据え科目選択 県民の健康守りたい						○			
民報	10	3	政府予算 霊山道路61億円 6号国道 勿来バイパス新規事業化									○
民友	11	2	特集 東日本大震災4年1カ月 楢葉町 帰還の課題 消えぬ「水」への不安 住民と政府 議論平行線					○	○			○
民報	11	3	世界へ羽ばたけ ふたば未来学園高開校(2)＝著名人17人が応援団						○			
民報	11	4	福島再生加速化交付金 福島県、22市町村などに179億円 復興庁 配分を発表	○								
民報	11	4	399号国道 十文字工区 国直轄整備 復興後押し期待 いわきと川内結ぶ				○			○		
民報	11	29	あなたを忘れない(53)＝浪江町請戸 高野英二さん 慶子さん 生きた証し花に託す									○
民友	12	2	復興誓い広野で集い 富岡の絆 再確認					○	○			
民報	12	1	3・11大震災 断面 中間貯蔵施設へ試験輸送1カ月 搬入開始3市町のみ ルート選定など調整難航				○	○	○			
民報	12	3	合併60周年記念 富岡再生祈る 広野で復興への集い 帰還に向け意識高揚 車窓から夜の森の桜眺める	○								
民報	12	3	世界へ羽ばたけ ふたば未来学園高開校(3)＝地域一丸生徒見守り					○				
民報	12	19	東日本大震災から4年1カ月 福島県警沿岸部を捜索 特別出向者ら参加 印鑑や診察券13点を発見					○	○			
民報	12	21	富岡から郡山へ避難 兵庫出身清瀬さん 2度の震災、忘れない					○	○			
民報	13	3	世界へ羽ばたけ ふたば未来学園高開校(4)＝新校舎、建設準備進む						○			
民友	14	2	中間貯蔵 環境安全委が初会合 輸送前後線量変化なし				○					
民友	14	3	未来にエール 文科相視察 ふたば学園支援継続 生徒と昼食夢を聞く		○							
民友	14	3	楢葉 今月下旬から懇談会						○			
民友	14	20	大沼さん、一時帰宅で撮影 写真展示を企画「双葉の桜見せたい」原子力標語を考案						○			
民報	14	3	世界へ羽ばたけ ふたば未来学園高開校(5)＝生徒の声復興の足音(おわり)		○	○	○	○	○			
民友	15	2	福島大生ら復興で意見 日本原子力産業協会、年次大会が閉幕	○					○			
民友	15	4	社説＝福島県の危機管理 迅速で的確な対応が鍵握る							○		
民報	15	2	原産年次大会 福島県の若者 復興へ思い 心の被災存在／できることから「福島セッション」で発表	○					○			
民報	15	3	福島大など「東北クラスター」8月設立 福島県内中高生 地域課題探る						○			
民友	16	1	中間貯蔵 7月以降7市町村搬出 福島、相馬、南相馬、伊達、川俣、新地、飯館 常磐道軸にルート案					○				
民友	16	1	未来にエール「応援団」初の授業【ふたば未来学園高で 劇作家・演出家 平田オリザさんの特別授業】						○			
民友	16	22	富岡川、震災後初 サケの稚魚1万匹放流					○				
民報	16	1	ふたば未来学園高 劇作家・演出家 平田オリザさん授業 復興応援団が始動						○			
民報	16	2	来月10日まで 25日から特例宿泊 飯館、南相馬、川俣、葛尾 川内は来月2日から						○	○	○	○
民報	16	2	浪江町議会再び反発 中間貯蔵試験輸送 今月下旬の開始不透明 他市町村からの通過見通し示す	○						○	○	
民報	16	3	ふたば未来学園高 平田さん授業「伝える力」学んで 台本使い演劇指導	○								
民報	16	23	東電 財物賠償の請求書紛失						○			
民報	17	1	楢葉 ふたば復興診療所 施設概要固まる 来月着工、在宅医療想定						○			○
民報	17	2	富岡の中間貯蔵試験輸送 町がルート案示す					○				
民報	17	3	楢葉に来年開所 ふたば復興診療所 医療整備、帰還後押し 医師の確保など課題	○					○			
民報	17	25	原発賠償 解決センター 和解案の拒否理由 東電に明示を要求 浪江町民1万5000人ADR						○	○		
民友	18	25	楢葉・木戸川 漁再開目指し サケ稚魚放流						○			
民報	18	2	論説＝ふたば未来学園 新たな教育で復興加速						○			
民報	18	25	富岡町 避難の混乱生々しく 震災時の災対本部公開					○				

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	19	2	復興財源継続確保を 知事、6市町村長 復興相「協力しながら進める」	○								
民友	19	22	家族で楽しむ春「夜ざくら花火」5000発 浪江の祭り復活	○								
民報	19	1	浪江のまつり本宮で「復活」避難者に寄り添い咲く夜ざくら花火	○								
民報	19	2	竹下復興相 集中復興期間後の事業で「地方負担に理解得た」一部出席者は反発	○								
民報	19	27	被災地ツアー続々 浜通り中心に受け入れ 体験伝え記憶つなぐ コース多様、社員研修でも	○								
民友	20	2	持ち主待つ被災写真 今も200万枚保管			○						
民報	20	19	宙に浮く「思い出」震災から1500日経過東北3県 回収写真の返却頭悩ます			○						
民友	21	2	茨城・東海村で技術開発 廃炉へ国際拠点始動 第1原発周辺に研究棟 来年度建設			○		○				
民報	21	1	飯館村 29年春までに避難解除 新目標 役場は来春にも帰還 生活環境整備へ対策							○		
民報	21	3	富岡町第2次復興計画 素案に重点12事業 曲田・岡内地区 災害住宅を先行整備 土地利用 6ゾーン設定			○						○
民報	21	19	「核なき世界」願い単行本刊行 編集の福島大生ら「若い人読んで」				○					
民友	22	3	飯館の避難指示解除時期「最短来年3月 最長17年3月」村長意向、本格協議へ							○		
民友	22	4	社説＝廃炉へ国際拠点始動 世界の英知集め研究加速を			○		○				
民報	23	22	8市町村のモニタリングポスト 福島県、全77台運用中止 不具合改善見通し立たず							○		
民友	24	3	町民の放射線不安解消 健康管理委員会 楢葉町が設置へ					○				
民報	24	3	浪江町の下水道復旧見通し「解除準備」29年3月まで 居住制限は30年3月まで	○								
民友	25	1	大熊、双葉に有人IC 常磐道 常磐富岡－浪江間 完成まで3～5年 国「短縮したい」	○	○	○	○	○				
民友	25	31	震災・原発事故 5年目の起点 飯館「駐在さん」帰還 安全安心より強固に							○		
民報	25	1	国交相 平成30年にも完成 大熊、双葉に新設 常磐道IC		○	○						
民報	25	3	広野の複合商業施設 町とイオンリテール 覚書締結 8月にもオープン				○					
民報	25	29	福島をつくる 富岡町「3・11」伝える 震災資料館整備へ 被災バトカーや3D映像	○			○					
民報	25	29	警察庁長官が献花 富岡訪れ殉職警察官に						○			
民友	27	1	未来にエール ふたば未来学園高にAKB48参加 歌声と元気届ける						○			
民友	27	2	浪江の馬場さん NYで語る原発事故「古里が奪われた」	○								
民友	27	3	ふたば未来学園高にAKB48 夢の時間生徒に笑顔 広野出身・舞木さん「応援したい」						○			
民報	27	1	広野出身舞木さんら ふたば未来学園高でライブ AKB48、元気届ける						○			
民報	27	29	福島をつくる 未来学園高に「社会起業部」双葉復興若い力で 特産開発、情報発信...						○			
民友	28	1	双葉、浪江に復興祈念公園 福島県が候補地選定 原発一望の高台	○	○							
民友	28	4	社説＝大熊、双葉にIC 機能活用し復興に役立てよ	○	○			○				
民報	28	1	福島県選定 双葉・浪江に復興祈念公園 32年一部供用開始 複合災害の教訓発信 双葉、浪江町長が歓迎	○	○							
民報	28	2	論説＝国の認知症対策 地域の実情に配慮を【浪江町「健康白書」で、認知症の発症と進行の拡大が報告】	○								
民友	29	2	墓石賠償 受け付け開始 避難区域内 移転費用 上限150万円									○
民友	29	3	「心の復興」事業22件 生きがいづくり 被災者孤立防止 復興庁が活動支援			○	○					
民友	29	4	全国平均 介護保険料 月5514円に 上位20カ所に福島県7町村 避難ストレス増すニーズ	○	○	○		○		○	○	
民報	29	1	介護保険料改定 避難区域町村中心に上昇 飯館8003円 全国2位 長期避難で体調悪化 介護需要高まる		○			○		○	○	○
民報	29	3	復興庁 今年度から事業 福島県関係11件1次採択「心の復興」後押し				○					
民報	29	9	介護保険料上昇止まらず 予防に工夫 値上げ抑制も 負担「地域差」鮮明に		○	○				○		
民友	30	1	子どもたちは今 ふくしまの現場 進学率、就職を上回る	○								
民友	30	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 被災をバネに(1)＝避難先でつかんだ夢						○		○	
民報	30	2	初の「みらいバス」川内訪ねる 福島大生、被災地に学ぶ									○

2015年5月

《主な出来事》

- ・ 5年ぶりのコメ販売へ、葛尾村で実証栽培はじまる(19日)
- ・ ふたば未来学園中学校、高校との併設型で平成31年度より開校方針(22日)
- ・ JR広野駅東側開発事業の一環として建設される、開発事業の核となる施設「広野東口ビル(仮)」が起工。(25日)

【記事数:109件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 被災をバネに(2)＝「復興」に重なる進路				○		○			
民友	1	3	相双の起業支援 株式会社「相馬藩」設立へ	○	○	○						
民報	1	1	災害公営住宅2割が辞退 福島県、要望把握できず 高齢者向け少なく			○	○					

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	2	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 被災をバネに(3)＝「新天地」で高校進学				○		○			
民報	2	3	楢葉復興へ なにかし隊 行動する仲間募集 町民組織、来月始動					○				
民報	2	27	W杯なでしこ代表決定 福島県民に勝利で恩返し 山根、菅沢選手 震災、けが乗り越え 同級生笑顔で抱負				○					
民友	3	2	子どもたちは今 ふくしまの現場 被災をバネに(4)＝警察官として生きる				○					
民友	3	2	劇場彩る市民の「夢」いわき 日比野克彦さんとアート制作					○				
民報	3	1	福島県内26年度の復旧・復興予算 繰越額17市町村で増 資材、作業員不足 事業未執行多く	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	3	3	県内59市町村財政アンケート 平成27年度 当初予算 18市町村が過去最高 復旧・復興事業費が増加	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	4	3	二ツ沼公園 歓声戻る 広野 全面再開「フェスタ」満喫						○			
民報	4	1	来月6日表彰 大玉村消防団に金ばれん 震災時、迅速な被災者支援				○					
民報	4	3	伝統の三匹獅子舞継承 川内の諏訪神社例大祭 児童4人が初舞台									○
民報	4	23	NPO新町なみえ 浪江町民の絆運ぶ 11日から二本松巡るワゴン車 高齢者「ありがたい」	○								
民友	5	2	福島県内子ども23万9128人 減少幅は震災後最小 大熊、町人口の15%超			○						
民友	5	21	第1原発汚染事故死 廃炉の陰、落とした命 残された母冥福祈る						○			
民報	5	3	福島県内子ども人口 大玉、矢吹、川内、新地、飯館 5町村は前年比で増加			○						
民報	5	21	福島をつくる 浪江・大堀相馬焼「岳堂窯」窯元 志賀喜宏さん 郡山の陶芸に新風 避難乗り越え再起	○								
民友	6	1	ニュースの核心 復興住宅、完成は1割 見通せぬ生活再建 369戸用地確保もまだ			○	○					
民友	6	3	南双葉青年会議所本格再開 風評打破へ農作業体験計画 設立30年節目に「若手が頑張る」						○			○
民報	6	3	福島大災害ボランティアセンターの学生 仮設に住み避難者支援 来月から 声掛けて孤独死防止	○								
民友	8	4	全国広報コンクール 県と2市村が入選【飯館村の「かわら版道しるべ」が広報企画部門で入選】							○		
民報	8	2	論説＝ふるさと創造学 復興への芽育てよう						○	○		○
民報	8	3	南相馬市 医療関係者らが仮設住宅に居住 目的外貸付事業を開始									○
民報	8	25	福島県の被害状況速報 大熊町の被災建物棟数修正			○						
民報	8	25	大熊町 福島県内震災関連死 新たに5人認定			○						
民友	9	2	国勢調査 避難6町村「人口ゼロ」か 福島県、自治体 交付税特例措置、国に求める	○	○	○	○	○		○	○	
民友	9	4	社説＝楢葉町の長期宿泊 住民の不安の解消が急務だ					○				
民報	9	25	福島県のHP修正 広野の被災建物 再調査で239棟に						○			
民報	9	25	富岡 一時帰宅の男性 体調不良で搬送				○					
民友	11	3	川内に復興住宅完成 双葉郡初、来月から入居へ 内覧会で設備確認									○
民報	11	27	かるたに残す富岡の原風景 平交流サロン 町民の声集め制作へ 子どもに郷土愛				○					
民友	12	2	避難区域の牛続く調査「価値ある命」データに残す	○		○						
民友	12	2	中間貯蔵輸送 浪江町議会、条件付きで 市街地迂回案を了承	○								
民報	12	1	浪江町長選 新人小黒氏立候補へ 町議会議長を辞職	○								
民報	12	27	福島県警初任科生使命受け継ぐ 震災から4年2カ月 初の不明者捜索	○								
民友	13	1	自民方針 事故後6年までに解除 居住制限と準備区域 課題解決型の提言期待	○	○	○	○	○		○	○	
民友	13	7	復旧・復興事業のあり方全文					○				○
民友	13	26	福が満開、福のしま。ふくしまDC 避難の女性農業者【飯館村】ら「あぶくま御膳」販売開始							○		
民報	13	7	広野 フタバ・ライフサポート ホテル双葉邸完成祝う 15日営業開始					○	○			
民報	13	25	放射性物質検査 楢葉のウド基準値超え 野菜は下限値未満					○				
民友	14	2	帰還へ新しい電力計 東北電力 楢葉で交換					○				
民報	14	2	論説＝復興・創生事業 個別事情に合う財源を	○								
民報	14	2	富岡の農地 客土供給されず除染遅れ 国、代替分用意へ				○	○				
民友	15	2	自民復興5次提言 中間貯蔵整備を加速 用地交渉へ人員確保 避難指示解除方針に憤り「実態にそぐわない」		○	○	○			○		
民友	15	4	社説＝避難指示解除目標 帰還できる環境まず整えよ									○
民友	16	4	社説＝国際研究産業都市 国が責任を持ち構想進めよ			○	○					
民報	16	2	論説＝復興と土地利用 再編に工夫を凝らす						○			○
民報	16	2	葛尾復興へ連携 村と日大工学部が協定									○
民報	16	25	放射性物質検査 広野のコゴミ基準値超える						○			
民報	16	26	KAZETOROCK IMONYLAND 9月の「風とロック芋煮会」ライブ、落語多彩に				○					○
民報	17	1	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(19)＝第3部 課税 納税、賠償金額み 埋まらぬ損害悪循環	○								
民報	17	5	棚倉で「風とロックCARAVAN福島」トークやライブ 郷土へ思い届け				○					○
民友	18	27	“漫画”通し集落再生 広野・箒平 活動拠点整備へ 田植え体験 都市と交流						○			
民報	18	1	避難区域27年産米作付け 本社調査 6市町村、前年上回る 実証栽培などで増加 風評、農地除染が課題	○								○
民報	18	2	葛尾 農家7戸、1.2ヘクタールの水田で コメあすから実証栽培									○
民報	18	26	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(20)＝第3部 課税 将来設計不透明に 納税額に振り回され	○								

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	19	23	政府、福島県に指示 広野のクサソテツ出荷制限						○			
民報	19	26	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(21)＝第3部 課税 政府の対応遅く 納税後に軽減制度創設	○								
民報	19	27	ふるさと納税に殺到 湯川村電話鳴りやまず 初日だけで2100件 広野町、大玉村も大幅増						○			○
民友	20	1	居住制限と準備区域 自民、政府に提言へ 慰謝料18年3月まで【避難解除地域の住民にも配慮求める】						○			○
民友	20	3	5年ぶりコメ販売へ 葛尾で実証栽培スタート								○	
民報	20	1	原発賠償 自民復興本部提言 政府が検討 居住制限、避難解除準備区域 精神的賠償「30年3月まで」									○
民報	20	22	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(22)＝第3部 課税 就労不能も対象に(第3部終わり)				○					
民報	20	23	原発賠償 居住制限、解除準備区域の精神的賠償 一律終了に反発 個別事情考慮を 住環境整備求める声も	○			○	○				○
民友	22	1	未来にエール ふたば未来学園高に中学併設 福島県教委 19年度開校方針						○			
民友	22	1	自民5次提言 川内、都路も慰謝料7年分 来年度まで自立支援「集中」						○			○
民報	22	1	原発賠償 精神的賠償 都路、川内も「30年3月まで」5次提言で自民方針									○
民報	22	3	広野駅東側開発事業 医療、公共施設誘致へ 産業団地計画を転換						○			
民報	22	31	3・11大震災 断面 県内の仮設住宅(上)＝空き室3割超える 高齢者に孤立感 緊急時の対策求める	○								○
民友	23	4	福島県6月補正60億円超 ふたば未来学園高併設中設計費計上						○			
民友	23	7	年内にも大熊町商工会 いわき中心部に分室			○						
民報	23	1	大熊町長 渡辺氏今期で退任「復興に道筋」			○						
民報	23	2	論説＝第五次提言 問われる政府のやる気									○
民報	23	3	ふたば未来学園 中学は31年春開校 高校に「併設型」で一体教育						○			
民報	23	27	放射性物質検査 葛尾の野生フキ1点基準値超え								○	
民報	23	28	3・11大震災 断面 県内の仮設住宅(下)＝不安解消へ対策急務 年数経て新たな課題				○					
民友	24	21	福島「あつまっぺ館」開所 2年がかりの要望結実 浪江町民に交流拠点	○								
民報	24	3	広野で田植え体験 農産物の安全性発信 南双葉JC 福島県外住民招く				○	○				○
民報	24	26	福が満開、福のしま。きょうまで 福島でフェスタ 多彩におもてなし	○								
民報	24	27	原発賠償 二本松 浪江津島 原告団が結成総会 1次提訴は38世帯	○								
民友	25	2	中間貯蔵 大熊町長、事態打開を促す「地権者交渉福島県関与を」			○						
民友	25	25	緊急雇用事業廃止方針 飯館 バトロール継続を 南相馬 仮設の安否確認重要 避難のまちどう守る							○		
民報	25	1	福島をつくる 未来への挑戦(38)＝第4部 六次産業化 飯館 いいたていちゴランド 風評に負けず再開							○		
民報	25	3	知事と被災市町村長ら会談 集中復興期間後の財源「国負担の範囲明確に」		○	○	○	○	○		○	
民報	25	27	本社調べ 福島県内主要40社 人材確保 来春も旺盛「今春並み」「増」8割 景気回復や復興需要背景							○		
民友	26	2	中間貯蔵 福島県の関与強める意向 知事「不安に伝える」			○						
民友	26	3	再開開発事業 駅東側に6階建て 広野で復興ビル着工						○			
民友	26	4	社説＝ふたば未来学園高に中学併設 夢実現へ邁進できる環境を						○			
民報	26	1	福島県内27年度本社調べ 55市町村49億円【国の緊急雇用事業】活用 飯館村が最多5億8000万円					○		○		
民報	26	3	駅東側開発事業第1期エリア 広野の復興拠点着工 東口ビル来春完成						○			
民報	26	23	政府 葛尾のフキ 出荷制限指示								○	
民友	27	2	4番目 富岡の試験輸送開始 中間貯蔵へ来月末まで			○	○					
民報	27	2	4市町目 富岡で試験輸送開始 除染廃棄物、中間貯蔵へ			○	○					
民報	27	3	福島をつくる 未来への挑戦(40)＝第4部 六次産業化 飯館 いいたていちゴランド							○		
民報	27	5	二本松の宇部樹脂加工 国内初 福島洋上風力に採用 水中電線維持装置を開発					○				
民友	28	1	ニュースの核心 双葉町再編2年 見えてこない将来像 町は再生模索		○							
民友	28	3	広野町長 自民5次提言に懸念「賠償格差拡大する」						○			○
民報	28	1	避難区域再編2年 双葉 町外拠点整備本格化へ 完成2年後 商業、医療施設誘致に課題	○	○							
民報	28	3	旧緊急時避難準備区域 広野町民に精神的賠償を 町長、国に要請へ						○			○
民報	28	7	東邦銀行 ATM、楢葉町役場にあす新設					○				
民友	29	1	第1原発 がれき保管計画に遅れ 貯蔵庫、年度内新設断念 廃炉作業影響の恐れ		○							
民友	29	2	中間貯蔵 大熊、双葉 説明迅速化など要望「地権者に誠意を」		○	○						
民友	29	25	住宅再建で仮設入居者減少「見守り」態勢再構築へ 相馬 孤独死防止、情報共有が鍵			○	○					
民報	29	1	3・11大震災 断面 中間貯蔵パイロット輸送先行搬入 ルート調整難航 完了時期見通し立たず	○	○	○						
民報	29	2	東京電力の給食センター 1日から食事本格提供 5種類、3000食準備			○						
民報	29	3	環境相への大熊、双葉町長要望 地権者対応や搬入道路新設			○	○					
民友	30	2	国際廃炉研究開発機構、菅沼専務理事に聞く 熔融燃料の把握が課題 楢葉で止水材実証試験計画					○				
民友	30	3	楢葉小中学校再開時期 8月末までに判断					○				

2015年6月

《主な出来事》

- ・ 富岡町の民間指定廃棄物処分場、原発事故に伴う廃棄物処分場として国有化へ(5日)
- ・ 政府が復興指針を改定。居住制限、避難指示解除準備両区域の避難指示を平成29年3月までに解除へ(12日)
- ・ 政府、楡葉町へ全町避難自治体初の帰還指示。町民から困惑・反対の声(17日)

【記事数:116件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楡	広	飯	葛	川
民友	1	2	来県の安倍首相「福島を再生エネ拠点化」国が重点的に支援								○	
民友	1	3	福島大、楡葉に支援拠点 帰還や教育サポート 8月1日開設					○				○
民友	1	3	共生の災害公営住宅完成 桑折、浪江町民きょうから入居	○								
民友	2	2	第1原発 大型休憩所が開所 作業員の労働環境改善			○						
民報	2	2	第一原発 大型休憩所が完成 作業員向け、労働環境改善			○						
民報	2	3	福島県6月補正【一般会計補正予算案】66億2800万円 12市町村 復興拠点整備に15億円	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	2	5	「ロックコープス」のボランティア活動 福島県内で始まる 相馬の仮設住宅 草刈り、清掃							○		
民報	2	19	大熊 原発トラブルに備え 一時帰宅 住民用避難所設置へ			○				○		○
民報	3	3	名古屋で「チャレンジふくしまサミット」福島再生思い発信 講演や意見交換							○		
民友	4	3	福島大が帰還、教育支援 楡葉の拠点開設発表 駐在職員を募集					○				○
民報	4	2	復興事業費地方負担 福島県と国認識に隔たり 月内に最終決定 交渉正念場 399号国道整備などに県負担									○
民報	4	3	福島大の支援センター 8月から楡葉に拠点 サテライト再編、駐在職員募集					○				○
民友	5	1	富岡の処分場国有化 福島県内指定 廃棄物用 環境省が方針転換					○				
民友	5	3	未来にエール 郡内支援組織が発足「双葉の教育 地域全体で」復興人材の育成目指す	○	○	○	○	○	○		○	○
民報	5	1	富岡の処分場国有化 国が方針転換 きょう福島県、町と協議					○				
民報	5	3	双葉郡挙げ学校支援 本部設立 8町村の連携強化	○	○	○	○	○	○		○	○
民友	6	1	指定廃棄物処分場国有化 富岡、楡葉に交付金 環境相、方針を伝達		○		○	○				
民友	6	2	処分場国有化 内堀知事が見解示す「不安取り除くステップ」環境相 新処分場建設せず					○	○			
民友	6	7	福島県内4社の食品豪企業と取引 風評払拭、販路開拓に期待 現地展示会で強い関心									○
民報	6	1	環境相 指定廃棄物処分場 富岡、楡葉に新交付金 福島県と地元へ国有化伝達 知事、町長受け入れ保留					○	○			
民報	6	2	丁寧な説明を要請 富岡の処分場国有化伝達 知事ら一定の評価					○	○			
民友	7	2	川内 名称は「YO-TASHI」公設商業施設が着工					○				○
民友	8	1	原発事故営業賠償 東電修正案 2年分一括払い提示 一律から個別対応へ									○
民報	8	2	楡葉沖合実証研究 高さ180メートル、出力7000キロワット 巨大風車設置へ 小名浜で組み立て					○				
民報	8	2	帰還困難区域 浪江町津島地区 除染計画いまだ立たず 行政区長 各世帯の線量自主計測	○								
民報	8	27	原発賠償 営業一括賠償容認 2年で自立できるか 実情踏まえ対応を 顧客離れ、風評事業者不安		○	○					○	
民友	9	7	郡山の「エナジア」川内村で太陽光発電着工 売電益で復興バス運行									○
民報	9	1	福島県議選11月15日投票 11月5日告示 選挙期間は10日間 避難者に配慮	○		○			○		○	
民報	9	2	川内村で試験輸送開始 除染廃棄物、中間貯蔵へ 5市町村目			○	○					○
民友	10	1	浪江町長選 馬場氏出馬の意思 小黒氏も意欲、選挙戦か	○								
民友	10	2	大熊、双葉IC整備 環境省が半額負担 中間貯蔵の搬入加速化		○	○						
民友	10	3	楡葉町 産業再生、10ヘクタール造りへ 太陽光パネル企業進出					○				
民友	10	23	阪神大震災経験 兵庫県警広見さん「心の支えに」と福島へ									○
民友	10	24	女子W杯 本庁舎で震災後初定例会 楡葉町 ユニホームで応援 広野町もエール「次戦も頑張る」						○	○		
民報	10	1	浪江町長選 馬場氏、3選に意欲 9月議会で表明か	○								
民報	10	2	富岡の指定廃棄物最終処分計画 環境省 月内にも住民説明会 新たな対応示す					○				
民報	10	2	浪江の高瀬、立野下行政区 除染作業が終了 町長報告	○								
民報	10	3	常磐道 大熊・双葉 IC新設 国が半額負担 環境相、中間貯蔵輸送で		○	○						
民報	10	5	福島民報社の全国青少年招待事業 8月4日から3日間 全都道府県から集う 福島県内巡り復興の歩み理解					○				
民報	10	25	2015サッカー女子W杯 カナダ大会 などで白星発進 JFAアカデミー福島1期生躍動					○				
民友	11	3	未来にエール ふたば未来学園高生徒ら 復興の課題探る 演劇制作へ向け 町民と意見交換						○			
民友	11	3	ゴルフ場に作業員宿舎 楡葉町 町内点在を集約へ 17年目標に施設整備 楡葉のコンパクトタウン						○			
民友	11	7	メイコー 広野にメガソーラー 工場内、2.6メガワット級運用開始						○			
民報	11	2	居住制限、避難指示解除準備区域 復興指針改定案 あすにも閣議決定 政府29年3月までに解除									○
民報	11	3	町議会で町が明らかに 楡葉のコンパクトタウン「商業・交流施設ゾーン」公設民営共同店舗整備へ						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	檜	広	飯	葛	川
民報	11	3	ふたば未来学園高「ふるさと創造学」の授業 広野の現状、課題聞く						○			
民友	12	1	ふたば未来学園 スポーツ選抜検討 併設中1学年60人規模 双葉郡の公立中 生徒数減る傾向						○			
民友	12	1	未来にエール 教育復興応援団 ふたば未来学園高 為末さん特別授業 トップ選手の心構えを説く						○			
民友	12	3	子ども福島県外避難1万1492人に 県内への帰還傾向続く	○	○	○	○					
民報	12	3	ふたば未来学園高に併設の中学 1学年60人規模 世界規模のリーダーシップアスリート 育成目標						○			
民報	12	27	「3・11」から4年3カ月 埼工大和太鼓部 感謝の鼓動“全国行脚” 避難者の思い込め		○							
民友	13	1	復興指針改定 避難指示17年3月解除 被災者「自立」鮮明に	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	13	3	福島復興指針を改定「生活再建」優先に 長期避難の弊害解消へ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	13	3	常磐道IC事業費 国交省、正式に事業着手 大熊37億円、双葉46億円		○	○						
民報	13	1	復興指針改定 閣議決定 28年度まで集中支援 居住制限、避難指示解除準備区域	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	13	1	常磐道 大熊30年度、双葉31年度開設 国交相 IC2カ所新設許可		○	○						
民報	13	3	復興指針改定 閣議決定 官民合同チームで支援 避難区域8000事業者の営業再開へ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	14	26	バラで川内を元気に									○
民報	14	1	3・11大震災 断面 震災後初の国勢調査 避難者、作業員どう把握 調査員の確保課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	16	1	仮設、借り上げ無償提供 29年3月まで1年延長 災害公営住宅整備進まず 自主避難者 29年3月で終了	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	16	2	論説＝震災被災地の記憶 次世代に伝えるのは今	○			○					
民友	17	1	進めぬ中間貯蔵の用地確保 交渉支援へ福島県が駐在員 大熊、双葉両町に 契約成立3件		○	○						
民友	17	2	指定廃棄物 処分場国有化で説明会 27、28日に富岡町民向け				○					
民友	17	3	檜葉「ふたば復興診療所」年内完成予定 4診察室整備 内科医常勤 住民帰還へ医療充実					○				○
民報	17	2	中間貯蔵施設建設 大熊、双葉町に福島県職員 常駐し地権者、国と調整 来月にも新たに1人ずつ	○	○							
民友	18	1	政府方針 檜葉町避難「お盆前解除」住民意見踏まえ判断					○				○
民友	18	3	檜葉・お盆前避難指示解除 唐突な提示 町民「困惑」現状では「尚早」/「地域で線量違う」				○	○				○
民報	18	1	政府 檜葉 盆前の帰還提示 全町避難自治体で初					○				
民報	18	2	檜葉町避難の盆前解除「生活環境整っていない」議会、区長会で反対相次ぐ					○				○
民報	18	23	18歳選挙権 福島県教委 小中高の連携強化 一票の重み知って 県内高校生「復興考える人」に【浪江高教員・生徒の声】	○								
民友	19	22	川内 旧避難区域の河原さん 試験栽培リンドウ初出荷									○
民友	19	23	5年間の復興事業費 国費の対象拡大歓迎 被災自治体訴え実る									○
民友	20	3	避難指示解除提示 檜葉町民、国説明に反発「環境整っていない」					○				
民友	20	4	6月福島県会代表質問 医療勤務環境を改善 センター設立 相談体制強化図る			○						
民友	20	7	原田東北電次期社長に聞く 福島県復興を下支え					○				
民報	20	1	CLT生産拠点整備 国内最大級 福島県、来年度にも着工 大熊が有力 東京五輪活用目指す			○						
民報	20	1	福島民報社 復興大使15人決まる 富岡・井出君 相馬・山田さん英国へ				○					
民報	20	2	東北電 原田次期社長に聞く 復興へ電気料金維持 福島は社業の原点									○
民報	20	2	中間貯蔵パイロット輸送開始 浪江23日、葛尾は26日	○	○			○				
民友	21	1	Jヴィレッジ来月本格除染 主要施設など 年度内完了目指す 再開へ予算確保課題					○				
民友	21	2	復興相、整備予定地を視察 復興拠点の重要性強調							○		
民友	21	4	社説＝試験操業3年 漁業再生へ信頼積み上げを			○						
民報	21	1	原発賠償 避難区域外 立木賠償支払い完了0.1% 手続き煩雑、請求進まず							○		
民報	21	3	川俣など訪問 復興相が支援検討 医療と福祉の人材確保							○		
民友	22	1	ニュースの核心 イノシシ増殖5万頭 避難区域で深刻 生息域拡大 帰還、営農再開に影				○					
民友	22	3	識者は語る 子どもたちは今 ふくしまの現場 菊池医院院長 菊池信太郎氏 大熊町教育長 武内敏英氏			○						
民報	22	1	福島 両陛下、来月16日ご来県 モモ農家や避難者を激励							○		○
民報	22	29	双葉映画 第2部上映 福島 来月4日、意見交換も		○							
民報	22	30	飯館村民激励、雪の贈り物 北海道から届く 飯野 子どもたち歓声							○		
民友	23	3	富岡 旧家や土蔵保護調査へ 所在地や現状把握				○					
民報	23	2	浮体式洋上風力発電 9月中旬から試運転 実証運転12月から					○				
民友	24	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染(3)＝第3章「電源復旧(上)」経験ない全面マスク				○					
民友	24	2	檜葉町役場10月帰還へ 避難解除に向け体制整備 いわき市内に新たな住民窓口					○				
民報	24	3	JT復興支援NPO応援助成団体「いいたてまでの会」など選出							○		
民友	25	4	社説＝福島県産材の活用 産学官協働で林業振興図れ			○						
民報	25	2	論説＝中間貯蔵用地交渉 さらなる福島県職員派遣を		○	○						
民報	25	3	いわき明星大内 年度末までに 檜葉町いわき出張所使用の学生会館返還					○				
民友	26	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染(5)＝第3章「電源復旧(上)」工務班 人数絞り免震棟に到着			○						
民友	26	2	東北電社長 原発再稼働に意欲 事前了解などの議案否決	○								

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	26	3	学校再開へ楢葉町 来月に意向調査 検討委 結果踏まえ結論協議					○				
民報	26	1	環境省方針 小学校の除染廃棄物 夏休み期間中に搬出 郡山と棚倉、浅川 5校で計3000立方メートル					○				
民報	26	2	富岡の指定廃棄物最終処分計画 郡山で環境省説明 地域振興「具体策を」区長、施設国有化は評価				○					
民報	26	2	東北電力株主総会 株主提案4議案否決「地域の理解得て原発活用」	○								
民報	26	3	復興交付金 第12回配分 福島県と9市町に29億4000万円 新地と富岡 水産業施設整備				○					
民報	26	5	風とロックCARAVAN福島 あす楢葉で公演					○				
民友	27	3	福島県 震災派遣職員42人不足 充足率前年度比2.6ポイント減									○
民報	27	2	除染廃棄物 中間貯蔵で環境省 葛尾で試験輸送開始		○						○	
民友	28	2	飯館にメガソーラー 23メガワット 8月にも計画始動							○		
民友	28	3	街道物語 陸前浜街道(4)＝全6回 親しまれる子育て地蔵【原発事故による立入禁止区域にも触れている】				○	○	○			
民報	28	5	楢葉で「風とロック」復興へ思い一つ 筋内さん、町長ら対談 音楽ライブも					○				
民報	29	2	論説＝災害公営住宅整備 切望の声忘れるな			○						
民報	29	23	環境省 富岡の指定廃棄物最終処分計画 説明会全日程を終了 楢葉でも住民説明会開催へ				○	○				
民報	29	23	北海道美瑛町で世界大会 美しい村、自立を議論 福島県から飯館など4町村参加							○		
民友	30	3	楢葉の長期宿泊延長 政府、近く解除時期表明か					○				
民報	30	1	大熊の復興拠点 30年3月一部完成 年内に住宅整備開始 帰還は国目標とずれ	○		○	○					○
民報	30	3	政府、避難指示解除まで 楢葉町の準備宿泊延長					○				

2015年7月

《主な出来事》

- ・ 楢葉町、避難指示解除準備区域を9月5日解除へ(6日)
- ・ 両陛下ご来県。災害公営住宅などを視察(16日)
- ・ 4市町村で夏季特例宿泊スタート(18日)

【記事数:102件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	1	原発避難で自殺認定 福島地裁2例目判決 東電に2700万円賠償命令	○						○		
民友	1	3	未来にエール ふたば未来学園高「社会起業部」の生徒7人 町の土地利用考える ワークショップ参加						○			
民報	1	3	原発20キロ圏内シャープ初整備 富岡メガソーラー発電開始 13日完成セレモニー				○					
民報	1	27	震災関連死 福島県1914人 3月末時点、全体の6割	○	○		○					
民友	2	1	大学院に「災害・被ばく医療」福島医大、長崎大が新課程									○
民報	2	1	政府原子力災対本部 避難解除、盆前で最終調整 楢葉町へ週明けにも通知					○				
民報	2	3	富岡町3・11を語る会 語り部発表施設12日開設「人の駅 桜風舎」交流の拠点にも				○					
民友	3	24	浪江の原発裁判外手続き 和解前の死亡343人	○								
民友	3	25	なでしこ決勝進出の原動力 ゆかりの2選手躍動 元所属GM活躍喜ぶ 飯島選手けが乗り越え、フル出場						○			
民報	3	2	お盆前の避難指示解除方針 楢葉町議会 先送り要望 経産副大臣は理解求める					○				
民友	4	1	避難12市町村将来像 復興拠点、広域連携 居住機能を集約	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	4	2	福島医大と長崎大 災害・被ばく医療人材育成 共同大学院開設を正式発表									○
民友	4	2	市町村当初予算6年ぶり減 15年度総額1兆3263億円 震災関連事業が減少		○	○		○				
民友	4	3	楢葉の避難指示で政府「来月10日解除」提示へ 近く町側に通達 反対の声多く不透明					○				
民報	4	1	楢葉の避難解除来月10日 政府、町へ近く提示					○				○
民報	4	2	論説＝4期目の復興大使 福島に未来に蓄えを				○		○			○
民報	4	2	焼却灰満杯の恐れ 広野の減容化施設 処理計画に影響も						○			
民報	4	25	放射性物質検査 福島県内屋外プール118カ所 管理目標値以下						○			
民友	5	1	環境省と菊池製作所 測定短縮へ実証実験 ドローンで線量調査 国の除染指針適用が課題に							○		
民友	5	21	北塩原でみずウオーク 楢葉から避難の渡部さん 歩き仲間が心の支え 10キロコースルポ						○			
民報	5	1	復興大使15人に委嘱状 ふくしまの心つなぐ						○			
民報	5	24	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(25)＝第4部 精神的損害 与党「憎まれ役」に						○			○
民報	5	25	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ 復興大使結団式 笑顔あふれる福島に						○	○		
民友	6	2	福島で学会シンポ ふたば未来学園高 復興へ教育政策語る 丹野校長が現状紹介				○					
民報	6	26	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(26)＝第4部 精神的損害 楢葉「延長」を評価					○				
民友	7	1	避難指示解除 楢葉「9月5日」「お盆前」から1カ月先送り 政府、追加3対策					○	○			○

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	7	3	楢葉9月解除方針 住民帰還へ課題山積 期間問わずか、取り組み急務 住民賛否「環境不十分」「仕事増える」				○	○				
民友	7	3	知事会見 Jヴィレッジ再生重要 12市町村将来像で ふたば未来高と合わせ						○			
民友	7	4	社説＝避難地域の将来像 国の責務で着実に形に表せ						○			
民報	7	1	楢葉の避難解除 政府「来月10日」断念 町は了承 9月5日に先送り 通院バス運行など 利便性向上図る					○	○			
民報	7	1	天皇、皇后両陛下 16日福島県ご来県 宮内庁が正式発表	○						○		○
民報	7	3	楢葉の9月避難解除 町議会、政府対応を評価 時期尚早との町民も					○				
民報	7	22	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(27)＝第4部 精神的損害 広野対象外に疑問						○			
民友	8	3	避難指示解除 楢葉町長職員に訓示 町民の事情考慮し態勢「帰還へ相談が多様化」					○				
民友	8	3	宮本富岡町長 町の将来像示す 2次救急広域連携欠かせず 土地利用方針に柔軟対応				○					
民友	8	4	社説＝楢葉の避難解除 帰還へ暮らしの基盤整えよ						○			
民報	8	2	論説＝避難解除後の楢葉 笑顔あふれる町を再び						○			
民友	9	3	ふたば未来併設中 社会参加の教科導入へ 新聞活用など想定						○			
民報	9	22	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(29)＝第4部 精神的損害 都路、地域差が拡大				○					
民友	10	2	楢葉 会津方部へ計11ルート 原子力避難計画を修正					○				
民友	10	22	東電 原発自殺訴訟控訴せず 遺族に謝罪、賠償確定へ	○								
民報	10	3	川内村、長崎大、原子力安全研究協会 共同復興支援センター開所 村拠点に放射性物質測定									○
民報	10	27	福島をつくる 浪江の新名物全国発信 旭屋 鈴木酒造店 マツバヤ みそラーメン合作	○								
民友	11	2	特集 東日本大震災4年4ヵ月 住宅修繕 期待と不安 着工3ヵ月遅れ「やっ」と続く業者不足					○				○
民友	11	3	広野町民＋首都圏住民 活性化プロジェクト始動 町復興へタッグ			○			○			
民友	11	9	メガソーラー 広野で地鎮祭						○			
民報	11	2	南相馬、川俣、葛尾、飯館 18日から夏季特例宿泊 川内は来月8日から							○	○	○
民報	12	2	3・11大震災 断面 避難12市町村 将来像提言案 実効性、財源の担保を 首長らから指摘相次ぐ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	12	3	楢葉「なにかし隊」初会合 再興へ意見交換					○				
民友	14	2	Jヴィレッジ本格除染					○	○			
民友	14	9	富岡 メガソーラー稼働 利益一部、復興協力金に				○					
民友	14	28	東電 遺族に謝罪 浪江の原発自殺訴訟	○								
民報	14	3	NEVER GIVE UP！ 福島は負けない明日へ 福島復興大使 きょうロンドンに出発				○					
民報	14	31	津波被災 富岡の子安観音堂 心の支え存続ピンチ 長期避難管理できず 文化財未指定 町、財政支援は困難			○	○					
民友	15	3	陸上の楽しさ児童に 大熊出身・元プロ選手の秋本さん【ふたばの教育復興サポーター】 広野、川内小学校で指導				○		○			
民報	15	3	NEVER GIVE UP！ 福島は負けない明日へ 福島復興大使 ロンドンへ出発				○					
民友	16	1	ふたば未来高「復興」演劇が完成						○			
民報	16	1	両陛下下、きょう福島県ご来県							○		○
民報	16	2	避難区域再編3年 飯館 復興の動き活発化 帰還見据え住宅補修							○		
民報	16	5	ふたば未来学園高 全校生徒が結集 元プロ陸上選手・秋本さん、小泉政務官も応援 演劇発表し交流			○			○			
民報	16	28	NEVER GIVE UP！ 福島は負けない明日へ 復興大使 英国の学生と交流				○					
民友	17	1	両陛下下モモ農家いたわる 震災後4回目の福島来県 原発事故被災者も激励	○						○		
民友	17	4	田村市長・川内村長表明 焼却施設建設を容認									○
民友	17	9	郡山で経済同友会セミナー 地方創生で意見交換「考えの転換」強調【被災地再生を地域創生のモデルとする「東北アピール」採択】				○					
民友	17	9	大熊初のメガソーラー 21日着工、12月稼働へ				○					
民友	17	29	両陛下下福島来県 温かい言葉次々と 2年前は中止 モモ畑を視察「おいしそうなモモですね」		○		○					
民報	17	1	NEVER GIVE UP！ 福島は負けない明日へ ロンドンで「福島庭園」3周年式典				○		○			○
民報	17	30	福島 両陛下下ご来県 励ましの胸熱く 被災地への思いに感激 災害公営住宅などご訪問		○					○		
民報	17	31	NEVER GIVE UP！ 福島は負けない明日へ 福島庭園3周年 ロンドンで復興誓う				○		○			○
民友	18	2	避難区域再編3年 飯館の復興農業が鍵 再開へ村の模索続く 除染未了、農家めど立たず							○		
民友	18	4	社説＝両陛下下の来県 復興へ立ち向かう力の糧に	○	○					○		
民友	18	7	経済同友会アピール採択 広域連携で被災地再生 市町村合併、必要性指摘			○		○				
民報	18	2	除染廃棄物 中間貯蔵への試験輸送 楢葉町内から搬出開始		○			○				
民報	18	3	郡山 経済同友会夏季セミナー 被災地再生 地域創生に 東北アピール採択			○		○				
民友	19	24	4市町村特例宿泊スタート 心待ちにした夏の古里							○	○	○
民報	19	3	南相馬、川俣、葛尾、飯館4市町村 特例宿泊始まる 最長、45日間滞在可能								○	○
民報	19	27	2015再起 南相馬・鹿島区 漁師の柴田昌幸さん 真野川漁港復活の船出 津波被害乗り越え	○								
民報	20	2	富岡の指定廃棄物最終処分計画 いわき 国が楢葉町民向け説明会 反対意見相次ぐ					○				
民報	20	5	ルワンダ留学生と交流 二本松の仮設住宅 浪江町民ら笑顔	○								
民友	21	2	福島県弁護士ら被災地調査し出版 復興政策の影響「不平等」と指摘「賠償の地域間格差が主因」						○			○

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	21	2	環境省 指定廃棄物処分場計画 富岡、楢葉町民への住民説明会が終了				○	○				
民報	21	3	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ ふくしま復興大使 ロンドンで充実の1週間				○		○			
民報	21	27	第一原発敷地内で火災 クレーン車エンジン焼く			○						
民友	22	26	前年同期比 交通事故は増加 避難区域などの刑法犯減							○		
民報	22	27	国有林線量前年比2割減									○
民報	23	2	高齢者らの民間住宅入居保証制度 避難自治体歓迎の声			○		○				
民報	23	5	飯館の望遠鏡ハワイ移設 東北大学院 惑星プラズマ・大気研究センター 木星の雲の流れ観測【原発事故のため移設】							○		
民報	23	30	産直カフェ来月閉館 飯館などの女性農業者支援 福島 県助成終了で継続困難に	○						○	○	
民報	24	3	ハイスクール世界サミット いわきなどで初開催 来月6～8日 国内外の高校生集う 福島県の現状発信				○		○			
民友	25	3	「ならば球場」に愛称 Y&Mならばスタジアム いわきの星さん命名 古里復興に貢献					○				
民友	26	4	全町避難の富岡 復興誓い町制60周年 仮設自治会長ら感謝状		○		○					
民報	26	3	いわきで合併60周年記念式典 富岡町再興へ一丸 町民歌斉唱 町勢進展に力 功労者を表彰				○					
民友	27	3	斎藤工さんが力強いエール ふたば未来学園高で移動映画館「いろいろな世界を疑似体験して」						○			
民友	28	1	海岸復旧本格化 楢葉で新防潮堤起工					○				
民報	28	2	環境省 廃棄物搬出始まる 中間貯蔵へ試験輸送 郡山の学校で初		○							
民友	29	1	1号機 建屋カバー解体本格化 来年度中終了へ		○							
民友	30	1	大規模災害備え 福島県 来月、支援へ説明会 業務計画策定 4市町村				○					
民友	30	25	飯館 102歳男性自殺で提訴 遺族「東電事故が原因」							○		
民報	30	3	2015今を生きる 富岡出身看護師 小島佳奈子さん 坂下の観光大使就任 魅力発信 会津に恩返し				○					
民友	31	3	広野「イオン」着工 12月営業を目指す 町の生活環境改善へ						○			
民報	31	2	広野 減容化施設の焼却灰 来月から保管施設整備						○			
民報	31	7	8月3日に万象ホールディングスと富岡町の基本協定調印式				○					

2015年8月

《主な出来事》

- ・ 川内原発1号機が再稼働。県民からも懸念の声(11日)
- ・ ふたば未来学園高と双葉郡内の9つの中学校の生徒による初の交流会が開催。クリエイティブディレクター 箭内道彦さん(郡山市出身)による特別授業が行われる(20日)
- ・ JR常磐線前線復旧に向け、夜ノ森(富岡町)－双葉(双葉町)駅間の試験除染始まる(20日)

【記事数:98件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	1	元東京電力会長ら強制起訴へ 勝俣氏ら旧経営陣3人 検察審査会が再議決 原発事故「注意義務負う」			○						
民友	1	3	避難指示10市町村 復興庁が工程表改定 田村市復旧おおむね完了								○	
民友	1	3	検討委 楢葉の学校 本校舎再開「17年4月」答申へ					○				
民友	1	33	元東電会長ら強制起訴へ 住民「真実知りたい」原因究明「最初の一步」	○		○		○	○		○	
民友	4	2	「道の駅ひろの」基本構想案 20年春の完成目標 防災や情報発信機能						○			
民友	4	7	東京 万象ホールディングスと協定 工場進出で富岡町				○					
民友	4	20	「原発事故で業務不能に」医療法人が東京電力と国提訴	○								
民報	4	3	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ ふたば未来学園高生徒が英語劇				○					
民友	5	27	震災・原発事故 5年目の起点 楢葉町 避難解除まで1カ月 住民帰還 思い交錯「生活取り戻している」					○				
民報	5	1	復興の歩み全国に「ふくしま未来応援団」来県 郡山で歓迎式				○					
民報	6	1	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ ふくしま未来応援団 福島は今、胸に刻む				○					
民報	6	1	浪江町長選 現新3人の争いか 新人渡辺氏出馬へ	○								
民報	6	30	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ ふくしま未来応援団 前を向く福島県民に感動				○					
民報	7	2	福島県議会の全員協議会2日目 Jヴィレッジ全天候練習場 補助金活用検討 国が整備支援							○		
民報	7	28	NEVER GIVE UP! ふくしまは負けない明日へ ふくしま未来応援団 福島応援の思い形に				○					
民友	8	1	政府 楢葉 来月5日解除決定 全域避難の町村で初					○				○
民報	8	2	楢葉の避難指示 来月5日に解除 政府発表 全町対象で初					○				○
民報	9	1	楢葉で実証栽培、収穫 震災後初の出荷へ 希望のトルコギキョウ					○				
民報	9	3	広野サマーフェス 復興へ誓い新た 5年ぶりにぎわい戻る						○			
民友	10	1	平和祈念式典 南相馬の小中学生も祈り 5年連続福島県に言及									○
民報	10	31	ふたば未来学園高 中学生と20日、初交流会 双葉復興へ担い手結集 古里思い意見交換						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	11	2	特集 東日本大震災4年5カ月 応援職員 復興の鍵 人手不足“特効薬”なし	○		○						
民報	11	1	復興臨時支局 楢葉 未来照らす夜明けの光 天神岬公園改修進む					○				
民報	11	1	広野 楢葉 川内 臨時支局を開設 本社記者、13日まで駐在									○
民報	11	2	論説＝双葉郡の盆行事 つなごう古里への思い	○			○		○			○
民報	11	3	避難区域の福島県管理道路 基幹路線、来年度復旧 最大2年前倒し、帰還に弾み	○					○			
民報	11	28	現地ルポ 双葉署員がパトロール 安全・安心へ奔走 楢葉の防犯、交通事故防止に尽力						○			
民報	11	29	復興臨時支局 川内村 秋元初夫さん 豊かな自然に活路 散策コース設定 ガイドとして観光客案内									○
民友	12	2	福島第1原発事故 葛尾31日から長期宿泊 3カ月間 政府が説明会、村了承								○	
民友	12	3	川内1号機再稼働 責任問題あいまい「地元」の範囲不明確 リスクを負うのは誰か	○						○		
民友	12	25	震災月命日で福島県警 不明者の手掛かり捜す	○								
民友	12	27	川内1号機再稼働「被災者の姿教訓に」福島県民の思い複雑 震災月命日「配慮ない」		○	○	○					
民報	12	1	復興臨時支局 川内村 高塚高原 変わらぬ緑									○
民報	12	2	机上の避難計画 監視装置不十分 訓練せず実効性に疑問							○		
民報	12	3	川内原発再稼働 責任不明確なまま 見切り発車の原発回帰	○	○	○	○	○		○		
民報	12	30	川内原発再稼働 県民「福島の反省踏まえて」安全確保に万全を	○	○	○	○	○		○		
民報	12	31	復興臨時支局 楢葉町 木戸川で今秋 5年ぶり サケ釣り待望の復活へ「にぎわい取り戻す」	○				○				
民友	13	3	大熊・墓参り同行ルポ 5年目の「盆」 中間貯蔵墓前に報告 相馬・流灯会 鎮魂の灯笼300個海へ				○					
民報	13	1	復興臨時支局 広野町 浅見川 豊かな緑と共生 命育み潤す清流						○			
民報	13	31	復興臨時支局 広野町 福島高専5年 青木健一郎さん 古里美しさを証明へ NPOと連携、水質調査						○			
民報	13	31	スポット 楢葉町 常磐道ならばPA下り線 サッカー選手の足形並ぶ					○				○
民友	14	3	きょう発足 林業復興へ直交板活用 内堀知事ら14首長が連合				○					
民友	14	3	高台に移転 浪江の霊園 盆の入り先祖供養	○								
民報	14	3	復興臨時支局 楢葉町 木戸ダム遊歩道 再整備に着手へ 水面に映る復興の未来					○				
民報	14	3	川内村の夜空 満天の星々 村民出迎え									○
民友	15	29	首相戦後70年談話 同じ過ち繰り返さない「けじめ」福島県民歓迎「有言実行」注文の声も				○					
民友	16	4	社説＝新たに長期宿泊 着実に避難解除につなげよ					○			○	○
民友	16	26	福島県内でお盆成人式 古里で旧友と再会「川内村に貢献したい」代表の三瓶さん決意									○
民友	16	27	4年半ぶり楢葉でプレー スポ少の仲間 変わらぬ友情 避難先で続けた野球「みんなとつながる」					○				
民報	16	5	古里復興の力に 川内でお盆成人式									○
民友	18	2	高齢者の不安解消 楢葉町、避難指示解除に向け 緊急連絡用ブザー配布へ					○	○			○
民報	18	2	論説＝認知症の患者 地域で守る社会実現を						○			
民報	18	3	歴史や文化保全活動で 富岡町、福島大と27日協定				○					
民友	19	1	富岡－浪江間 常磐線あすから試験除染 来春にも復旧時期判明				○					
民友	19	23	避難区域、空き家に巣 スズメバチ被害多発 一時帰宅、除染作業中に 攻撃性が増す時期	○								
民報	19	1	JR常磐線・夜ノ森－双葉駅間 あすから、初の高線量地区 全線再開へ試験除染				○					
民報	20	2	勿来・広野火災 東京電力 最新石炭発電連携で合意 三菱グループ3社、常磐火力と						○			
民友	21	1	未来にエール ふたば未来学園高と郡内中学校 初の交流会、絆強める						○			
民友	21	24	飯館・山津見神社 オオカミ天井完成へ 100枚の復元作業進む 東京芸大大学院生が修復							○		
民友	21	25	双葉郡の児童、生徒交流 心一つ古里の仲間 12グループで歌詞作り挑戦				○	○	○			
民報	21	1	日本原子力研究開発機構 国際研究棟富岡軸に 設置検討「町再生の起爆剤」期待 福島県、近く国と協議				○	○	○	○		
民報	21	1	来年度予算 環境省方針 中間貯蔵に別途1300億円 除染経費4500億円		○				○			
民報	21	1	双葉郡の中高一 初の交流会 復興へ生まれる絆				○	○	○			
民報	21	2	論説＝準備宿泊 解除へ課題に向き合え									○
民報	21	2	常磐線・夜ノ森－双葉駅間 JR、試験除染開始 高線量地区で初				○					
民報	21	3	箭内さんと歌作る 双葉郡の中高一交流会特別授業 遠慮せず前向きに				○	○	○			
民報	21	5	火災で焼失 飯館・山津見神社拜殿の天井絵 東京芸術大 復元進む よみがえるオオカミ							○		
民報	22	2	論説＝避難者の自殺 悩み解消にさらに力を		○							
民報	22	3	指定廃棄物 最終処分計画 福島県、富岡・楢葉町と協議へ 交付金など意見集約				○	○				
民友	23	2	福島ワークショップ 食料問題 科学的に検証 10人が研究成果、現状発表【原発事故後の食料生産事例として飯館村のイチゴ】								○	
民報	23	3	富岡福祉まつりin郡山「麓山の火祭り」模す 松明担ぎ練り歩く				○					
民友	24	25	トライアスロンinあいづ 心の糧「復興に寄与」南相馬・飯塚さん夫妻 全国に大会PR	○								
民報	24	2	富岡の指定廃棄物最終処分計画 知事ら、今週にも国に 安全策など具体化要望へ				○	○				
民報	24	3	双葉地区教育長会 避難先で学習支援強化 楢葉、双葉、大熊町の拠点施設 郡内小中生利用可能に		○	○	○					
民友	25	2	顔 ならば球場の愛称名付け親 星喜男さん						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	25	2	相双復興官民チーム きょうから個別訪問 4グループで取り組み 営農再開も重点に					○			○	
民報	25	2	JAEAの廃炉国際共同研究棟 富岡を候補地に選定 福島県、近く国に整備要望				○					
民友	26	2	知事「安全確保徹底を」指定廃棄物処分環境相に				○	○				
民友	26	4	概算要求 廃炉研究棟整備57億円「ふたば未来」関連26億円 新たな立地補助要求				○		○			
民友	26	9	楢葉町とルートイングループ締結 ホテル進出で覚書					○				
民報	26	2	富岡の指定廃棄物最終処分計画 知事、安全策提示要望				○	○				
民報	26	3	レイス、広野に工場新設 28年度操業 子ども用コスメ製造 震災後初の進出 数十人を地元雇用						○			
民報	26	9	NTT東日本一東北 避難地域の通信充実へ1日、復興推進室発足					○				
民報	26	28	福島県警 業務再開し安全確保 31日、福島署山木屋駐在所 5日、双葉署楢葉駐在所					○				
民友	27	7	子ども用化粧品 広野に製造工場 東京・「レイス」が国内拠点 17年操業開始へ						○			
民報	27	2	南相馬のオフサイトセンター 工期遅れ、開所未定に					○				
民友	28	2	富岡町と福島大が協定 歴史的な資料 後世に継承を				○					
民友	28	23	九つの祭りで元気発信 霞ヶ城公園 5日福島絆祭 浪江、二本松JC連携	○	○							
民友	29	2	帰還困難区域初の本格除染 大熊で開始 民家、学校など			○						
民友	29	4	双葉広域圏 休校の准看護学院 相馬地方で学校再開へ						○			
民報	29	2	文科省発表 JAEA国際共同研究棟 富岡への整備決まる 富岡町長会見 発展の原動力に				○					
民報	29	29	3・11大震災 断面 生活環境整備急げ 準備宿泊31日開始 川俣 南相馬 葛尾									○
民報	29	29	浜通りから避難のお年寄り“孫”と食事 ほっこり 西郷 幼稚園児とカレー作り	○	○		○					
民友	30	4	社説＝モミの木形態変化 原因徹底究明し逐一説明を【帰還困難区域のモミの木に主幹欠損】	○		○						
民報	30	3	東日本大震災から4年6か月 5度目の夏が去る	○								
民友	31	2	避難指示解除踏まえ 楢葉 木戸川サケ漁再開 10月中旬、震災後初 2日間限定「一本釣り」						○			
民報	31	2	中間貯蔵施設建設 受け入れ表明1年 めど立たぬ本格稼働 用地交渉が難航			○						
民報	31	3	木戸川サケ漁今秋復活 5年ぶり木戸川漁協5万匹水揚げ計画 釣り再開へ調査も						○			

2015年9月

《主な出来事》

- ・ 政府が原発事故に伴う楢葉町の避難指示解除準備区域を解除。全域避難の自治体としては初めての解除で、対象人口は過去最多の約7400人(5日)
- ・ 平成27年9月関東・東北豪雨により飯館村の新田川が氾濫し、保管されていた除染袋が河川に流出(11日)
- ・ 原発事故に伴う避難により、休業中の酪農家を支援するための「復興牧場」が福島市土船に完成(25日)

【記事数:126件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	1	南相馬、川俣・山木屋、葛尾 帰還に向け「準備宿泊」					○			○	○
民友	1	2	特集 東日本大震災4年6か月 古里帰還 阻む不安 17年解除政府方針 実効性ある施策 鍵					○	○		○	○
民友	1	31	3市町村準備宿泊スタート 帰還へ一歩、喜びと不安 自宅が一番／不便さ残る					○			○	○
民報	1	1	南相馬、川俣、葛尾 準備宿泊始まる 待ちわびたわが家					○			○	○
民報	1	3	準備宿泊開始 表情緩め古里でだんらん 医療や買い物課題残る								○	
民友	2	2	特集 東日本大震災4年6か月 住環境・需要が変化 仮設 原則終了へ集約進む			○				○		
民報	2	1	皇太子ご夫妻 来月上旬、福島来県 いわきや広野視察で調整						○			
民友	3	2	特集 東日本大震災4年6か月 賠償と風評 事業再開課題多く「地元で」全体の2割				○	○				
民友	3	22	皇太子ご夫妻福島来県へ 来月8日か9日で調整						○			
民報	3	1	再生への一歩(上)＝楢葉5日に避難指示解除 双葉郡復興へ試金石 生活拠点整備急ぐ					○				○
民報	3	3	11月15日投票 8市町村 福島県議選と同時に 大熊町はトリプル選			○			○			
民報	3	3	富岡町 来月から環境省職員常駐 一時帰宅者の相談に対応				○					
民友	4	1	楢葉あす避難指示解除 対象住民は最多					○				○
民友	4	2	特集 東日本大震災4年6か月 岐路に立つ「学び」ふたば未来学園 体験、交流 充実の毎日	○	○	○	○		○			○
民友	4	9	東邦銀 楢葉支店 来春再開へ					○				
民報	4	1	楢葉あす避難指示解除					○				○
民報	4	2	論説＝ふるさと住民票 絆の維持に役立てよう							○		
民報	4	3	再生への一歩(中)＝楢葉町「古里で農作物作りたい」風評に立ち向かう 産業復興へホテルや工場					○				
民友	5	1	全町規模で初 楢葉の避難指示解除 生活環境整備が課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	5	1	夜空に「希望の光」楢葉町民らイベント					○				

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	5	2	特集 東日本大震災4年6カ月 復興へ財源確保は 立地補助金 継続の形先見えぬまま		○		○		○			
民友	5	3	楢葉の避難指示解除 松本町長インタビュー 新たなスタートライン 町民1人1人の力が必要					○	○			
民友	5	32	浪江の詩人・みうらさん新著 避難の悲哀詩集に	○								
民友	5	34	楢葉 震災犠牲者を追悼 キャンドル点灯					○				
民報	5	1	全町避難自治体初 楢葉の避難指示解除 双葉郡復興先駆けに				○	○				○
民報	5	3	除染廃棄物 美里8日から試験輸送 会津初、中間貯蔵施設へ			○						
民友	6	1	避難解除で式典 楢葉 動きだす日常 町長「復興の道しるべに」					○				
民友	6	2	特集 東日本大震災4年6カ月 中間貯蔵 本格輸送へ課題探る 中間貯蔵の「保管場」へ搬入		○	○		○				
民友	6	4	社説＝楢葉の避難解除 本格的復興へ着実に歩みを					○				○
民友	6	4	福島絆祭 福島県内九つの祭り集結 二本松支援に感謝、元気発信		○							
民友	6	24	福島原発・災害連鎖 3・11から 楢葉 避難解除(中)＝農業再生 田んぼの一部仮置き場				○	○				
民報	6	1	3・11大震災 断面 災害公営住宅 全用地確保見通し 応募低調地区は見直し検討						○			
民報	6	1	避難指示解除 楢葉で復興式典 きぼうの木未来に育て					○				
民報	6	27	楢葉の避難指示解除 マチの魅力この手で 町ユズ研究会のメンバー 早期の出荷再開誓う					○				
民友	7	2	特集 東日本大震災4年6カ月 健康維持へ重点 甲状腺検査「がんとの関係は」					○				○
民友	7	22	福島原発・災害連鎖 3・11から 楢葉避難解除(下)＝子どもの帰還 学校再開課題浮き彫り					○				
民友	7	22	被災者支援員1600人 定期的に仮設訪問、交流 本年度、福島県は723人配置	○								
民報	7	2	被災者支援員 福島県723人 東北3県に1647人 福祉、介護活躍期待	○								
民報	7	2	広野出身 福島大2年・木村元哉さん 被災地ツアーで案内役、各地で講演… 福島の「今」伝えたい						○			
民友	8	3	17年度中に完了 復興住宅全戸整備めど 福島県、残り369戸分用地取得へ 再募集の倍率0.62倍						○			
民友	8	3	双葉郡医療、来秋に中間案 市町村、福島県など検討会発足						○			
民友	8	4	楢葉の避難指示解除で知事「町復興のスタート」					○				
民報	8	2	被災自治体派遣 職員の出発長期化 人手不足、半数が1年超 負担軽減が急務 激務で疲弊、自殺のケースも						○			
民報	8	3	内堀知事 楢葉の復興「入り口」「国、町とともに環境整備」					○				
民友	9	2	特集 東日本大震災4年6カ月 プロジェクト実行委 遺産保全が本格化 教訓次世代に託す		○		○					
民友	9	23	自民総裁選無投票 福島県民、経済では評価二分 復興加速望む避難住民 政策論争なく「残念」		○							
民報	9	2	論説＝安倍総裁再選 福島復興により力を					○				
民報	9	4	川内村長 給与3カ月半減へ 除染廃棄物保管3年 約束守れず									○
民報	9	27	浪江の請戸川土地改良区 土壌の放射線量測定	○								
民友	10	3	特集 東日本大震災4年6カ月 川魚 続く出荷制限 基準値超 徐々に減少					○				
民報	10	2	論説＝中間貯蔵施設整備 政府が前面に立て					○				○
民報	10	3	帰還小生の学校開設へ 浪江東中改修、町が方針	○								
民友	11	3	特集東日本大震災4年6カ月 森林除染道見えぬ 棚上げ募る危機感					○		○		
民友	11	26	きょう震災4年6カ月 土地区画整理進む					○				
民報	11	1	震災から4年半 福島県民10万人超避難続く					○				
民報	11	2	論説＝原発事故関連死 高齢者との連携を図れ					○	○			
民友	12	3	富岡町 来秋にも商業施設再開 17年4月バス運行				○					
民友	12	7	東邦銀行 移動ATM車、今月終了【警戒区域に常設ATMの設置が進んだことによる】						○			○
民友	12	30	新田川氾濫 飯館の除染袋 水に浮いて流出か「外部に影響なし」							○		
民報	12	3	災害公営住宅50戸 富岡町 拠点整備計画を策定 29年4月までに整備				○					
民報	12	23	屋外プール96カ所 管理目標値以下						○			○
民報	12	27	飯館 除染袋川に流出					○		○		
民友	13	1	除染袋流出240袋に 2袋破損し中身漏れる							○		
民友	13	26	楢葉天神竜舞町民に勇気 避難区域の3団体躍動「楢葉に帰ろう」演舞に力					○				
民報	13	2	福島県沿岸部や避難指示区域 太陽光発電、農地250ヘクタール転用 規制緩和が追い風							○		
民報	13	27	飯館 除染袋流出240袋 原町で2袋発見、中は空							○		
民友	15	26	富岡 福島県警、来月上旬にも 双葉署本庁舎で再開へ				○	○				
民友	16	27	福島土船 25日完成 復興牧場いよいよ稼働「酪農業先進地域に」							○		
民報	16	3	除染廃棄物 仮置き場830カ所調査 福島県、保管マニュアル改訂へ							○		
民報	16	3	富岡の双葉署本庁舎業務 来月1日一部再開				○	○				
民報	16	22	避難転院死亡 双葉病院訴訟 原告側、医師意見で反論			○						
民報	16	23	関東・東北水害 新たに79袋発見 飯館の除染袋流出 合計393袋に							○		
民友	17	2	楢葉の特養ホーム 来年1月に再開へ 来月から入所者募集					○	○			
民報	17	1	福島県内地価 住宅地上昇率全国最大 被災者の移転需要継続						○			

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	17	2	被ばく線量管理検討 原子力規制委員長が定例会見					○				
民報	17	3	楢葉 医療再生へ起工式 来年2月開所 愛称募集 来月20日まで					○				
民報	17	3	復興再生道路 川内の福島県道小野富岡線 五枚沢1号トンネル貫通									○
民報	17	29	飯館の除染袋流出 新たに40袋発見 破損は193袋に							○		
民友	18	4	社説＝基準地価の上昇 地域経済へ効果波及させよ						○			
民友	18	29	除染袋調査 飯館と南相馬の境 作業員5人沢から戻らず							○		
民報	18	1	Jヴィレッジ 新サッカー場 人工芝、観覧席250整備 宿泊棟は6階建て120室					○				
民報	18	4	竹下復興相インタビュー コミュニティ再生に力 原発事故関連死を防止					○				
民友	19	4	広野・国際フォーラムで英語劇 ふたば未来生現状発信 白坂ふたば支局長ら意見交換						○			
民友	19	31	除染袋調査 作業員5人救助 南相馬の山中で							○		
民報	19	4	楢葉の復興商業ゾーン 9軒と出店交渉 ホームセンターなど					○				
民報	19	27	放射性物質検査結果 屋外プール66カ所 管理目標値未滿						○			
民友	20	4	楢葉帰還加速に期待 宿泊、温泉施設が再開					○				
民友	20	4	広野国際フォーラム きょうシンポ						○			
民報	20	3	サイクリングターミナル しおかぜ荘 楢葉の2観光施設再開 町民憩いの場に 町長、復興相らテープカット					○				
民報	20	3	いわき 双葉郡の児童絆強める JCが企画 西宮の小学生と交流			○						
民友	21	1	福島県内65歳以上54万人 過去最高 避難市町村の高齢化率31%								○	○
民友	21	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染＝第6章「首都パニック」(7) 忍び寄る事故の影		○					○		
民友	21	2	「被災地の活動 世界に」広野でシンポジウム 復興メッセージ発信						○			
民報	21	2	古里広野の復興誓う 国際フォーラムが閉幕						○			
民報	21	3	高齢化率 会津依然高く 避難区域は川内								○	○
民友	22	1	始動 復興牧場(上)＝酪農の「進化形」に ゼロからのスタート	○							○	
民友	22	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染＝第6章「首都パニック」(8) 避難に必要なガソリン							○		
民友	22	2	未来にエール ふたば未来学園高 隠岐島前高生と交流 復興の現状伝える						○			○
民報	22	1	3・11大震災 断面 民俗芸能 存続危機 月末から福島県支援 届かぬ恐れ 浜通り127団体連絡取れず			○						
民友	23	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染＝第6章「首都パニック」(9) 飯館もヨウ素基準超え							○		
民友	23	4	「地方創生」福島県内市町村長アンケート「予算規模不十分」71% 新型交付金に懸念	○	○		○					
民報	23	1	3・11大震災断面 福島県グループ補助金「新分野」21社採択 商品開発や宿舎建設認定				○					
民報	23	25	福島をつくる 来月10日 5年ぶり一斉清掃 6号国道美化若い力を結集 浜通りの中高生主導						○			
民友	24	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染＝第6章「首都パニック」(10) 振り回される飯館村							○		
民友	24	2	国の中間貯蔵施設 仮置き場の一部返還へ 南相馬、代替地確保進める 3年の約束、搬出進まず									○
民報	24	2	論説＝空き家対策 被災地再生に生かせ					○				
民報	24	2	全電源喪失の記憶 証言・1F汚染(10)＝第6章 首都パニック 振り回される飯館							○		
民友	25	2	飯館で家屋解体開始							○		
民報	25	3	飯館 被災家屋解体始まる 村民から3000棟申請 8市町村目							○		
民報	25	25	新たに79袋回収 飯館の除染土流出							○		
民友	26	26	復興牧場が完成 酪農家5人期待と意欲「ようやく稼働できる」	○						○		
民報	26	3	「復興牧場」フェリスラテ 待望の落成 乳牛、2日に搬入 福島 避難の酪農家共同経営	○						○		
民報	26	3	KAZETOROCK IMONYLAND 風とロック芋煮会 ギター弾き語り MANAMIさん優勝				○					
民報	26	29	防犯用ゲート、バリアード 浪江町が撤去検討 国道の渋滞解消 一時帰宅便利に 見守り活動強化	○								
民友	27	1	ニュースの核心＝除染袋管理不備 環境省、問われる姿勢 地元目線「足りず」							○		
民友	27	2	福島で遺産展とシンポ 震災、原発事故伝える 資料70点、被害生々しく	○	○		○					
民報	27	3	「震災遺産とふくしまの記憶」福島で始まる 複合災害 物語る品々 後世に継承を		○							
民友	28	1	中秋の名月 楢葉復興見守る光					○				
民友	28	3	郡山も訪問 楢葉のモックアップ施設視察 教育面でも活用を 小泉復興政務官が期待					○				
民友	28	3	楢葉町が保護者懇談会 学校再開の経緯説明					○				
民友	29	24	双葉署 本庁舎再開 復興への明かり(上)＝復興支える福島県警の決意「動く姿」で安心感を				○	○				
民友	29	27	東京五輪 福島県で野球・ソフト検討「自分も五輪に」期待膨らむ球児ら						○			
民報	29	6	経産省、地熱開発理解促進関連事業 川内の事業採択									○
民友	30	26	双葉署 本庁舎再開 復興への明かり(中)＝帰還住民の不安払拭へ 交通量増、変わる管内			○	○					
民友	30	29	福島原発・災害連鎖 3・11から 川内避難解除あす1年 進まぬ帰還、高齢化課題									○
民友	30	3	葛尾の実証田で稲刈り 5年ぶりの販売に期待									○

2015年10月

《主な出来事》

- ・ 全町避難が続く富岡町が、約4年7ヶ月ぶりに町内で一部業務を再開。復興推進課・復旧課職員約20人が勤務に就く(1日)
- ・ 皇太子ご夫妻が福島ご来県。ふたば未来学園高生徒と交流(8日)
- ・ 檜葉町・木戸川のサケ漁が5年ぶりに復活。水揚げされたサケの放射性セシウムは検出限界値未満の結果(18日)

【記事数:108件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	檜	広	飯	葛	川
民友	1	3	福島でシンポ「復興こそ地方創生」伊達市長と川内村長 質問や意見を述べる			○						○
民友	1	9	日本政策金融公庫 皆川副総裁に聞く 長期的視野で復興支援				○					
民友	1	26	双葉署 本庁舎再開 復興への明かり(下)＝安心感の醸成にも尽力 距離近い住民と警察			○	○	○				
民報	1	29	富岡町 復興の歩み着実に 町内で一部業務再開 きょうから 職員20人が除染関連				○	○				
民友	2	1	富岡町復興へ第一歩 町内で役場業務一部再開				○	○				
民友	2	3	ときクリニック、町で震災後初 檜葉で病院診療再開 院長、職員確保に奔走					○	○			
民友	2	3	役場一部再開で富岡町長「戻りたいと思える町に」				○					
民友	2	4	社説＝川内村避難解除1年 帰還後の生活再建急ぎたい			○	○					○
民友	2	22	双葉署本庁舎で一部再開 4年6カ月ぶり				○					
民報	2	1	皇太子ご夫妻 8日ご来県 ふたば未来学園高など訪問						○			
民報	2	3	富岡町 地元に戻り復興業務 4年7カ月ぶり一部再開				○					
民報	2	3	双葉署 富岡の本庁舎で一部業務 管内警戒、相談受け付け				○					
民友	3	1	ニュースの核心＝檜葉、避難解除1カ月 絆回復、一歩ずつ 住民の自立どう助ける					○				
民友	3	2	比較的高い線量地区での居住 健康悪化見られず 相馬・玉野地区住民を調査 相馬中央病院などのチーム							○		
民報	4	2	檜葉町あす避難区域解除1カ月 帰還の動き活発化 150世帯生活再開					○				
民報	5	3	檜葉のユズ復活を 6号国道沿い 実証栽培始める					○				
民報	5	25	福島第一原発事故 政府事故調・検証委の調査詳報(10完)＝地震予知連絡会会長 島崎邦彦	○								
民友	6	4	福島第1原発 屋根パネル撤去完了 1号機建屋			○						
民友	6	5	大熊町長選 現職・渡辺氏一転出馬へ「町民の声で決断」			○						
民友	6	5	大熊町議会 直接請求2議案否決 町民支援条例、議員削減案			○						
民報	6	1	大熊町長選 退任意向から一転 渡辺氏立候補へ			○						
民友	7	4	知事が双葉、富岡視察「アクセス道路を整備」		○		○					
民報	7	3	南相馬消防署分署 来年3月完成へ祈願祭 飯館に安全の拠点							○		
民報	7	3	福島県の買い取り型災害公営住宅「横堀平田地」の鍵引き渡し 大玉 富岡町民が15日から入居				○					
民報	7	5	福島高専が廃炉人材育成 全国の高専や民間企業と連携 文科省プログラムに採択 燃料取り出し技術研究					○				
民友	8	4	未来にエール ふたば未来学園高 サポーター秋本さんも参加 応援団4人「発想」育む						○			
民友	8	4	幼稚園と小中学校 飯館、村内で17年に教育再開							○		
民友	8	25	第3次安倍改造内閣 強い指導力で復興を 福島県民 被災地の「現場見て」岩城氏入閣「市民の声届けて」		○	○						
民報	8	4	安倍改造内閣発足 福島県内避難区域市町村長らの声		○			○			○	
民報	8	6	飯館の幼稚園、小中学校 29年4月 村内で再開 村長方針 村外学校は閉鎖へ							○		
民報	8	29	第3次安倍改造内閣発足 また交代 復興進むのか 新大臣に対話望む 被災者の思い継ぐ政策を	○		○	○	○				
民友	9	1	皇太子ご夫妻が福島来県 ふたば未来生を激励						○			
民友	9	25	皇太子ご夫妻来県 温かなお言葉、生徒感激 発表に自信「貴重な経験」						○			
民報	9	1	皇太子ご夫妻 福島ご来県 いわきなどで復興状況視察						○			
民報	9	3	丸川環境相 高木復興相 内堀知事と会談 丸川環境相 除染の加速化誓う 高木復興相 復興の司令塔担う		○		○					
民報	9	6	菊池製作所 アルミ鋳造技術 川内で研究開発									○
民報	9	25	福島県内震災関連死 新たに2人認定 葛尾村									○
民報	9	29	皇太子ご夫妻ご来県 お言葉に胸熱く ふたば未来学園高 復興への決意新た						○			
民友	10	9	いわきで専門講座「廃炉」へ人材育成本格化 日本原子力研究開発機構協力 地元企業の参入促進					○				
民報	10	30	来月23日贈呈式 川内村民に歷程賞「天山祭り」震災後も継続 詩を尊ぶ精神評価									○
民報	10	31	福島県内事業者 除染労働違反6割強 賃金不払い目立つ 作業環境改善進まず 事業者「残業代賄えない」							○		
民友	11	2	特集 東日本大震災4年7カ月 仮設住宅進む高齢化 孤独感消えず「1人暮らしでは夜が怖い」			○	○				○	○
民友	11	4	檜葉 双葉郡復興イベント 久々に会えたね	○	○	○	○	○	○			○
民報	11	3	檜葉 8000人が交流イベント 双葉は一つ笑顔の再会	○	○	○	○	○	○			○

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民報	11	3	岩城法相 入閣後、初の福島県内入り 郡山や楢葉に					○				
民友	12	3	富岡高校歌「吾等が歌う」休校決定…でも、卒業生集う				○					
民報	12	3	福島県内自治体 避難区域用地買収や東電賠償 任期付き弁護士奮闘 法的課題解決に対応	○								
民友	14	2	経産相 第1原発作業を視察 近く知事と面会へ			○						
民報	14	3	原発事故で休業 楢葉郵便局 4年7カ月ぶり再開 役場近接の仮設店舗で 職員決意「町復興、発展へ貢献」					○				
民友	15	3	富岡町が畑で試験栽培 セシウム 濃度調査 今月末にも実施				○					
民報	15	2	双葉駅近くに休憩所 一時帰宅者の利便性向上へ 町が来秋設置		○							
民友	16	2	富岡 新濃度測定装置を公開 大林組、輸送など効率化				○					
民報	16	1	楢葉 首相19日来県で調整 JAEA施設開所式出席			○		○				
民報	16	2	論説＝介護施設再開 行政の支援が不可欠だ					○				
民報	16	2	原子力規制委員会の田中委員長 飯舘村長らと会談 復興施策要望聞く	○	○		○	○	○	○	○	○
民報	16	3	葛尾に移動ATM設置 来年3月まで月1、2回 村役場駐車場に								○	
民友	17	1	県立高定員 ふたば未来拡大160人 小高工の新設学科「産業革新科」40人						○			
民友	17	2	除染袋流出 環境省幹部が不適切発言 丸川氏が陳謝「誤解与える」							○		
民友	17	31	未来にエール ふたば未来学園高 定員増 平田オリザさん歓迎「新たな挑戦を」						○			
民報	17	1	復興臨時支局 楢葉町 全町避難解除から1カ月余 木戸川渓谷 色づき人待つ山峡					○				
民報	17	1	楢葉 富岡 臨時支局を開設 あすまで本社記者駐在					○	○			
民報	17	2	楢葉・モックアップ施設開所 深化する廃炉技術(上)＝格納容器の一部再現					○				
民報	17	3	ふたば未来学園中・高サッカーグラウンド 広野町下北迫に整備検討 寄宿舎は駅東に 福島県教育庁方針						○			
民報	17	3	復興庁 61億2300万円を交付 帰還環境整備に43億2500万円 子育て環境改善交付額17億円超					○			○	
民報	17	26	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(33)＝第5部 財物 避難先の新築困難 追加でも資金足りず	○								
民報	17	27	復興臨時支局 富岡町 楢葉町 いわきに避難 富岡の石井宏和さん 福島海未来へ 釣り船再開誓う					○	○			
民友	18	1	迫る県議選 復興へ(上)＝知事選余波 重なる政策 避難者「具体策論争を」					○				
民報	18	2	廃炉「国が前面に立つ」林経産相、内堀知事と会談		○	○	○	○				
民友	19	1	町民宿泊も検討 大熊で役場一部再開へ 来春 大川原地区を想定					○				
民友	19	3	復興願う優しい歌声 ひろの童謡まつり ふたば未来も出演						○			
民友	19	27	サケ漁再開 楢葉に活気 木戸川5年ぶり 25歳漁協職員初参加						○			
民報	19	1	復興臨時支局 楢葉町 サケ漁待望の復活 震災で中断 木戸川5年ぶり						○			
民報	19	30	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(34)＝第5部 財物 一方的な基準疑問 手続きの法制化必要					○				
民報	19	31	復興臨時支局 楢葉町 富岡町 木戸川サケ漁復活 風物詩笑顔呼ぶ「帰りたいになった」楢葉再生後押しに					○	○			
民友	20	1	ロボット研究 廃炉への拠点「楢葉遠隔技術開発センター」開所 首相「世界の英知結集」					○	○			
民友	20	2	遠隔技術開発センター 廃炉加速への要						○			
民友	20	3	安倍首相が来県 国、復興拠点を支援 帰還の住民らと懇談 大熊町長が首相に意向「大川原に役場機能」					○	○			
民友	20	3	迫る県議選 復興へ(下)＝県民抱く「距離感」有権者の目厳しさ増す						○			
民友	20	4	社説＝安倍首相訪問 復興拠点整備全力で支えよ					○	○			
民報	20	1	楢葉 廃炉へ英知結集 モックアップ施設開所						○			
民報	20	2	第一原発事故放射性物質 原子力機構 研究グループ推計 3号機ベントで大量放出か	○								
民報	20	3	第3次福島県復興計画 ロボット産業集積追加 重点事業 10に整理・統合					○	○			
民報	20	3	来年度早期目標 大熊町復興拠点に町事務所を設置へ					○				
民報	20	27	3・11大震災 断面 1～9月 除染作業員の犯罪167人 福島県警や業者など 法令順守へ対策強化					○	○			○
民友	22	2	広野火力発電所 震災後初石油コンビナート訓練 燃料漏れ想定消火や救助						○			
民友	22	3	避難指示解除1カ月 町人口の4% 楢葉町帰還者321人 生活環境改善進まず						○			
民友	22	3	関西福島県人会が知事訪問「これからも本県応援」					○				
民友	23	9	メガソーラー本格稼働 川内 村復興の起爆剤へ期待									○
民報	23	6	川内の太陽光発電所 商業運転を開始									○
民友	24	1	双葉病院と福島県和解 避難時の発表 県HPで謝罪へ					○				
民報	24	3	高木復興相 浪江、葛尾、川内 町村長と会談 予算確保、首長意向を尊重	○								○
民友	24	29	福島県と和解双葉病院 過ち繰り返さないで「4年半長かった」					○				
民友	25	23	オオカミ天井絵お披露目 東京芸大でフォーラム 復元の100枚年内奉納へ							○		
民報	25	3	天井絵を復元 村復興の象徴に 作業の東京芸大でフォーラム 来場者ら見学							○		
民友	26	2	原発避難権利守る 29日に全国組織設立						○			
民友	26	29	12年から 福島県内コンビニごみ箱に 除染マスク、手袋投棄						○	○		
民報	26	2	福島県内 コンビニごみ箱に 除染マスク投棄常態化						○	○		
民友	27	3	準備宿泊1日から 川内の19世帯対象 あすから受け付け 内堀知事「できる限り支援」									○

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	27	3	知事が川内、葛尾視察「復興財源確保へ対応」								○	○
民報	27	3	知事 川内と葛尾の課題把握 特養や崩れた河川視察								○	○
民報	28	2	論説＝ひろの童謡まつり 復興と絆を結ぶ象徴に			○			○			
民報	29	2	規制委の検討会外部委員 廃棄物委に福島高専特命教授・佐藤氏 監視・評価は大熊町商工会長・蜂須賀氏			○						
民報	30	1	福島県漁連会長 原発20キロ圏内の試験操業開始 来年1月にも判断	○			○					
民報	30	2	福島県内の海水、南相馬の河川 福島大うつくしまふくしま未来支援センター トリチウム事故前と同水準				○					
民報	30	3	政府 国際研究産業都市構想 拠点運営、福島県と連携					○				
民友	31	3	川俣 復興住宅来年6月完成 山木屋住民に29棟 一戸建てとメゾネット	○						○		
民友	31	34	国道6号清掃活動 中高生参加に誹謗中傷「殺人行為」と電話やメール 専門家批判	○								
民報	31	3	富岡消防署 臨時拠点が開所 あす町内で業務開始				○					

2015年11月

《主な出来事》

- ・ 大熊・浪江両町で町長選が行われ、いずれも現職が3選を果たした(大熊:5日,浪江:15日)
- ・ 避難区域の事業所の意向調査が福島相双復興官民合同チームにより行われ、意向確認ができた事業者のうち45%が古里での事業再開・継続を要望(17日)

【記事数:88件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	1	2	木戸川サケ釣り復活 楢葉、5年ぶり試験的に					○				
民報	1	1	原発賠償 自治体賠償 支払い依然1割 56市町村、553億円請求 財政運営に影響		○		○					
民報	1	2	原発賠償 自治体賠償 15市町村ADR検討 申し立てに慎重姿勢も		○							
民友	2	3	川内で準備宿泊開始 申請1世帯のみ、帰還不透明									○
民報	2	3	萩、貝ノ坂地区 川内で準備宿泊開始 1世帯2人登録									○
民報	2	3	読む知る学ぶE！新聞 新聞づくり体験授業 小中生の参加募集 復興目指す福島県民取材				○		○			
民報	2	29	広野で福島県相双地方防災訓練 震災後初 大規模災害へ備え確認						○			
民報	2	30	ツール・ド・いわき 海、山、まち、人・・・ 魅力満喫 中之作漁港 大漁旗掲げ応援						○			
民友	3	27	川内に特養 帰還の支え 震災後、初の開所 復興へ若い力奮闘									○
民報	3	29	福島をつくる 特養ホーム「かわうち」開所 若さで高齢者支える 介護員の鈴木雄登さん									○
民友	4	1	浪江、大熊町長選もあす告示 浪江・現職に2新人 3人出馬予定 大熊は現職のみ動き 無投票の公算	○		○						
民友	4	3	未来にエール ふたば未来学園高 初の文化祭、生徒躍動「未来創造」成果発表						○	○		
民報	4	1	大熊町長選あす告示 渡辺氏 無投票3選の公算大			○						
民報	4	1	浪江町長選あす告示 現新3人 8年ぶり選挙戦へ	○								
民友	5	1	浪江町長選 きょう告示 現新3人出馬へ	○								
民友	5	1	大熊町長選は無投票見通し			○						
民報	5	1	福島県議選きょう告示 15日投票 復興加速へ政策問う 大熊、浪江町長選7市町村議選 同時選は9選挙	○		○						
民友	6	1	大熊町長に渡辺氏3選 浪江8年ぶり選挙戦	○		○						
民友	6	4	浪江町長選告示 現新3候補が第一声 小黒敬三候補 渡辺文星候補 馬場有候補	○								
民友	6	24	浪江町長選 訴えの浸透手探り 無投票の大熊町長選「復興目に見える形に」	○								
民報	6	29	2015県議選 県民の目線 福島県議選告示 被災地 生活再建へ道筋を 避難者の不安募る		○				○		○	
民友	7	3	「帰還支援アプリ」発表 福島県が無料提供開始 30市町村の情報掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	7	2	論説＝被災地の風評対策 交流を通じ深まる理解						○			○
民友	10	2	南相馬、川俣・山木屋、葛尾 準備宿泊期間延長へ「数カ月」軸に調整									○
民友	10	2	福島県内農作物のストロンテウム 全国測定値と同程度「福島の農」支援 小泉氏 福大農学系組織を支援				○					
民友	10	3	福島大・医大シンポ 復興担い手増やす 小泉、糸井氏が意見 開沼氏を交え鼎談				○					
民報	10	3	東京都内で福島大、福島医大合同シンポ 廃炉、復興決意固く 糸井氏 研究の中心地に						○			
民報	11	2	論説＝避難区域の選挙 制度を改め参加を促す								○	
民友	12	1	豪雨で中身流出原因に 国の除染袋低い耐久性								○	
民友	12	2	富岡への帰還で町が検討委設置 協議本格化				○					
民友	12	4	昨年度決算 55市町村の財政改善		○							
民友	12	25	高木大臣の香典支出問題 復興置き去り怒り 避難者「早急な解決を」 首長「全力で取り組んで」	○	○	○		○	○			
民報	12	2	国直轄除染で使用の廃棄物袋 防水耐久性乏しく 豪雨時の中身流出原因か								○	
民友	13	2	環境省 飯館の除染廃棄物など 焼却炉今月下旬稼働へ								○	

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	檜	広	飯	葛	川
民報	13	5	浪江町長選投票まで2日 現新3人追い込み	○								
民友	14	1	浪江町長選あす投票 大勢判明は午後9時ごろ	○								
民報	14	1	浪江町長選あす投票	○								
民報	14	2	富岡の指定廃棄物最終処分 環境省来週にも回答 安全・地域振興策、地元				○	○				
民報	14	3	JAEAの廃炉研究棟 王塚地区に整備				○					
民友	15	2	二本松・伝統芸能や踊り 避難者集い浪江「十日市」	○								
民友	16	3	福島県議選 復旧・復興 再生へ問われる力量 帰還・自立支援や風評払拭 地方創生 人口減少への対応急務				○					
民友	16	4	浪江町長に馬場氏3選 大差で2新人破る 町長選戦いの跡 復興施策の継続強調	○								
民友	16	18	浪江町長選3選の馬場さん 帰町への挑戦約束	○								
民報	16	1	浪江町長選 2新人を破る 馬場氏が3選	○								
民報	16	5	浪江町長選 戦いの跡 実績強調7割得票 馬場氏手堅くまとめる	○								
民友	17	1	富岡の処分場計画 政府 復興拠点に交付金 財政規模は示さず				○	○				
民報	17	1	富岡の指定廃棄物処分計画 国負担で各種施設整備 環境相地域振興策示す				○	○				
民報	17	3	富岡の指定廃棄物処分計画 国、安全対策を提示 町道整備や調査権限				○					
民友	18	1	避難区域で事業所調査 檜葉63%「地元で再開を」双葉、大熊は2割前後 全体の帰還希望は45%	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	18	3	浪江町民の意向調査 住宅「解体やむなし」4割「帰還する」2割弱	○								
民友	18	4	社説＝富岡の処分場計画 理解と協力へ環境を整えよ				○	○				
民報	18	2	避難区域での事業再開・継続 希望最多 広野85%	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	18	3	災害公営住宅浪江町民調査「入居希望せず」55% 自宅購入などで年々増	○								
民報	18	26	日本女子プロゴルフ協会 いわき出身・小林会長に聞くプロの技業しんで 被災者の支援継続【富岡町仮設住宅訪問】				○					
民友	19	2	富岡の処分場計画で環境相 交付金 福島県検討踏まえ対応				○	○				
民友	19	24	檜葉の除染に違法派遣 ビンハネ、不払い横行 背景に多重下請け、人手不足					○				
民報	19	2	富岡の指定廃棄物処分計画 24日の議論注目 町議会 国振興策判断大詰め				○					
民報	19	3	2040年 福島県人口単純推計 奥会津 双葉郡 9町村で減少60%以上 全市町村 抑制へ戦略				○					○
民友	20	1	福島県が初の意向調査 診療地元再開6施設 双葉郡の医療機関「条件整えば」4割 11施設は既に再開					○	○			○
民友	20	3	飯館村説明会 学校再開で保護者 線量不安の声多く							○		
民報	20	1	双葉郡内 医療機関 地元再開6割前向き「住民帰還」が重要条件						○			○
民友	21	2	浪江にセシウム含む牧草 町長、白石市へ抗議文	○								
民報	21	2	飯館の蕨平 減容化施設25日火入れ式 来月中旬運転開始				○			○		
民報	21	29	避難区域10市町村 視覚障害者対応の音声線量計を貸与						○	○		
民報	22	23	2015再起 富岡町 寄宿舎制度を導入 原発作業員らが活用 宿に復興の明かり				○					
民報	23	1	3・11大震災 断面 福島県内仮設住宅 腐食やシロアリ12団地 避難者の住環境改善課題					○				
民友	24	1	ニュースの核心＝出荷制限品目が流通 農産物検査 周知足りず 新たな風評懸念						○			
民友	24	4	川内復興の歩みたたえる 心平創刊同人詩誌 歷程賞の表彰式									○
民報	24	1	東京五輪 外国の事前合宿 21市町村誘致に名乗り 福島県、HPやガイド本で支援					○	○			
民友	25	1	処分場計画で福島県 富岡、檜葉に100億円交付 国の財政支援前提 富岡町長「満額回答」				○	○				
民友	25	2	福島県が2町に計100億円の交付金 富岡町復旧・復興に活用「自由度の高さ」生かす				○	○				
民報	25	1	指定廃棄物 富岡町処分受け入れへ 福島県、富岡、檜葉町に計100億円 富岡町長 国の対応を評価				○	○				
民報	25	2	指定廃棄物処分めぐり 富岡町議会の全員協 安全対策で評価、要望				○					
民報	25	2	南相馬と葛尾の準備宿泊 来年2月末まで延長								○	
民友	26	1	いわき駅前 光で再現 富岡の桜				○					
民報	27	3	富岡で寄宿舎始まる 除染企業社員が旅館に入居				○					
民友	28	2	富岡の処分場計画 福島県などと協議し判断 檜葉町長「一定の理解」富岡町長「県を交え協議」				○	○				
民友	28	3	浄水場などめぐりツアー 檜葉の復興見て確認					○				
民報	28	2	富岡の指定廃棄物処分 檜葉町議会全員協「富岡町、県と協議し対応」				○	○				
民友	29	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(1)＝「お願い、当然の権利」再起阻む「支援慣れ」	○				○				
民友	29	2	福島県原子力防災訓練 初の広域避難手順確認 いわきから三春、柳津へ									○
民友	29	25	飯館・山津見神社 オオカミ絵復活喜び 地元初披露、復興へ弾み							○		
民報	29	1	福島県、富岡町、檜葉町 指定廃棄物受け入れへ 週明け以降に最終判断				○	○			○	
民報	29	3	野花に祈る 鎮魂、再生 小高の同慶寺で復興支援アート 震災で破損 大堀相馬焼を彩る	○								
民報	29	5	飯館の山津見神社 オオカミ天井絵お披露目 再建後初の例大祭							○		
民報	29	25	初の全県規模原子力防災訓練 広域避難に新たな課題 雪対策や道路整備 震度6強想定									○
民友	30	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(2)＝将来見えぬ生活困窮				○	○				
民報	30	2	郡山で東北在宅医療フォーラム 地域医療の現状に意見 避難者の健康状態報告	○								

2015年12月

《主な出来事》

- ・ 飯館村復興へふるさと納税受付開始(1日) 11日間で8450万円を超える納税(11日)
- ・ 2015年2月に完成した檜葉中学校新校舎で、現在仮設校舎に通う2、3年生が「一日授業」を受ける(12日) 新校舎での本格的な授業開始は2017年4月から。
- ・ 「生活圏から約20メートル離れた森林では除染を行わない」とする環境省の森林除染方針に県内林業関係者反発(21日)

【記事数:129件】

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	檜	広	飯	葛	川
民友	1	1	富岡の処分場計画 あすにも受け入れ 福島県と富岡、檜葉町協議へ				○	○				
民友	1	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(3)＝生活再建めぐり「溝」	○								
民友	1	2	飯館 役場帰村来年6月22日「飯野支所」にも窓口							○		
民報	1	1	飯館村役場機能7月帰還 飯野での窓口業務は継続							○		
民友	2	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(4)＝親の失職子にも変化							○		
民友	2	2	来年11月運転目指す 檜葉の仮設焼却施設着工 除染で出た廃棄物処理					○				
民友	2	27	東電、遺族への謝罪は拒否 酪農家自殺訴訟で和解							○		
民報	2	2	きょう 指定廃棄物 福島県、受け入れ方針決定 富岡、檜葉町長と協議				○	○				
民報	2	2	日本原子力研究開発機構 熔融燃料処理研究へ 大熊の施設概要示す			○						
民報	2	3	復興交付金第13回配分 福島県と8市町村に102億2000万円 県水産種苗研究所 整備費など			○						
民友	3	1	指定廃棄物処分場 あすにも国に回答 知事「必要な施設」富岡、檜葉町長「重く受け止め」				○	○				
民友	3	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(5)＝民間病院「見殺しか」				○					
民友	3	2	指定廃棄物処分場 福島県、地域支援を説明 2町長、判断に慎重姿勢				○	○				
民友	3	3	飯館復興へふるさと納税 村、事業財源に寄付金活用 謝礼は全国特産品、4割還元							○		
民報	3	1	3・11大震災 断面 マイナンバー 避難者に届かず苦慮 避難区域町村 現住所把握し切れず	○	○	○	○	○		○	○	
民報	3	1	指定廃棄物 富岡、檜葉町長 受け入れ前向き 知事「環境回復に必要」				○	○				
民報	3	2	指定廃棄物 受け入れ協議 富岡町長「思い受け止める」檜葉町長「必要性を感じる」				○	○			○	
民報	3	27	飯館村が新事業 ふるさと納税で村復興応援して 帰還準備に活用 協力者増へ謝礼品用意							○		
民友	4	1	全国初の処分場 指定廃棄物受け入れ 富岡、檜葉了承 知事きょう伝達				○	○				
民友	4	2	白石の牧草搬送 福島県、国に浪江町議会 法整備と指導要望	○								
民友	4	2	指定廃棄物受け入れ 安全性に万全を 地域振興実現国に責任 福島県内の廃棄物処理に期待				○	○				
民友	4	27	富岡 檜葉 指定廃棄物最終処分場「受け入れやむなし」「住民の気持ち無視」周辺住民複雑な思い	○	○	○	○	○				
民報	4	1	福島県、富岡町、檜葉町 指定廃棄物受け入れ表明 搬入開始は来年6月以降				○	○				
民報	4	2	論説＝核のごみ最終処分 新方式でも進まない				○					
民報	4	2	指定廃棄物受け入れ表明 知事「苦渋の決断」富岡、檜葉町長 古里復興へ容認				○	○				
民友	5	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(7)＝再開事業者 募る焦り	○								
民友	5	1	川内村長選 遠藤氏4選出馬へ「復興、道半ば」									○
民友	5	2	指定廃棄物 受け入れ伝達 知事と2町長 国に4項目申し入れ 知事ら「国が主体的に説明を」				○	○				
民友	5	4	社説＝指定廃棄物処理 決断受け止め復興加速せよ				○	○				
民報	5	1	川内村長選 遠藤氏立候補へ 4選目指し意思固める									○
民報	5	2	論説＝「弁当の日」の普及 広がりに地域の支援を【飯館村で推進された食農教育が震災で実践困難になったことに言及】							○		
民報	5	2	福島県内指定廃棄物の最終処分計画 国に受け入れ伝達 県と富岡、檜葉両町「責任ある対応を」				○	○				
民報	5	2	原賠審の能見会長 財物賠償の格差是正に慎重姿勢							○		
民報	5	29	放射性物質検査 4日、福島県発表 検出下限値未満 牛肉 アイガモ肉・アヒル肉						○			○
民友	6	1	復興の道標 ふくしまの今を問う 自立(8)＝「復興バブル後」懸念(終わり)				○	○	○			
民報	6	3	いわきで未来会議 広野・川内・檜葉編 課題など報告 双葉郡の現状理解					○	○			○
民報	7	3	江戸時代の器復刻、販売へ 大堀相馬焼 世界に発信 浪江出身 企画会社社長 松永さんら挑戦	○								
民友	8	1	富岡の仮設診療所 来年4月着工 内科を先行整備 当初は週3日、9人態勢 双葉郡立診療所、来年度完成				○	○				
民友	8	3	浪江町、診療所建設へ 本庁舎から敷地内に移動 17年3月の帰町に合わせ	○								
民友	8	21	檜葉の除染違法派遣事件 2次下請け社長に罰金刑					○				
民報	8	2	富岡に整備の町立診療所 来年10月開始目指す スタッフ9人、当初は週3日				○	○				
民友	9	1	富岡の指定廃棄物処分場 搬入まで1年程度 国有化や安全対策で 住民帰還に影響				○	○				
民友	9	1	広野で園児ミカン狩り 甘い実味わい笑顔						○			
民友	9	2	富岡の処分場で町民要望「1年で十分な安全対策を」				○					

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	楢	広	飯	葛	川
民友	9	9	復興促進へ研究成果紹介 科学技術振興機構支援事業者 郡山で発表会 線量測定効率化やイチゴ栽培						○			
民報	9	1	富岡の指定廃棄物処分場 搬入まで1年程度必要 開始から終了まで約6年 双葉郡内 優先受け入れ				○					
民報	9	1	広野で園児収穫 採れたてミカン笑顔広がる						○			
民報	9	2	指定廃棄物 富岡搬入まで1年程度 保管場所逼迫 懸念の声 地元「安全対策徹底を」				○	○				
民報	9	2	郡山で科学技術振興機構 復興支援2部門成果発表									
民報	9	3	原発賠償 浪江町19日から住民説明会 ADRの現状報告へ	○								
民報	9	25	双葉町 原発事故関連死 新たに2人認定		○							
民友	10	2	協定書締結 広野の防災緑地 官民共同で管理						○			
民友	10	3	復興の道標 ふくしまの今を問う 番外(上)＝「自立」編 読者から多数の意見 議論深めるべきテーマ	○								
民友	10	4	社説＝双葉郡の医療 帰還に向け診療機能再生を	○			○				○	
民報	10	3	浪江のゲート、バリケード 来年4月に撤去 町が方針	○								
民報	10	3	大熊町 中間貯蔵交付金活用 来年度から生活支援事業 双葉町も検討		○	○						
民友	11	4	特集 東日本大震災4年9カ月 作業員の環境 大幅改善 被ばく、労災防ぐ鍵	○		○						
民友	11	5	飯館、保護者有志が方針 学校再開延期要望へ							○		
民報	11	6	移転跡地 活用に遅れ 被災3県、25%未取得 福島県最多44% 復興の足かせ懸念				○					
民友	12	3	飯館ふるさと納税 11日間で8450万円 既に年間目標額超える							○		
民報	12	1	福島高専「廃炉ロボコン」開催 来年度 新たな発想 学生競う 関心高め人材育成 来月にも実行委発足						○			
民報	12	23	震災から4年9カ月 福島県警 不明者を一斉捜索	○								
民報	12	27	楢葉中2、3年生 夢の新校舎で一日授業 きょういわきから古里へ 復興へ母校愛育む						○			
民友	13	5	日印が原子力協定 首脳合意 NPT未加盟国と初 新幹線方式の導入決定 避難者「心情くみ取って」	○								
民友	13	25	富岡の原風景 カルタに 祭りや名所記憶				○					
民友	13	26	ふるさと創造学 児童、生徒が研究発表 双葉への思い訴える		○							
民友	13	27	岳陽中イノベーション部 若者視点で地方創生 きょうアイデア審査 復興加速へ魅力発信				○	○				
民報	13	1	楢葉中で一日授業 新たな母校に瞳輝く						○			
民報	13	3	楢葉中新校舎「一日授業」郷土史学び思い深める 2、3年生 復興担う決意新た						○			
民報	13	27	広野の二ツ沼総合公園 ライトアップ開始 闇に浮かぶ風車						○			
民友	15	1	福島県出先機関 4月、双葉郡で再開 復興推進拠点に				○					
民友	15	1	楢葉町長選 松本氏再選出馬へ						○			
民友	15	2	双葉 原子力看板21日から撤去 将来的な展示視野		○							
民友	15	3	農業相談窓口を提案 楢葉町長へプロジェクトチーム						○			
民友	15	3	富岡の Mascot 愛称「とみっぴー」 キャッチフレーズも決定 未来へとつながれひろがれ富岡町						○			
民友	15	4	福島県議会代表質問 ふたば復興診療所 内部被ばく検査 搭載車を常駐						○			
民報	15	1	来年度 旧緊急時避難の田村、南相馬、広野、川内 帰還促進へ福島県補助金						○	○		○
民報	15	1	楢葉町長選 現職松本氏立候補へ 12月議会で表明						○			
民報	15	2	東電福島復興本社代表 石崎副社長に聞く 住民支援拠点設置へ						○			
民報	15	3	管理型処分場近く 富岡に交流公園整備 イベント活用へ					○				
民報	15	27	政府の地方創生アイデア審査会 政策提案 福島・岳陽中日本一 観光プラン高評価						○			
民友	16	2	JAEAの廃炉研究棟 富岡・王塚に建設決定					○				
民友	16	3	浪江の今 3次元記録ドローンでデータ収集 25日までに完成 津波被害を視覚化	○			○					
民友	16	23	浪江「日化ボード」藻場復元挑戦 建築資材を活用 再び豊かな海に 漁業、林業復興へ期待	○								
民友	17	2	1号機建屋実物大設備で 鉄骨撤去の訓練公開						○			
民友	17	4	社説＝指定廃棄物 各県処理の原則再確認せよ		○	○	○	○		○		
民友	17	4	廃炉関連企業誘致を支援 知事、大熊と浪江視察	○		○						
民友	17	7	富岡町、太陽光発電初の参画 町内にメガソーラー計画					○				
民報	17	1	読者が選ぶ福島県内十大ニュース「50年に1度の大雨」1位 常磐道開通2位							○		
民報	17	3	町役場近く 診療所29年3月末まで建設 浪江町長、初登庁で明言	○								
民報	17	6	地方創生全国協議会全国大会 常磐興産相談役斎藤氏が講演	○								
民友	18	2	川内の準備宿泊区域 住民帰還判断へ 専門家検証着手									○
民友	18	9	広野 メガソーラー 発電スタート						○			
民報	18	29	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(37)＝第6部 ADR・訴訟 浪江 町の決断揺るがず	○								
民友	19	1	浪江の花都会彩る	○								
民友	19	4	12月福島県議会一般質問 再エネ行動計画を改定 貯蔵、効率的活用へ						○			
民友	21	2	広野で桜井よし子さん講演「復興へ価値観共有を」				○	○	○			
民友	21	4	読者が選ぶ2015 県内十大ニュース(7)＝楢葉の避難指示解除 鈍い住民帰還の動き						○			○

紙名	日	面	記事名	浪	双	大	富	櫛	広	飯	葛	川
民友	21	22	大熊一ハワイ 津波漂流水上バイク復活 松永さん「震災前に戻った気分」			○						
民報	21	2	本社福島県民世論調査 内閣支持回復34.7% 望む復興政策「景気」最多							○		
民報	21	3	大阪 福島県と立命館がシンポ ふくしまの今正しく理解 復興や風評払拭論議 福島民報社が図書贈る					○				
民報	21	3	広野 桜井よしこさんが講演 双葉郡の将来展望				○	○	○			
民報	21	22	東京電力福島第一原発事故 賠償の底流(40)＝第6部 ADR・訴訟 浪江「個別事情」で相違	○								
民友	22	3	川内でハーフマラソン 来年4月30日 村内初めて									○
民友	22	23	「大半の森林除染せず」国方針「森林整備だけでも」福島県内の林業関係者痛切							○	○	○
民報	22	1	ウインターイルミネーション 櫛葉に復興の光 徳島から支援 オブジェ点灯					○				
民報	22	23	環境省 森林除染方針 山守の手だて示して 苦境に立つ林業関係者 戸惑いや反発							○	○	○
民友	23	2	帰還困難区域 居住制限区域 境界付近、早急に除染を 検証委、富岡町長に中間報告				○					
民報	23	2	帰還困難区域も除染を 富岡の「居住制限」境界付近 町検証委中間報告 住宅地、一部高線量				○					
民友	24	3	双葉署員に激励の歌声 ソプラノ歌手宮良さん訪問					○				
民友	25	2	2016年度予算案 共同運行システム実施へ 被災事業者の経験活用 福島県復興を後押し				○					
民友	25	4	17年4月入居目標 町と大和ハウス工業協定 富岡町内に復興住宅				○					
民友	25	4	中間貯蔵保管場 試験輸送で工程短縮 土壌積み替え省く		○	○	○					
民報	25	3	来年度政府予算案 産業復興を充実 福島県の要望ほぼ反映		○	○	○					
民友	26	1	国勢調査速報値 福島県人口11万人減 191万人戦後最少 全域避難4町ゼロ		○	○	○			○	○	
民友	26	3	国勢調査速報値 櫛葉の人口87.3%減 避難区域、帰還進まず 福島県議会定数見直し検討へ					○	○			○
民報	26	1	国勢調査速報 福島県人口53市町村で減 南会津地方高い減少率 191万3606人 戦後最少更新					○		○	○	○
民報	26	1	原発事故関連死 福島県内 避難の長期化背景 震災関連死2000人超す				○	○	○			
民報	26	2	中間貯蔵 試験輸送 追加被ばく最大0.063マイクロシーベルト 沿道への影響小さく	○								
民報	26	3	国勢調査 福島県内速報 世帯過去最高を更新 核家族進行 復興作業も要因 増加率1位西郷						○			
民報	26	27	原発事故関連死 震災関連死2000人超 避難者負担なお重く 認定基準不明確 遺族「なぜ違いが・・・」			○	○					
民友	27	1	漁業復興へ水産研究拠点 4月にも調査着手 福島県、試験場の機能強化			○						
民友	27	2	南相馬・特定避難勧奨あす解除1年 若者の帰還進まず「限界集落化」を懸念									○
民友	27	3	被災の商工会館新築 飯館の産業拠点復興へ 全国商工会連や福島県支援 来年6月末完成の予定							○		
民友	27	3	櫛葉といわき バレー交流 元代表選手が児童ら指導					○				
民友	27	21	しあわせ運べるように合唱団 復興の思い 歌に乗せ 二本松の児童ら「届けたい」1月、川崎で公演	○								
民報	28	1	復興祈る歓喜の歌 福島で「第九」演奏会 300人心一つ	○						○		
民報	28	3	福島「第九」演奏会 地元の小中学生が熱唱 新年へ希望の調べ	○						○		
民友	29	2	福島県と経産省 事業再開 単独も補助 グループ要件緩和 地元再開希望は43%	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	29	4	社説＝福島県人口が戦後最少 現実直視し反転攻勢かけよ							○	○	
民友	29	4	被災市町村で仕事納め「復興加速」決意の訓示	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民報	29	2	論説＝森林除染方針 何とも割り切れない			○						
民報	29	4	福島県内で仕事納め 古里再生を誓う「復興さらには加速を」内堀知事、取り組み求める					○				
民報	29	19	浪江町 福島県内震災関連死 新たに1人認定	○								
民報	29	22	避難続く飯館村 防犯カメラ稼働 交差点13カ所、広角撮影							○		
民報	30	2	双葉町題材の絵 福島市出身、山形市在住 画家・鴻崎正武さん 町に「恩返し」		○							
民友	31	1	さよなら2015 街の明かり、希望の灯 避難解除の櫛葉					○				
民友	31	3	福島県政この1年 復興の光輝き増す	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民友	31	23	よみがえれ被災恐竜 広野のレプリカ修復へ 研究者協力募る 17年“帰還”目指す				○	○				

福島県関係書誌の紹介・2015

このリストは、当館で所蔵する2015年1月から12月までに刊行された福島県関係の資料のなかで、1つの主題や人物について20以上の文献を紹介しているものを集成した書誌です。(一部の主題は20以下でも収録しています)

主題編と人物編に区分し、それぞれ主題、人名の50音順、発行年月順に配列しました。なお、主題は検索の便宜を優先して付けましたので、厳密な体系化は考慮していません。

2015年以前発行資料で、「福島県関係書誌の紹介・2014」に未収録のものも併せて集録しました。

特定の主題、人物についての文献リストとして活用していただければ幸いです。

凡例

主題

⇔関連主題

- ・(掲載数) 項目
「論文名」 編著者 『資料名』 編著者
出版者 発行月 項目掲載頁
*備考

主題編

会津

- ・(15)参考文献
『会津の城 戦国時代から戊辰戦争までの城と戦場(会津古城研究会調査報告 第2集)』石田明夫/執筆 会津古城研究会 11月 p111

会津藩

- ・(16)参考文献
「京都守護職と会津藩(1)」吉野隼平/
[著] 『会津史談 第89号』 会津史談会 4月 p192-193
- ・(95)文献・図版出典
『会津藩士の慟哭を超えて 未来を教育に託す』 荒川紘/[著] 海鳴社 9月 p345-350

⇔白虎隊

- ・(39)主な参考文献

『白虎隊探究 世紀を超える精神風土 会津教学と藤樹学への招待』笠井尚/著
ラピュータ 8月 p236-238

- ・会津藩は、斗南藩をも見よ

会津坂下町

- ・(37)参考・引用文献
『薬王寺遺跡 III 会津坂下町文化財調査報告書 第63集 県道赤留・塔寺線改良工事に伴う発掘調査報告書』会津坂下町教育委員会/編 会津坂下町教育委員会 2009年3月 p70

医学・医療

⇔太田綜合病院

- ・(59)業績 発表論文
『太田綜合病院学術年報 第50号』
太田綜合病院 9月 p12-18,69-70
*業績のうち、発表論文数を採録
- ・原著リスト 第31号~第50号
『太田綜合病院学術年報 第50号』
太田綜合病院 9月 p123-132

⇔福島県立医科大学

- ・福島県立医科大学業績 論文・著書・研究発表等
『福島県立医科大学業績集 平成25年』
福島県立医科大学附属学術情報センター
3月 p1-542

いわき短期大学

- ・(19)研究活動報告(平成26年1月1日~12月31日)
『いわき短期大学研究紀要 第48号』
いわき短期大学 3月 p69-75
*研究活動報告のうち、刊行数を採録

いわき明星大学

- ・(25)教職員名簿(2014年10月1日現在)ならびに業績リスト(2013年11月~2014年10月31日)
『いわき明星大学科学技術学部研究紀要 第28号』いわき明星大学 3月 p59-67
*業績のなかの書籍、論文数を掲出

看護学

⇨福島県立医科大学

- ・(60)業績一覧(2014年1月-12月)
『福島県立医科大学看護学部紀要 17』
福島県立医科大学看護学部 3月
p35-40
*業績一覧のうち刊行数を採録

喜多方市(塩川町)

- ・資料目録
『塩川町史資料目録』(全3冊)喜多方
市教育委員会/編 喜多方市 3月

教育

- ・目次集
『近代日本における教育情報回路と教育統制に関する総合的研究Ⅱ 中間報告書』教育情報回路研究会/編 梶山雅史 2014年9月 p103-148

考古学

- ・(60)福島県
『日本考古学年報 66』日本考古学協会
5月 p148-153

書誌

- ・(85)
「福島県関係書誌の紹介・2014」橋本栄理子/[編] p21-26 『郷土資料情報 No. 55』 福島県立図書館 3月 p21-26
- ・(15)
『書誌年鑑 2015』中西裕/編 日外アソシエーツ 12月
*会津坂下町(p3),朝河貫一(p7),新谷崇一(p15),上泉秀信(p89),清水修二(p209),新島八重(p361),東日本大震災(p396),福島県(p408),「福島県教育」(p408),福島県史(p408),福島原子力発電所事故(p408-409),放射線(p432),放射線障害(p432),放射能汚染(p432)の書誌が掲載。
「書誌解説」に福島県教育(p517)

白河市

- ・(159)参考・引用文献
『白河』金子誠三/監修 歴史春秋出版
7月 p210-212
- ・白河市は、結城家をも見よ

新聞

⇨福島民報社

- ・(23)引用・参考文献
『小説・福島民報の暑い夏』町田久次/著 歴史春秋出版 12月 p285-286

蔵書目録

- ・(727)福島大学総合教育研究センター受け入れ資料目録(29)(2014.4.1~2014.9.30)
『福島大学総合教育研究センター紀要 18』福島大学総合教育研究センター
1月 p73-88
- ・(152)福島大学総合教育研究センター受け入れ資料目録(30)(2014.10.1~2015.3.31)
『福島大学総合教育研究センター紀要 19』福島大学総合教育研究センター
7月 p115-120

相馬市

- ・(148)参考文献一覧
『相馬市史 第4巻 資料編 原始・古代』相馬市史編さん委員会/編 相馬市
3月 p776-778

相馬氏

- ・(141)参考文献
『相馬氏の成立と発展 名門千葉一族の雄 中世武士選書 30』岡田清一/著 戎光祥出版 10月 p251-259

相馬藩

- ・(27)底本・参考文献等
『文久元年・ある城下町の一年 記録でたどる奥州相馬中村の幕末』鈴木清/著 歴史春秋出版 1月 p352

伊達市(梁川町)

- ・(38)主な参考文献
『心字の池がみつめてきた梁川城記 上 中世の世界』木村清四郎/著 梁川町歴史文化財保存協会 3月 巻末

田村市

- ・(25)出典参考
『田村市を通った岩城街道 田村市史 8』田村市教育委員会生涯学習課/編集 田村市教育委員会 3月 巻頭

道路

- ・(114)主な参考文献
『福島県の道路元標 里程元標・一里塚』小泉明正／著 歴史春秋出版 7月 p292

図書館

- ・(208)第1～20号執筆者別一覧
『福島図書館研究所通信 第20号』福島図書館研究所／編 福島図書館研究所 2014年10月 p30-35

斗南藩

⇄会津藩

- ・(70)主な参考文献・協力者等
『先人斗南に生きる 斗南藩百四十五年斗南會津会記念誌』斗南會津会記念誌編集部／編 斗南會津会 3月 p160-162

東蒲原郡

⇄会津

- ・(20)参考資料
「「県域」の形成過程—東蒲原郡の移管問題」徳竹剛／著 『東北史を開く 史学会125周年リレーシンポジウム2』山川出版社 9月 p199-200

東日本大震災

- ・(227)地震・震災（東日本大震災）
『NPO・市民活動図書目録1995-2014』大阪大学大学院国際公共政策研究科 NPO研究情報センター／編 日外アソシエーツ 2014年11月 p917-934
- ・(33)参考文献
「福島県中通り地域における東日本大震災の心理的影響と支援のあり方」齊藤誠一／著 『震災復興学 阪神・淡路20年の歩みと東日本大震災の教訓』ミネルヴァ書房 10月 p128-129

白虎隊

- ・白虎隊は、会津藩、戊辰戦争を見よ

福島第一原子力発電所事故

- ・(12)福島学おすすめ本・論者リスト
『はじめての福島学』開沼博／著 イースト・プレス 3月 p410-411
- ・(20)参考資料

『牛と土 福島、3.11 その後。』眞並恭介／著 集英社 3月 p268-269

- ・(32)参考文献
「声なき声は充滿している “原発反対”の底にあるもの」友澤悠季／著 『“生きる”時間のパラダイム 被災現地から描く原発事故後の世界』関礼子／編 日本評論社 3月 p109-110
- ・(17)参考文献
「強制された避難・強要される帰還 “構造災”からの離脱と生活の復興」関礼子／著 『“生きる”時間のパラダイム 被災現地から描く原発事故後の世界』関礼子／編 日本評論社 3月 p139-140
- ・(15)参考文献
「「こころの堤防」を築くということ 災害と観光」関礼子／著 『“生きる”時間のパラダイム 被災現地から描く原発事故後の世界』関礼子／編 日本評論社 3月 p207-208
- ・(41)参考文献
「演劇が描いた震災・原発事故 福島の高校生による表現と中心に」後藤隆基／著 『“生きる”時間のパラダイム 被災現地から描く原発事故後の世界』関礼子／編 日本評論社 3月 p231-233
- ・(52)参考文献「福島第一原発事故」関連
『国会の警告無視で福島原発事故 再エネの爆発的普及で地域経済再生 科学と人間シリーズ14』吉井英勝／著 東洋書店 6月 p219-221
- ・(53)参考文献
『福島の放射線衛生調査 低線量率だった福島の真実と20km圏内の復興 高田純の放射線防護学入門シリーズ』高田純／著 医療科学社 6月 p201-203
- ・(52)参考文献（「福島第一原発事故」関連）
『国会の警告無視で福島原発事故 再エネの爆発的普及で地域経済再生 科学と人間シリーズ14』吉井英勝／著 東洋書店 6月 p219-221
- ・(108)主要参考文献

『ザ・原発所長 下』黒木亮／著 朝日新聞出版 7月 p325-330

・(177)参考文献

『福島後の日本経済論』寺岡寛／著
中京大学経営学部 9月 p209-218

・(170)原発避難関連文献一覧

『原発避難白書』関西学院大学災害復興
制度研究所／編 人文書院 9月
p233-239

・(22)引用・参考文献

「第6章 東電福島第一原発に大熊町と
双葉町が睥睨されるまで」岩本由輝／
[著] 『年報村落社会研究 第51集
災害と村落』農山漁村文化協会 10
月 p260-261

・見出し一覧

『地元新聞にみる原発関連見出し一覧
2011年3月11日～2013年9月30日』
福島県立図書館／編 福島県立図書館
[2014年2月] 1冊

福島民報社

- ・福島民報社は、新聞を見よ

仏教

⇔会津地方

・(30)参考文献

『会津寺院散歩』横山秀夫／著 歴史春
秋出版 4月 p352-353

⇔川俣町

・(30)引用参考文献

「小手保河俣甘露寺」高橋圭二／著
『福島史学研究 第93号』福島県史
学会 2月 p20-21

文学

・(19)中山義秀文学賞

・(66)福島県文学賞

・(66)吉野せい賞

『小説の賞事典』日外アソシエーツ／編
日外アソシエーツ 1月 p240-241,
293-298, 361-364

戊辰戦争

・(15)参考文献

『日本を揺るがした戊辰戦争』渡部幸
雄／著 創栄出版 2014年10月
巻末

・(78)主な参考引用文献・資料

『明治維新という過ち 日本を滅ぼした
吉田松陰と長州テロリスト<会津版>』
原田伊織／著 歴史春秋社出版 1月
巻末

・(88)参考文献一覧

『長州の刺客 明治維新の内幕』星亮一
／著 批評社 11月 p282-283

⇔白虎隊

・(15)引用・参考文献

「異聞戊辰会津戦争 白虎隊の真実③」
井上昌威／著 『会津人群像 no.29』
歴史春秋社 5月 p116

文書目録

・(460)

『福島県歴史資料館収蔵資料目録 第
46集 県内諸家寄託文書』福島県文化振
興事業団福島県歴史資料館 3月 50p

⇔郡山市

・(1151)市民会館資料

『郡山市歴史資料館収蔵資料目録 第
29集 市民会館資料』郡山市教育委員会
3月 43p

・目録

『福島県大沼郡会津美里町田中文庫文書
目録 田中東昌・重好宛大屋士由書簡等
を中心に』横山陽子／編 横山 陽子 3
月 p13-78

野鳥

⇔会津地方

・(26)参考文献

『月日星 会津の野鳥目録』日本野鳥の
会会津支部／[編] 日本野鳥の会会津支
部 5月 p128

⇔福島市

・(27)参考文献

『福島市近郊の野鳥』鈴木邦夫／著
鈴木邦夫 3月 p168-169

結城家

⇨白河市

- ・(73)白河結城家文書一覧目録
『重要文化財白河結城家文書』白河集古苑／編 白河集古苑 2月 p130-134
- ・(61)参考・引用文献
『重要文化財白河結城家文書』白河集古苑／編 白河集古苑 2月 p135

両生類

⇨桧枝岐村

- ・(38)引用文献
- ・(19)桧枝岐のサンショウウオ漁関連資料リスト
『桧枝岐の山椒魚漁 桧枝岐村文化財調査報告書 第1集』桧枝岐村民俗誌編さん委員会／監修 桧枝岐村教育委員会 2012年3月 p31-32,59

歴史

- ・(34)福島県
『地方史文献年鑑 2014 郷土史研究雑誌目次総覧 18』飯澤文夫／編 岩田書院 10月 p57-67

人物編

朝河貫一

- ・(598)付録3 参考文献
『朝河貫一資料 早稲田大学・福島県立図書館・イェール大学他所蔵 研究資料シリーズ No.5』山岡道男／著 早稲田大学アジア太平洋研究センター 2月 p369-389
- ・(29)朝河貫一の主要論文(1905-1939)
『中世日本の土地と社会』朝河貫一／著 柏書房 3月 巻末
- ・(11)主要参考文献
『維新の肖像』安部龍太郎／著 潮出版社 4月 巻末
- ・(31)参考文献
『熱なき光 昭和天皇への親書』星野剛／著 幻冬舎メディアコンサルティング 8月 巻末

秋月悌次郎

- ・(32)主要参考引用文献
「東松峠にたつ碑一章と逸の人」桑原勇蔵／[著] 『会津会々報 第121号』会津会 6月 p75

天田愚庵

- ・(78)参考文献
『坊主持ちの旅 江政敏と天田愚庵』不破俊輔／共著 北海道出版企画センター 7月 p252-256

今泉六郎

- ・(49)参考文献
「今泉六郎と会津 ドイツ哲学を日本にもたらした陸軍獣医」寄川条路／著 『会津人群像 no.30』歴史春秋社 8月 p117-118
- ・(18)参考文献
『今泉六郎 ヘーゲル自筆本を日本にもたらした陸軍獣医』寄川条路／著 ナカニシヤ出版 12月 p131-132

梅宮茂

- ・(17)本人の著作・論文集
『梅宮茂と複式炉』鈴木啓／[著] 鈴木啓 [12月] p129-130

蒲生氏郷

- ・(49)参考書籍
『築城者 蒲生氏郷 鶴ヶ城天守閣再建五十周年記念』若松城天守閣郷土博物館／編 会津若松観光ビューロー 9月 p81

後藤康二

⇨会津大学

- ・(75)研究 著書・論文等
『会津大学文化研究センター研究年報 第21号』会津大学文化研究センター／編 会津大学 3月 p5-8

江正敏

- ・(78)参考文献
『坊主持ちの旅 江政敏と天田愚庵』不破俊輔／共著 北海道出版企画センター 7月 p252-256

富澤克美

⇨**福島大学**

- ・(14)業績一覧
『商学論集 第83巻第4号』福島大学
経済学会／〔編〕福島大学経済学会 3
月 p269-270

新村繁文

⇨**福島大学**

- ・(58)業績目録
『行政社会論集 第27巻第4号』福島
大学行政社会学会／〔編〕福島大学行政
社会学会 3月 p1-7

保科正之・お万

- ・(26)参考文献類「正之とお万」
「研究ノート 保科正之の妻 お万の方
の実像—媛姫死去の背景—」大場美弥子
／〔著〕『歴史春秋 第81号』歴史春
秋社 4月 p44

松平定信

- ・(63)主要参考文献

『大定信展—松平定信の軌跡 桑名市・
白河市合同特別企画展』桑名市・白河市
合同企画展実行委員会／編 桑名市・白
河市合同企画展実行委員会 8月 p123

三木宗策

- ・(194)三木宗策文献及び図版目録
『没後70年 三木宗策の世界 木彫の正
統』中山恵理／〔ほか〕編 郡山市立美術
館 10月 p106-109

矢吹晋

- ・(59)矢吹晋の著作一覧(1974-2015)
『中世日本の土地と社会』朝河貫一／著
柏書房 3月 巻末

渡邊武房

- ・編著作一覧
『渡邊武房全仕事 <編著作一覧>』
渡邊武房／編 福島図書館研究所 7月
53p

(地域資料チーム 橋本栄理子)

福島県立図書館所蔵県内行政機関発行資料一覧の紹介

当館で平成26年4月から平成27年9月までに受け入れた行政資料の一覧を作成しました。
当館ホームページにアップしていますので、こちらもご活用ください。

『福島県立図書館所蔵県内行政機関発行資料一覧 (平成26年4月～平成27年9月受入)』
<https://www.library.fks.ed.jp/ippan/tosyokanannai/kankobutsu/kyodo/gyousei201509.pdf>
(平成28年3月現在公開)

=====
福島県郷土資料情報 No. 56

発行日：2016年3月11日

編集・発行：福島県立図書館
=====